土木工事現場必携

令和8年度

第２分冊
第３章・第４章・第５章

〇本書は建設局建設企画課の土木工事現場必携（令和8年4月版）
を引用及び転載して作成しております。

愛知県企業庁水道部

令和8年6月1日_初版発行

土木工事現場必携の利用にあたって

この土木工事現場必携（以下「必携」という。）は、愛知県企業庁が発注した土木工事（維持作業を含む）の適正な施行と施行手続き等の統一的な運用を目的に、現場実務に携わる全ての者を対象とした手引き書として、土木工事標準仕様書、各種要領等の関係資料をもとに、施行手続きの作成例を合わせ、取りまとめたものである。

本必携の内容と利用にあたっての留意事項を以下に示す。

第１章の一般事項では、この必携の目的を明確にするとともに、土木工事の施行に関する、手順、体制、監督についてのあらましを説明した。また、土木工事の請負契約の内容及び契約変更までの流れのあらましを説明した。

第２章の書類関係では、監督の流れ、書類作成方法について説明した。監督の流れでは、各施工段階における注意事項、参照する資料について記載してある。また、書類作成方法では、監督の流れにある書類番号により記載例が整理してある。

第３章の施工関係では、土木工事の施工に必要な施工管理、安全管理についての実務の内容と方法を、具体的に説明した。中でも、施工管理表は、土木工事等を適切に施工するうえで、主な工種の施工段階における、施工計画・施工管理等の主なポイントを系統的に網羅し、収録したものである。現場実務の手引きとして、各施工段階において、確認するよう習慣づけていただきたい。

第４章の検査関係は、工事検査の分類と要領、事務手続き及び検査に関する留意事項について説明したもので、十分に把握していただきたい。

第５章の各種様式は、契約関係、建設リサイクル法関係、施工関係、出来形・品質管理関係及び検査関係の、主な様式を収録したもので現場実務において利用していただきたい。

第６章の資料は、土木工事の現場実務に必要な各種資料を収録したもので、適宜利用していただきたい。

なお、この必携に記載の作成例は、標準的なものを示したものであり、作成方法を拘束するものではないことに留意していただきたい。

土木工事現場必携

総　目　次

第１章・第２章は第一分冊へ

第１章　一般事項 ・・・・・・・・・・ 1-1
１－１　目　的 ・・・・・・・・・・ 1-1
１－２　用　語 ・・・・・・・・・・ 1-1
１－３　契　約 ・・・・・・・・・・ 1-2
（１）概　説 ・・・・・・・・・・ 1-2
（２）請負契約の内容 ・・・・・・・・・・ 1-3
(ｱ) 契約書 ・・・・・・・・・・ 1-3
(ｲ) 設計図書 ・・・・・・・・・・ 1-4
（３）契約関係書類 ・・・・・・・・・・ 1-4
（４）契約変更までの流れ ・・・・・・・・・・ 1-4
(ｱ) 契約変更の手続き ・・・・・・・・・・ 1-4
(ｲ) 設計変更資料の作成 ・・・・・・・・・・ 1-7
（５）工期変更 ・・・・・・・・・・ 1-8
１－４　工事等の施行 ・・・・・・・・・・ 1-9
（１）施行手順 ・・・・・・・・・・ 1-9
（２）施行体制 ・・・・・・・・・・ 1-9
（３）監　督 ・・・・・・・・・・ 1-10
(ｱ) 監　督 ・・・・・・・・・・ 1-10
(ｲ) 監督員と監督業務の分担 ・・・・・・・・・・ 1-10
(ｳ) 監督の方法 ・・・・・・・・・・ 1-11
(ｴ) 要　領 ・・・・・・・・・・ 1-12
（４）施工体制の点検 ・・・・・・・・・・ 1-12
（５）建設業法等による工事現場への掲示 ・・・・・・・・・・ 1-13

第２章　書類関係 ・・・・・・・・・・ 2-1
２－１　監督の流れ ・・・・・・・・・・ 2-1
２－２　書類作成の手引き ・・・・・・・・・・ 2-9

第３章　施工関係 ・・・・・・・・・・ 3-1
３－１　施工管理 ・・・・・・・・・・ 3-1
（１）工程管理 ・・・・・・・・・・ 3-1
（２）出来形管理 ・・・・・・・・・・ 3-2
(ｱ) 出来形管理の手順 ・・・・・・・・・・ 3-2
(ｲ) 出来形成果表及び出来形図 ・・・・・・・・・・ 3-2
(ｳ) 現地表示（マーキング） ・・・・・・・・・・ 3-3
（３）品質管理 ・・・・・・・・・・ 3-4
(ｱ) 品質管理の内容 ・・・・・・・・・・ 3-4
(ｲ) 品質管理の手順 ・・・・・・・・・・ 3-4
(ｳ) 品質管理資料 ・・・・・・・・・・ 3-5

（４）写真管理 ・・・ 3-5
(ｱ) 写真撮影の要素 ・・・ 3-5
(ｲ) 工事写真の分類と整理 ・・・ 3-6
(ｳ) 電子媒体による工事写真の提出 ・・・ 3-7
(ｴ) その他 ・・・ 3-7
（５）出来形・品質管理関係様式の記載例 ・・・ 3-8
３－２　安全管理 ・・・ 3-17
（１）安全管理計画と実施 ・・・ 3-17
（２）安全管理項目 ・・・ 3-18
（３）安全管理計画の作成・実施フロー ・・・ 3-19
（４）事故報告 ・・・ 3-19
３－３　施工管理表 ・・・ 3-20
（１）　適　用 ・・・ 3-20
（２）　段階確認及び施工状況把握 ・・・ 3-20
（３）　施工管理表 ・・・ 3-25

第４章　検査関係 ・・・ 4-1
４－１　概　　説 ・・・ 4-1
４－２　検査の分類 ・・・ 4-1
４－３　要　　領 ・・・ 4-1
４－４　事務手続き ・・・ 4-1
４－５　検査の実施 ・・・ 4-2
（１）検査体制 ・・・ 4-2
（２）検査関係書類及び測定器具 ・・・ 4-2
（３）検査に関する留意事項 ・・・ 4-3
４－６　建設工事の成績評定 ・・・ 4-6
（１）評定方法 ・・・ 4-6
（２）評定区分 ・・・ 4-6

第５章　各種様式
企業庁ダウンロード様式一覧表
契約関係様式 ・・・ 5-1
契約関係参考様式、建設リサイクル法関係様式、施工関係様式 ・・・ 5-2
施工関係参考様式、検査関係様式、その他提出様式 ・・・ 5-3
別途ダウンロード様式（建設局建設企画課）
出来形・品質管理関係様式 ・・・ 5-4
以下　様式の変更 ・・・ 5-5

・・・ 6-1

第３章　施工関係

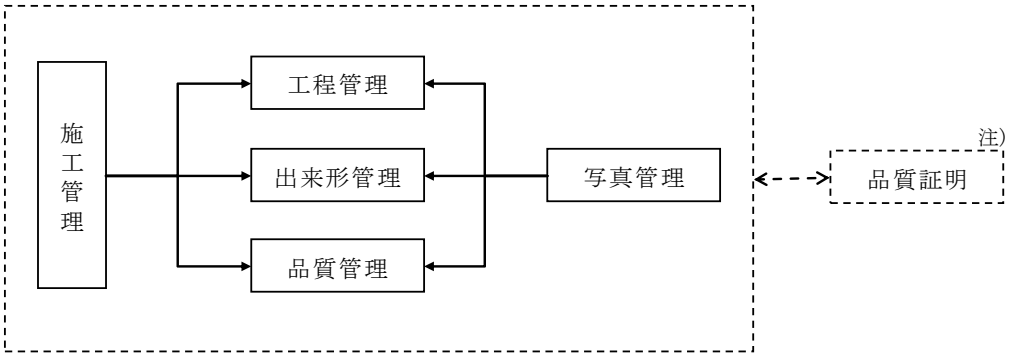
第３章　施工関係

３－１　施工管理

請負者は、設計図書に定められた工事目的物を契約書の工期までに適正に施工するために、工事等の各施工過程において統計的手法あるいは請負者の創意工夫等により、必要な施工管理を行わなければならない。

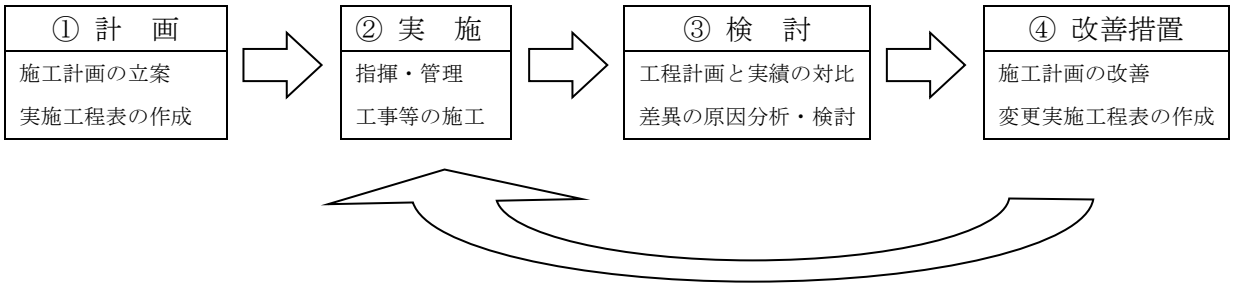
工事等の施工管理は、施工管理計画及び施工管理担当者を定めるなど施工管理体制を確立し、施工計画書に示された作業手順で施工のうえ、施工管理基準に基づき適切に実施するものとする。

また、施工管理は工事等の完了後の結果ではなく、その過程であるので、日々の管理を怠ってはならない。



注）特記仕様書で品質証明の対象工事と明示された場合に実施（標準仕様書 第１編 1-1-24 品質証明 参照）

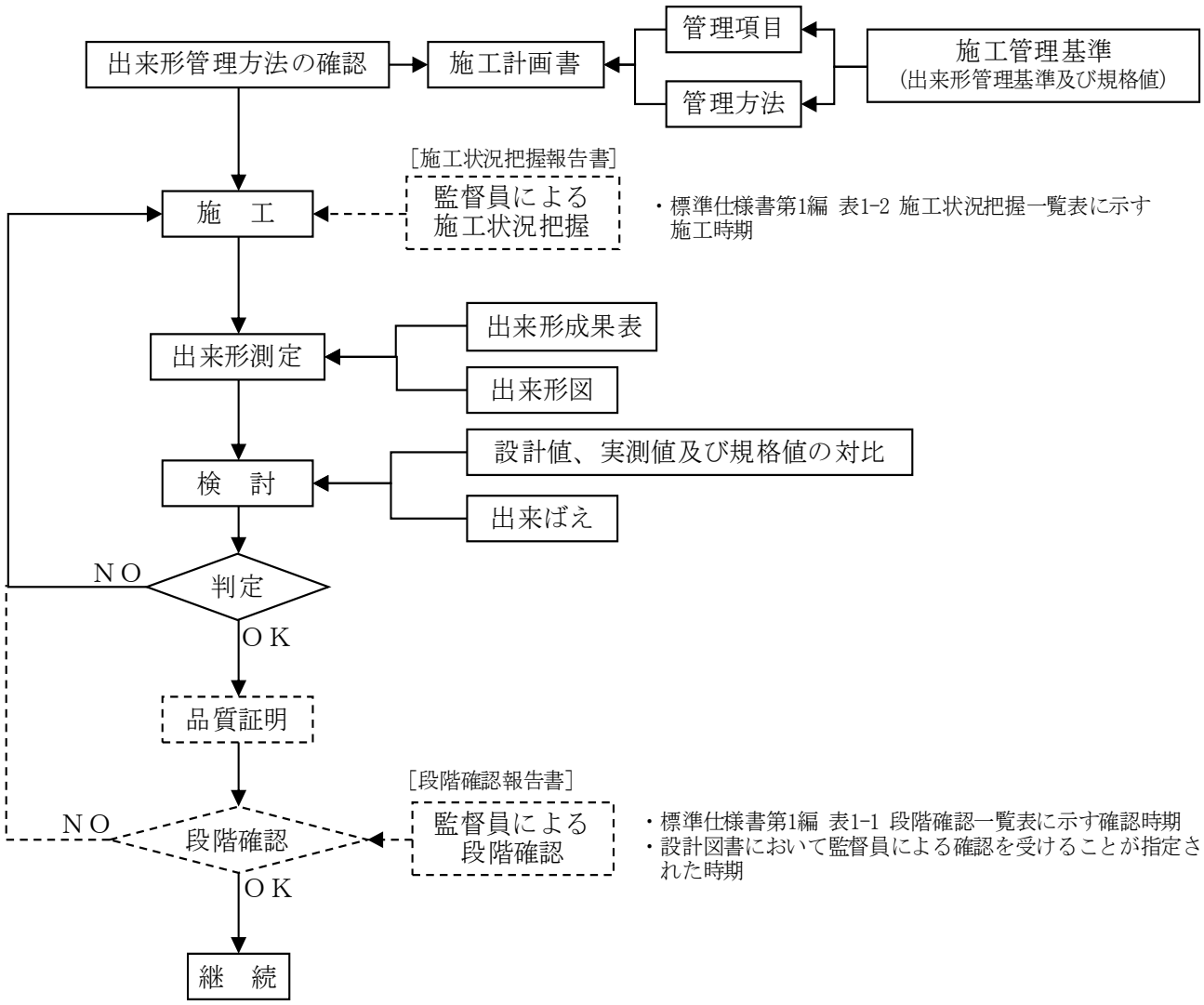
（１）工程管理



① 計　　画 ： 施工計画を立案のうえ、実施工程表（ﾊﾞｰﾁｬｰﾄ、ﾈｯﾄﾜｰｸ、工程管理曲線）を作成
② 実　　施 ： 労務・材料・機械・資金等を手配し、工事を指揮･管理のうえ施工
③ 検　　討 ： 実施工程表の計画と実績を対比させ、差異の原因を分析・検討
④ 改善措置 ： 実施工程表の実績が計画からはずれている場合、施工条件の変化等を考慮して、作業方法、工法及び建設機械の見直し等、施工計画に改善策を講じ、変更実施工程表を作成（全体工程を 100％として工期の３分の１を経過した時点で全体工程管理にﾏｲﾅｽ 20％の差異が生じた場合は、改善策を講じ変更実施工程表を監督員に提出）

（２）出来形管理

(ｱ) 出来形管理の手順



(ｲ) 出来形成果表及び出来形図

出来形成果表（出来形成果総括表、測定結果総括表、測定結果一覧表及び出来形管理図表）は施工管理基準に基づき、第５章 出来形・品質管理関係様式等により作成する。

出来形図は、設計図面に設計値と対比し出来形を朱書きすることを原則とする。

基準高さのあるものは、平面図に全景及び高さの数字がわかる写真が添付されていること。

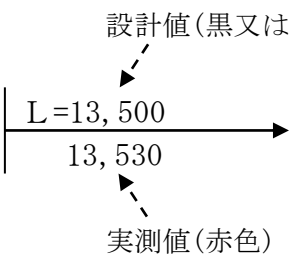
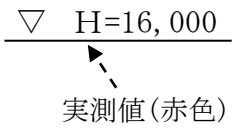
出来形成果表及び出来形図は、工事等の施工中に監督員の請求により提示するとともに、工事完成時に提出する。なお、出来形図に設計値と実測値との差及び規格値を明記し管理された測定項目についての出来形成果表の作成を省略することができる。

なお、出来形成果表の作成例は、第３章３－１（５）出来形・品質管理関係様式の記載例を参照のこと。

平成 22 年度まで使用していた（様式３）「出来形管理図（工程能力図）」及び出来形管理に関する（様式４）「度数表」は廃止する。

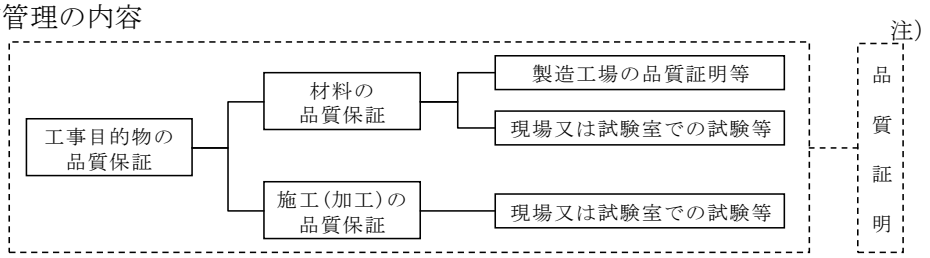
(ｳ) 現地表示（マーキング）

出来形の現地表示は、原則として次のとおりとする。

単位	大きさ	材料	色		現地表示	［延長の表示例］  測定方向に矢印（→）を表示する	［上墨の表示例］ (工事完了後の不可視部分の表示)  工事完了後に確認できる箇所に上墨を表示する
mm	３cm程度	ペイント等	出来形は赤色 設計値は黒(白)色				

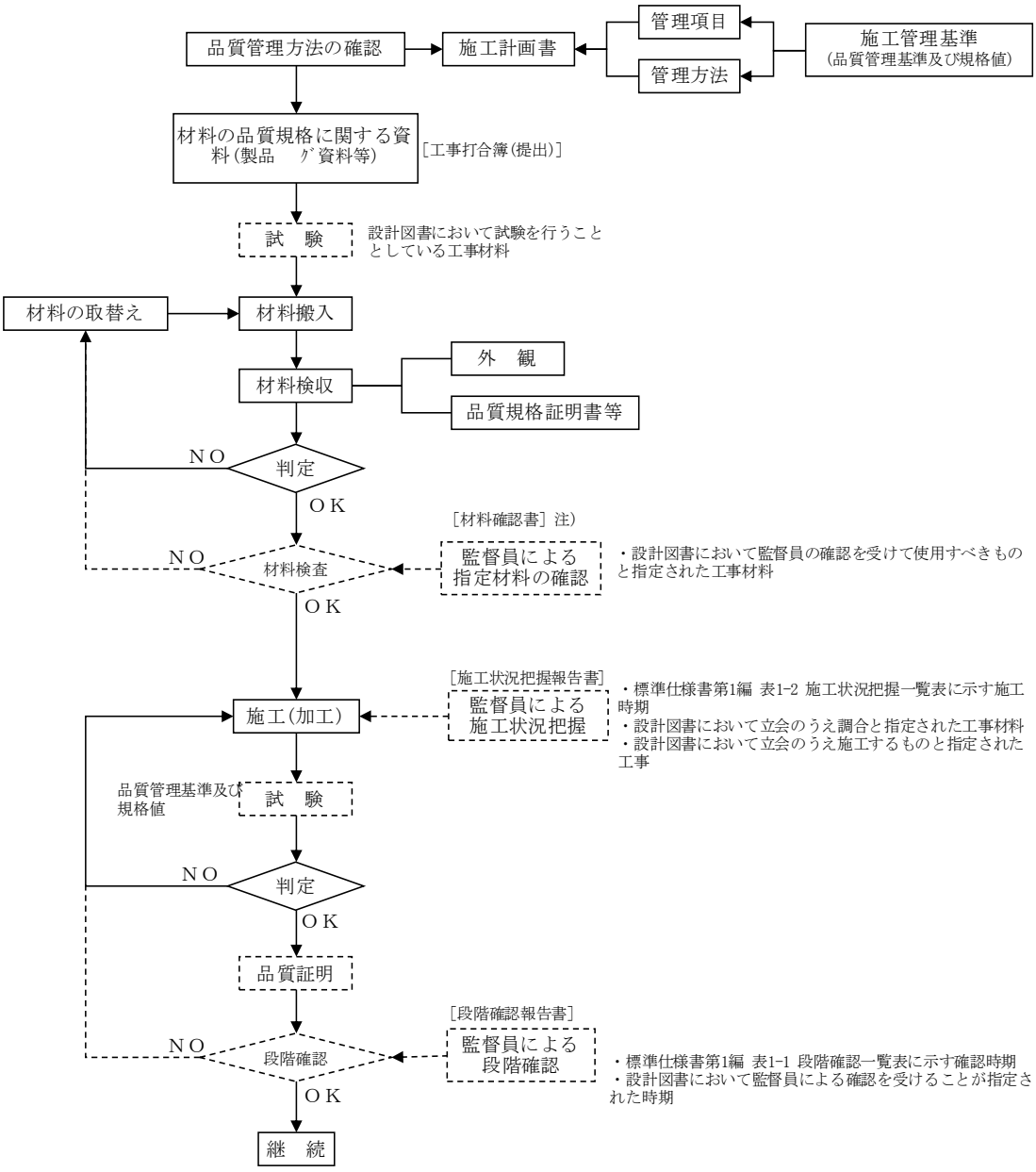
（３）品質管理

(ｱ) 品質管理の内容



注）特記仕様書で品質証明の対象工事と明示された場合に実施（標準仕様書　第１編 1-1-24 品質証明 参照）

(ｲ) 品質管理の手順



注）指定材料の確認は、発注者が求める品質規格と、請負者が設計図書から解釈される材料の品質規格の照合を図る行為である。このため確認は、一部の材料かサンプルと品質規格証明書等をもとに、指定された材料の品質と規格が発注者が要求するものに適合しているかを確かめる。ただし、設計図書で全数確認が指定されている場合は、全ての材料を確認する。

(ｳ) 品質管理資料

品質管理資料（測定結果総括表、測定結果一覧表、品質管理図表及び度数表）は、施工管理基準に基づき、第５章 出来形・品質管理関係様式等により作成する。

測定数が 15 点未満の場合は、測定結果総括表、品質管理図表及び度数表の作成は不要。

品質管理図表は、工事等の施工中に監督員の請求により提示するとともに、工事完成時に提出する。

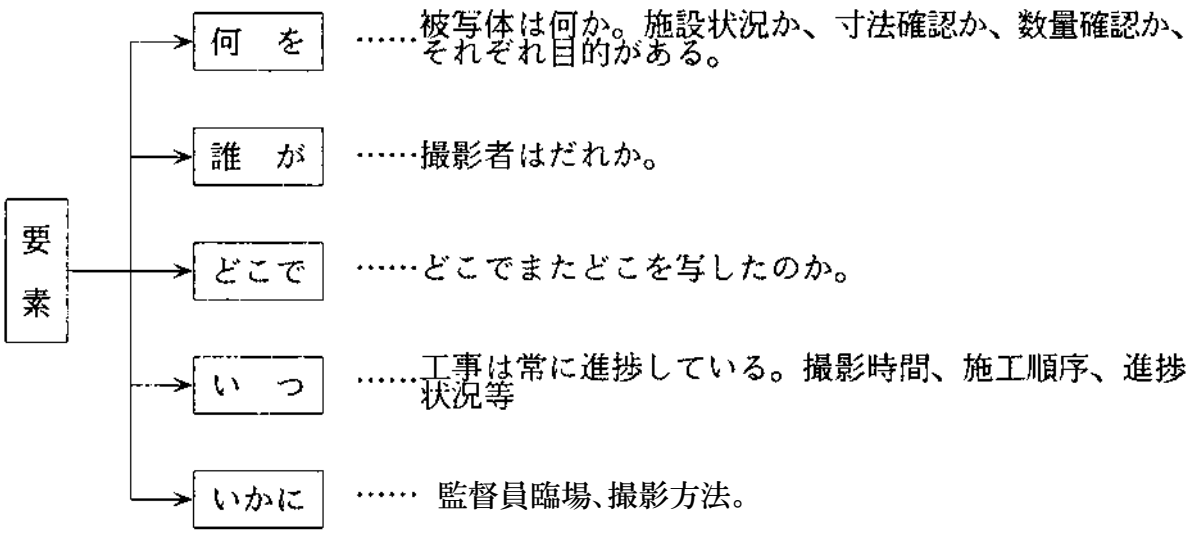
なお、品質管理資料の作成例は、第３章３－１（５）出来形・品質管理関係様式の記載例を参照のこと。

平成２２年度まで使用していた（様式３）「品質管理図（工程能力図）」は廃止する。

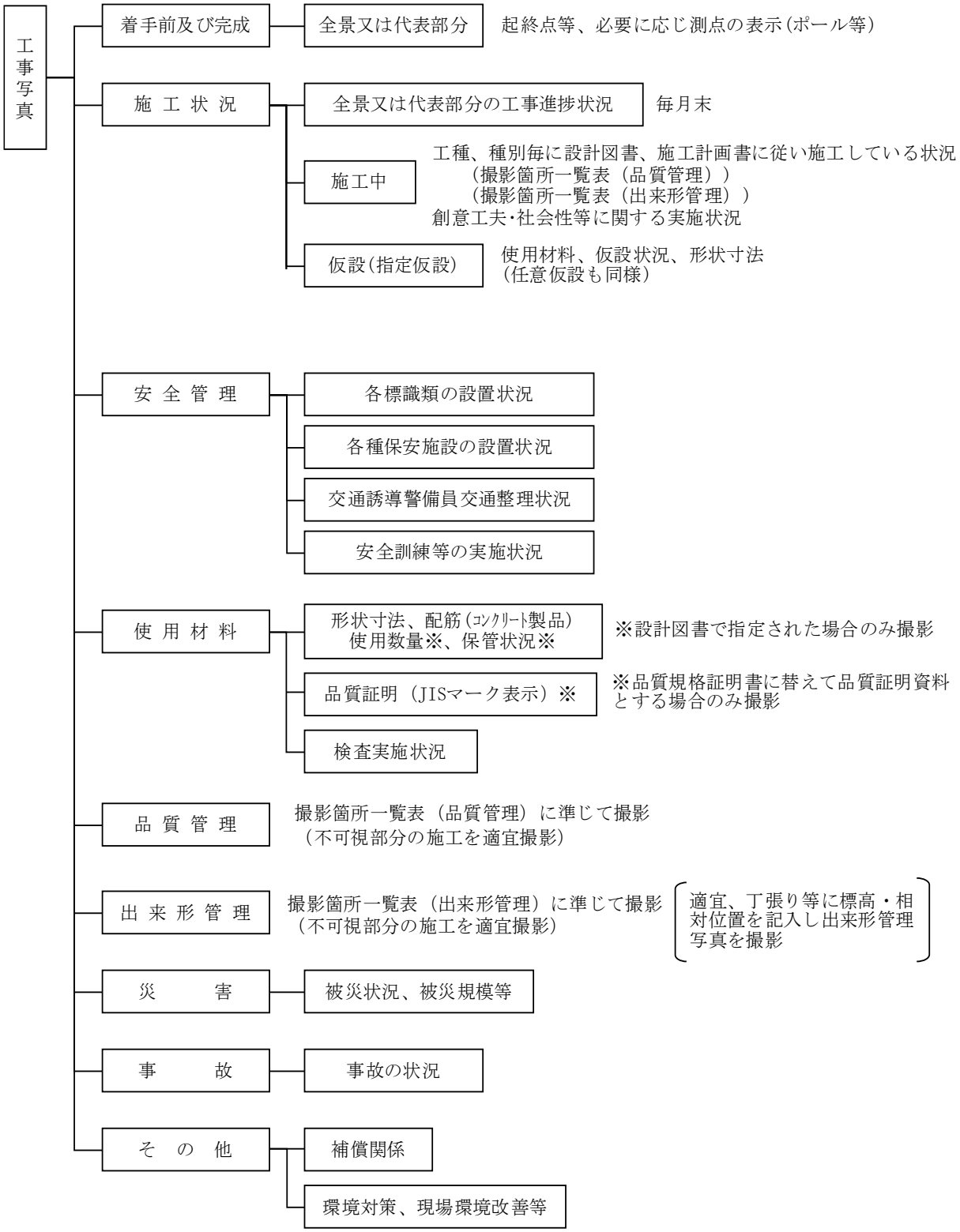
（４）写真管理

写真管理は、施工管理の一環として施工管理基準７.その他(施工管理基準 p3)により、写真管理基準に基づき行うものとする。

(ｱ) 写真撮影の要素



（ｲ）工事写真の分類と整理



(ｳ) 電子媒体による工事写真の提出

工事写真は電子媒体で提出するものとし、愛知県電子納品運用ガイドライン及び愛知県デジタル写真管理情報基準(案)によるものとする。

(ｴ) その他

保全工事等の指示票による工事、または監督員の指示による場合は、工事写真は電子媒体に代えて工事写真帳で提出することができるものとする。

工事写真帳で提出する工事写真の提出部数及び形式は、次によるものとする。

(a) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。

(b) 工事写真帳はＡ4 版の下図を標準とし、工事完成時に１部提出する。

(c) 工事写真帳の整理については、工種毎に写真管理基準の各写真撮影個所一覧表の撮影頻度に示すものを標準とし、工程の順に整理し、工種、種別の見出しをつけて編集する。

(d) 小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

フィルムカメラを使用した撮影～提出をする場合は、「写真管理基準」を参考に監督員と提出頻度等を協議のうえ、取扱いを定める。

工　事　写　真　帳 工　事　名 路線等名称 郡　町 工事場所　市　村　大字 着手　年　月　日 完了　年　月　日 請負金　金 請　負　者	測点No. 説明 測点No. 説明	測点No. 説明 測点No. 説明

（５）　出来形・品質管理関係様式の記載例

目　　次

１ 出来形成果表
(1) 出来形成果総括表(様式 1-1)　・・・3－9
(2) 測定結果総括表(様式 1-2) 注)　・・・3－10
(3) 測定結果一覧表(様式 1-3)　・・・3－11
(4) 出来形管理図表(様式 2)　注)　・・・3－12

２ 品質管理図表
(1) 測定結果総括表(様式 1-2) 注)　・・・3－13
(2) 測定結果一覧表(様式 1-3)　・・・3－14
(3) 品質管理図表(様式 2)　注)　・・・3－15
(4) 度数表(様式 4)　注)　・・・3－16

注) 測定数が 15 点未満の場合は、測定結果総括表、管理図、度数表の作成は不要とする。
(施工管理基準 p.2 5.(2)(3) 参照)

様式１－１

出　来　形　成　果　総　括　表

工　事　名　　○○○○○○工事
路線等の名称　二級河川 ○○○川
工 事 場 所　　○○市○○町○○地内

工　種	種　別	細　別	単位	設計値	実測値	差	規格値	摘　要
法覆護岸工								
	植生工							
		筋　芝	㎡	6,100.3	6,103.3	＋3.0	設計値以上	
		張　芝	㎡	3,880.4	3,882.9	＋2.5	設計値以上	
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞ ｯｸ工							
		基礎工（A）	m	599.2	600.1	＋0.9	－200 ㎜	
		ﾌﾞ ｯｸ積工（A）	㎡	642.4	643.0	＋0.6	設計値以上	
水路工								
	水路工		m	599.2	599.9	＋0.7	－200 ㎜	
	暗渠工		m	9.8	9.9	＋0.1	－200 ㎜	
	場所打擁壁工		m	619.7	620.1	＋0.4	－200 ㎜	
	集水桝工		ヶ所	2	2	±0	設計値以上	
	取付水路工							
		U型水路工	m	54.8	54.7	-0.1	－200 ㎜	
		ｻｲﾌｫﾝ取付工	m	2.2	2.2	±0	－200 ㎜	
	天端工		㎡	2,190.4	2,191.8	＋1.4	設計値以上	
・・・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・・・
備考）工種、種別、細別は設計書の内訳によること。								

注）設計書の内訳に単位・数量が 1 式として計上されている工種についても、設計図等をもとに具体的な設計値を記載する。
　原則、工事目的物の出来形を計測しているものを記載すること。
　したがって、土工（作業土工含む）、任意仮設、間接工事費（技術管理費、役務費等）については、記載を不要とする。
　ただし、指定仮設（締切工、交通誘導警備員等）、取壊し工（処理量）、建設発生土（処理量）については、適正処理の確認等のため、記載すること。
　なお、土工のみ、取壊し工のみ等の工事のように、その工種が工事目的物となる場合は、記載内容を監督員と協議すること。

様式１－２（出来形管理）

測　定　結　果　総　括　表

注）測定数が15点未満の場合は作成不要

工　種　　ブロック積擁壁工
種　別　　コンクリート基礎工

測定項目	基準高　▽			幅　W			高さ　h								
規格値	－30　～　＋30　㎜			－30　～　　㎜			－30　～　　㎜								
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値	10.250m	10.251m	＋１㎜	400㎜	394㎜	－６㎜	600㎜	593㎜	－７㎜						
最大値	10.250	10.278	＋28	400	426	＋26	600	610	＋10						
最小値	10.250	10.228	－22	400	371	－29	600	573	－27						
最多値	10.250	10.265	＋15	400	---	---	600	---	---						
データ数			n＝10			n＝10			n＝10						
標準偏差			S＝16			S＝17			S＝12						

測定項目															
規格値															
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値															
最大値															
最小値															
最多値															
データ数															
標準偏差															

測定項目															
規格値															
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値															
最大値															
最小値															
最多値															
データ数															
標準偏差															

測定項目															
規格値															
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値															
最大値															
最小値															
最多値															
データ数															
標準偏差															

【愛知県　土木工事現場必携】

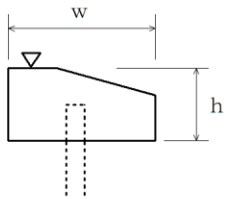
様式１－３（出来形管理）

測　定　結　果　一　覧　表

工　種　　ブロック積擁壁工
種　別　　コンクリート基礎工

測定者　　○○　○○　　印

測定項目	基準高　▽			幅　W			高さ　h			延長　L						略図
規格値	－30　～　＋30　mm			－30　～　　mm			－30　～　　mm			－200　～　　mm						
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
No.0	10.250m	10.235m	－15mm	400mm	398mm	－２mm	600mm	601mm	＋１mm	－	－	－			mm	
No.2	10.250	10.248	－２	400	390	－10	600	573	－27	40m	39.990m	－				
No.4	10.250	10.278	＋28	400	408	＋８	600	579	－21	40	40.001	－				
No.6	10.250	10.251	＋１	400	405	＋５	600	600	＋０	40	39.989	－				
No.8	10.250	10.265	＋15	400	389	－11	600	589	－11	40	40.000	－				
No.10	10.250	10.249	－１	400	399	－１	600	599	－１	40	39.975	－				
No.12	10.250	10.233	－17	400	426	＋26	600	584	－16	40	39.999	－				
No.14	10.250	10.228	－22	400	371	－29	600	590	－10	40	40.046	－				
No.16	10.250	10.265	＋15	400	380	－20	600	605	＋５	40	39.992	－				
No.18	10.250	10.256	＋６	400	376	－24	600	610	＋10	40	40.035	－				
										計 360m	360.027m	＋27mm				
測定項目																
規格値																
測点又は区別																



【愛知県　土木工事現場必携】

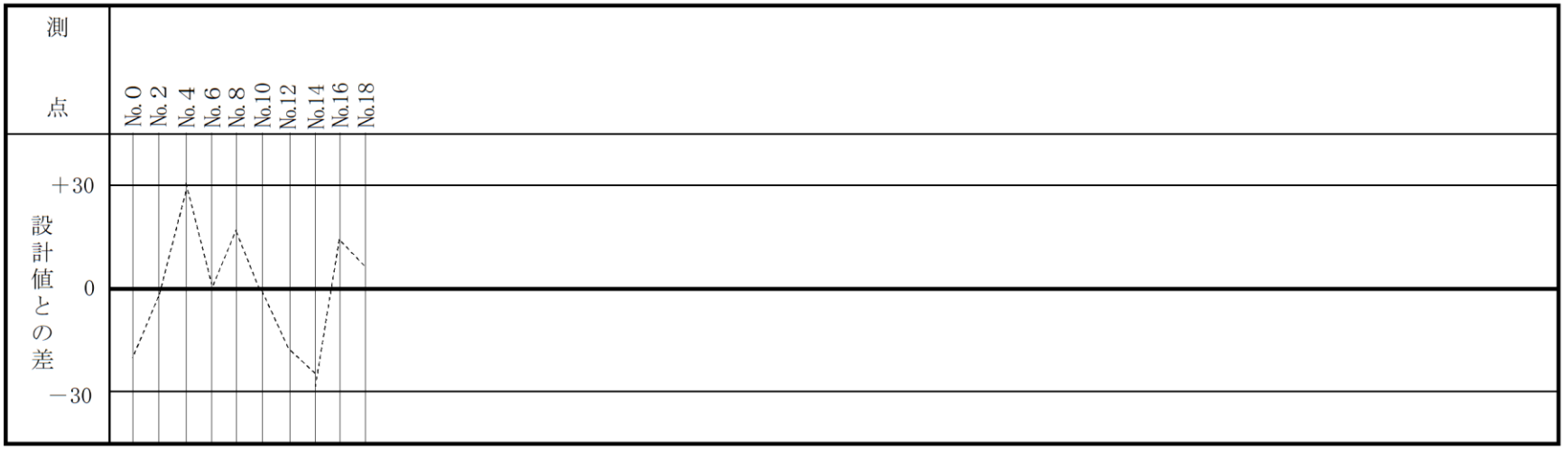
様式２

出　来　形　管　理　図　表

注）測定数が15点未満の場合は作成不要

工　種　　ブロック積擁壁工
種　別　　コンクリート基礎工

測定者　　○○　○○　　印



測定項目	基準高　▽			測定項目	基準高　▽			測定項目				測定項目			
規格値	－30　～　＋30　㎜			規格値	－30　～　＋30　㎜			規格値				規格値			
測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差
平均値	10.250m	10.251m	＋１㎜	No.0	10.250m	10.235m	－15㎜								
最大値	10.250	10.278	＋28	No.2	10.250	10.248	－２								
最小値	10.250	10.228	－22	No.4	10.250	10.278	＋28								
最多値	10.250	10.265	＋15	No.6	10.250	10.251	＋１								
データ数			ｎ＝10	No.8	10.250	10.265	＋15								
標準偏差			Ｓ＝16	No.10	10.250	10.249	－１								
				No.12	10.250	10.233	－17								
				No.14	10.250	10.228	－22								
				No.16	10.250	10.265	＋15								
				No.18	10.250	10.256	＋６								

【愛知県　土木工事現場必携】

様式１－２（品質管理）

測　定　結　果　総　括　表

注）測定数が15点未満の場合は作成不要

工　種　　セメント・コンクリート

種　別　　レディーミクストコンクリート　２４－８－２５BB　（２１－８－２５BB）

測定項目	スランプ　S			圧縮強度　SL			空気量　Air								
規格値	－2.5　～　＋2.5　cm			0　～			－1.500　～　＋1.500　%								
	設計値 cm	実測値 cm	差 cm	設計値 N/mm2	実測値 N/mm2	差 N/mm2	設計値 %	実測値 %	差 %	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値	8	8.2	＋0.2	24	30.3	＋6.3	4.5	4.8	＋0.3						
最大値	8	9.5	＋1.5	24	31.5	＋7.5	4.5	5.3	＋0.8						
最小値	8	7.0	－1.0	24	29.1	＋5.1	4.5	4.1	-0.4						
最多値	8	8.0	±0.0	24	－	－	4.5	4.1	-0.4						
データ数			n＝10			n＝10			n＝10						
標準偏差			S＝0.9			S＝0.7			S＝0.4						

測定項目															
規格値															
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値															
最大値															
最小値															
最多値															
データ数															
標準偏差															

測定項目															
規格値															
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値															
最大値															
最小値															
最多値															
データ数															
標準偏差															

様式１－３（品質管理）

測　定　結　果　一　覧　表

工　種　　セメント・コンクリート
種　別　　レディーミクストコンクリート　２４－８－２５ＢＢ　（２１－８－２５ＢＢ）

測定者　　〇〇　〇〇

測定項目	スランプ　S			圧縮強度　SL			空気量　Air									略図
規格値	－2.5　～　＋2.5　cm			呼び強度の85%　－3.6N/mm2　～			－1.5　～　＋1.5　%									
測点又は区別	設計値 cm	実測値 cm	差 cm	設計値 N/mm2	実測値 N/mm2	差 N/mm2	設計値 %	実測値 %	差 %	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
1	8	８．０	±０．０	２４	３０．５	＋６．５	4.5	4.5	±0.0							
2	8	８．５	＋０．５	２４	３１．１	＋７．１	4.5	5.0	＋0.5							
3	8	７．０	－１．０	２４	２９．８	＋５．８	4.5	5.1	＋0.6							
4	8	９．０	＋１．０	２４	２９．９	＋５．９	4.5	5.3	＋0.8							
5	8	８．０	±０．０	２４	３０．８	＋６．８	4.5	4.1	－0.4							
6	8	９．０	＋１．０	２４	３０．６	＋６．６	4.5	4.6	＋0.1							
7	8	９．５	＋１．５	２４	３１．５	＋７．５	4.5	5.2	＋0.7							
8	8	７．０	－１．０	２４	２９．７	＋５．７	4.5	4.8	＋0.3							
9	8	７．５	－０．５	２４	２９．１	＋５．１	4.5	4.9	＋0.4							
10	8	８．０	±０．０	２４	３０．３	＋６．３	4.5	4.1	－0.4							
測定項目																
規格値																
測点又は区別																

【愛知県　土木工事現場必携】

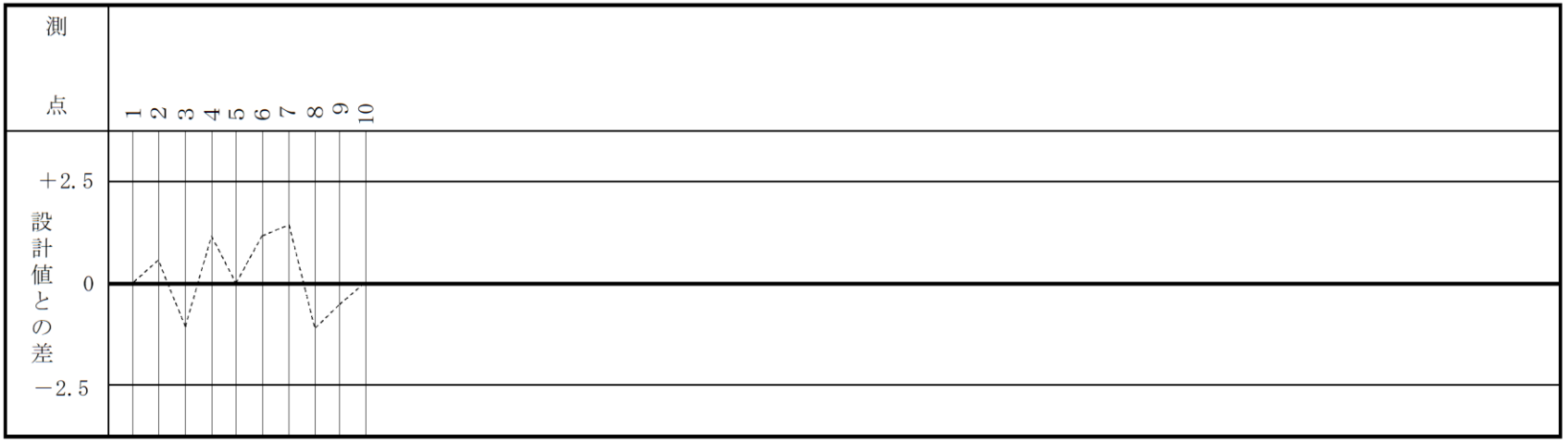
様式２

品　質　管　理　図　表

注）測定数が15点未満の場合は作成不要

工　種　　セメント・コンクリート
種　別　　レディーミクストコンクリート　２４－８－２５BB　（２１－８－２５BB）

測定者　　○○　○○



測定項目	スランプ　S			測定項目	スランプ　S			測定項目				測定項目			
規格値	－2.5 ～ ＋2.5 cm			規格値	－2.5 ～ ＋2.5 cm			規格値				規格値			
測点又は区別	設計値cm	実測値cm	差 cm	測点又は区別	設計値cm	実測値cm	差 cm	測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差
				1	8	8.0	±0.0								
平均値	8	8.2	＋0.2	2	8	8.5	＋0.5								
最大値	8	9.5	＋1.5	3	8	7.0	－1.0								
最小値	8	7.0	－1.0	4	8	9.0	＋1.0								
最多値	8	8.0	±0.0	5	8	8.0	±0.0								
データ数			n＝10	6	8	9.0	＋1.0								
標準偏差			S＝0.9	7	8	9.5	＋1.5								
				8	8	7.0	－1.0								
				9	8	7.5	－0.5								
				10	8	8.0	±0.0								

【愛知県　土木工事現場必携】

様式４

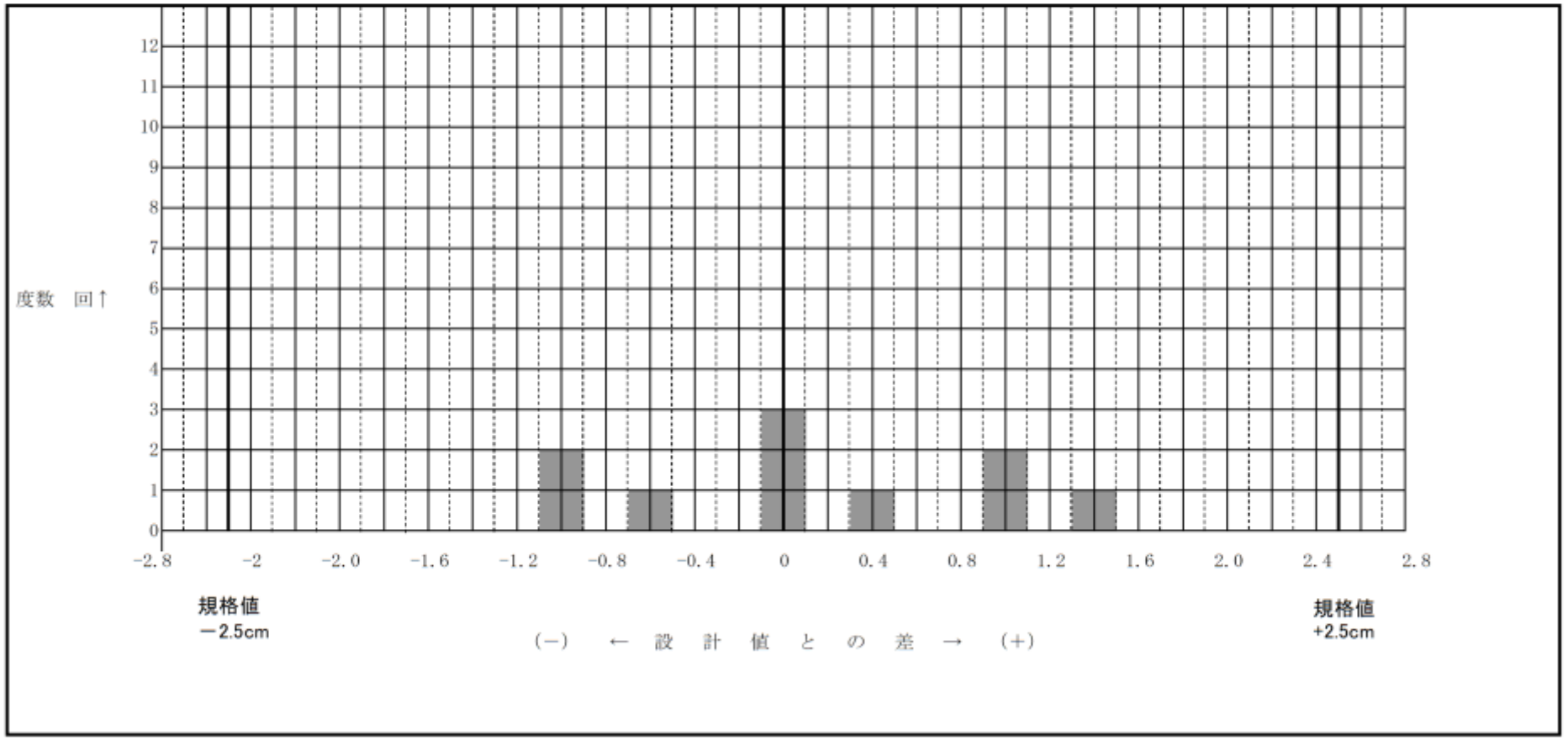
セメント・コンクリート
レディーミクストコンクリート　24-8-25BB
(21-8-25BB)

度　数　表

注）測定数が15点未満の場合は作成不要

スランプ　S

測定者　○○　○○



３－２　安全管理

（１）安全管理計画と実施

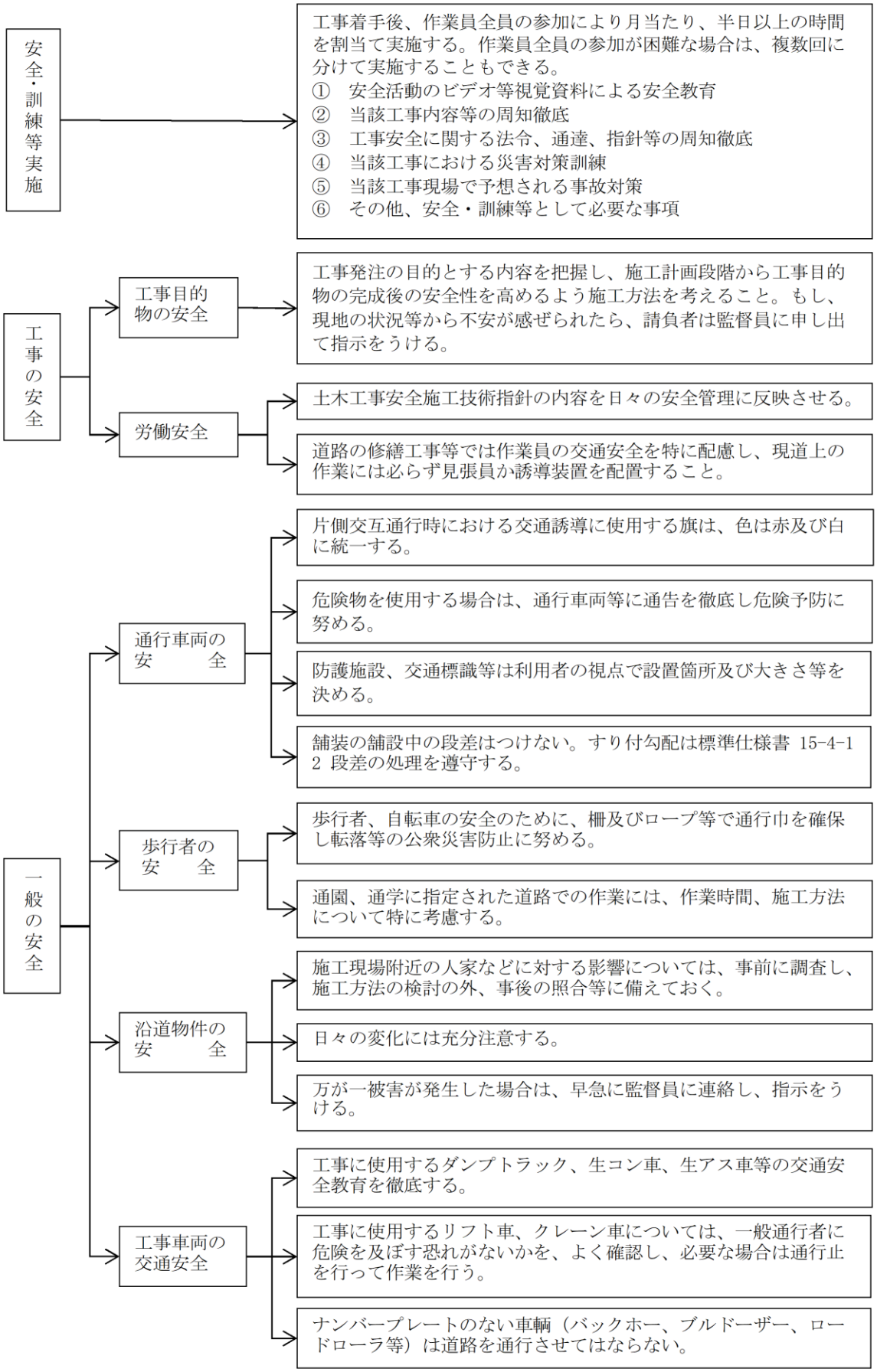
請負者は工事現場内での労働災害等を防止するため、具体的な安全対策を立案し、施工計画書に記載し実施するものとする。

請負者は監督員の協力を得て、他の請負者と連携し、工事安全協議会等を組織することにより、その実効を図るものとする。

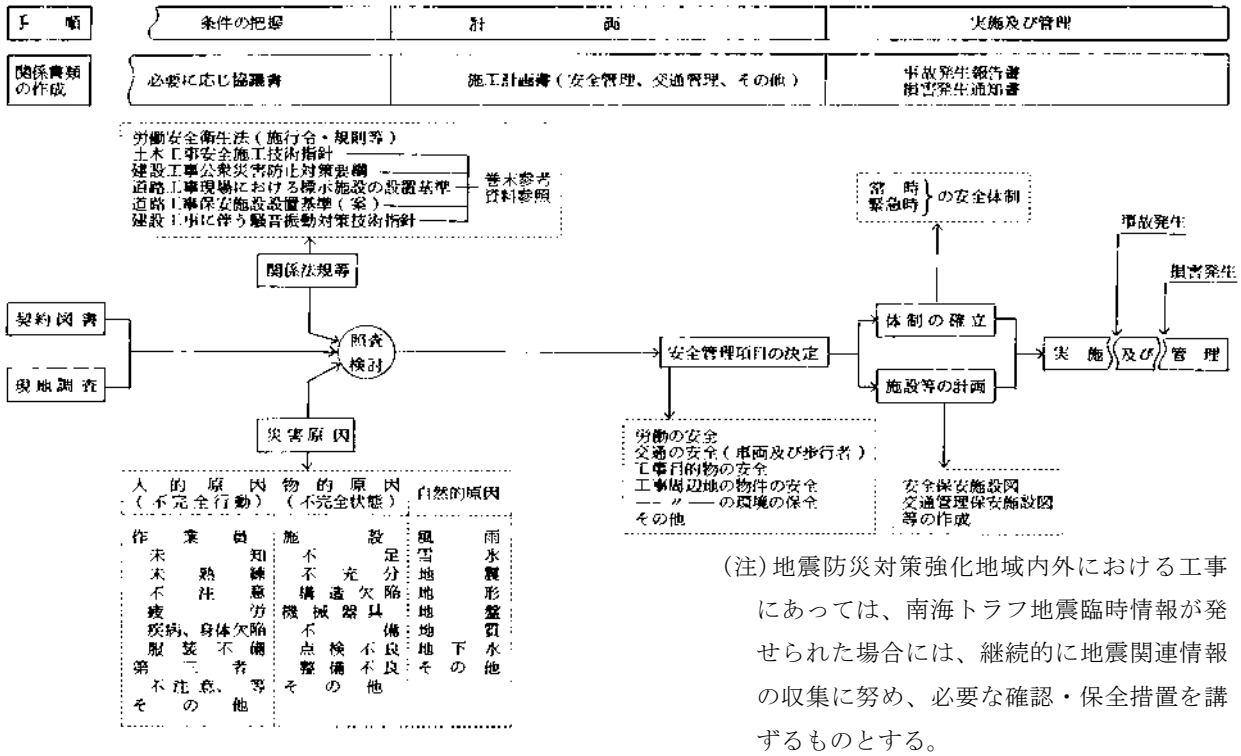
安全管理計画には、法の遵守義務事項はもとより、作業員の安全、教育事項、交通安全管理事項、工事現場安全管理事項について、記載するものとする。

工事現場安全管理事項は工種に応じて作成するものとする。

（２）安全管理項目


安全・訓練等実施
工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上の時間を割当て実施する。作業員全員の参加が困難な場合は、複数回に分けて実施することもできる。
① 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
② 当該工事内容等の周知徹底
③ 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底
④ 当該工事における災害対策訓練
⑤ 当該工事現場で予想される事故対策
⑥ その他、安全・訓練等として必要な事項
工事の安全
工事目的物の安全
工事発注の目的とする内容を把握し、施工計画段階から工事目的物の完成後の安全性を高めるよう施工方法を考えること。もし、現地の状況等から不安が感ぜられたら、請負者は監督員に申し出て指示をうける。
労働安全
土木工事安全施工技術指針の内容を日々の安全管理に反映させる。
道路の修繕工事等では作業員の交通安全を特に配慮し、現道上の作業には必らず見張員か誘導装置を配置すること。
一般の安全
通行車両の安全
片側交互通行時における交通誘導に使用する旗は、色は赤及び白に統一する。
危険物を使用する場合は、通行車両等に通告を徹底し危険予防に努める。
防護施設、交通標識等は利用者の視点で設置箇所及び大きさ等を決める。
舗装の舗設中の段差はつけない。すり付勾配は標準仕様書 15-4-12 段差の処理を遵守する。
歩行者の安全
歩行者、自転車の安全のために、柵及びロープ等で通行巾を確保し転落等の公衆災害防止に努める。
通園、通学に指定された道路での作業には、作業時間、施工方法について特に考慮する。
沿道物件の安全
施工現場附近の人家などに対する影響については、事前に調査し、施工方法の検討の外、事後の照合等に備えておく。
日々の変化には充分注意する。
万が一被害が発生した場合は、早急に監督員に連絡し、指示をうける。
工事車両の交通安全
工事に使用するダンプトラック、生コン車、生アス車等の交通安全教育を徹底する。
工事に使用するリフト車、クレーン車については、一般通行者に危険を及ぼす恐れがないかを、よく確認し、必要な場合は通行止を行って作業を行う。
ナンバープレートのない車輌（バックホー、ブルドーザー、ロードローラ等）は道路を通行させてはならない。

（３）安全管理計画の作成・実施フロー



（注）地震防災対策強化地域内外における工事にあっては、南海トラフ地震臨時情報が発せられた場合には、継続的に地震関連情報の収集に努め、必要な確認・保全措置を講ずるものとする。

（４）事故報告

請負者は、工事現場で事故が発生した場合、被災者の救助と応急措置にあたるとともに、直ちに監督員及び関係機関へ通報する。

請負者からの監督員への連絡は、標準仕様書 1-1-36 事故報告書において、電話等での第一報の後、監督員が指示する期日までに事故発生報告書を提出することとしている。

（事故発生報告書の様式等は、第２章２－２　書類作成の手引き p. 2-98　16. 事故報告　参照）

３－３　施工管理表

（１）適　用

現場実務の各施工段階においては、施工管理表を手引きとして、土木工事等を適切に施工するものとする。ただし、工事等の種類、規模、施工条件等により、これにより難い場合はこの限りでない。

施工管理表の内容及び適用に関する留意事項を以下に示す。

工　種	○○○○工……対象とする工種名						監　督		摘要
施工段階	内　容		手　続		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類(様式)	添付書類(様式)	項目	時期			
施工段階における主要なポイント	施工段階における主要なポイントの内容項目と留意すべき事項		当該工種の施工に必要な提出書類(様式)と添付書類(様式)		工事写真の撮影項目と撮影時期		監督員の行う監督の方法と頻度		

(ｱ) 施工段階欄の頭書に記載されている施工計画は、施工計画(実施工程表等を含む)の策定時に考慮すべき事項を示す。

(ｲ) 内容欄は、「一般的な事項」を列記したものであり、これ以外の契約書第 19 条第１項第１～５号に該当する事実がある場合の確認請求を含めて、所定の手続きを行わなければならない。

(ｳ) 手続欄について

ａ）手続欄に記載の用語について、下表に留意のこと。

用　語	用　語　の　内　容	摘　要（標準仕様書の規定）
製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等	工事に使用する材料の品質規格に関する資料(製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等)	第２編第１章第２節第１項
品質の証明資料	工事に使用する材料の品質を証明する資料 注)	第２編第１章第２節第２項

注）標準仕様書の「品質管理基準及び規格値」により品質管理を実施する、種別「材料」に関する試験項目は省略できる。
また、ＪＩＳ規格品のうちＪＩＳマーク表示が認証されＪＩＳマークが表示されている材料・製品等については、ＪＩＳマーク表示状態を示す写真等確認資料の提示に替えることができる（設計図書でＪＩＳマーク表示品においても提出することが定められている材料、土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」において試験（管理）項目が定められている材料を除く）。

ｂ）提出書類欄の工事打合簿には、提出等の発議事項を例示している。

ｃ）添付書類欄の様式番号は、第５章 出来形・品質管理関係様式の様式番号を例示している。

(ｴ) 写真撮影欄は写真管理基準に加え、通常必要な運用事項が追加されている。

（２）段階確認及び施工状況把握

施工管理表の監督欄の段階確認及び施工状況把握の頻度は、臨場を基本とした確認頻度及び把握頻度の目標であり、実施にあたっては工事内容及び施工状況等を勘案の上設定する。

なお、重点監督の対象工事については、「監督･頻度」欄の「重点」の頻度を適用するとともに、工事施工中、原則として１週間に１回以上の、段階確認又は施工状況把握を実施する。

重点監督の対象
- ・低入札工事
- ・主たる工種に「ＮＥＴＩＳ」等の新技術・工法等を採用した工事

確認頻度及び把握頻度の目標である「確認の程度」及び「把握の程度」を示す、段階確認一覧表及び施工状況把握一覧表は次表のとおりである。

（標準仕様書第１編 1-1-22　参照）

段階確認一覧表

一般：一般監督
重点：重点監督

種別	細別	確認時期	確認項目	確認の程度
指定仮設工		設置完了時	使用材料、幅、高さ、長さ、深さ等	1回／1工事
土工（掘削工）		土(岩)質の変化した時	土（岩）質、変化位置	1回／土（岩）質の変化
道路土工 (路床盛土工) 舗装工 (下層路盤工)		プルーフローリング実施時	プルーフローリング実施状況	1回／1工事
表層安定処理工	表層混合処理 路床安定処理	処理完了時	使用材料、基準高さ、幅、延長、施工厚さ	一般:1回／1工事 重点:1回／2,000㎡
	置換	掘削完了時	使用材料、幅、延長、置換え厚さ	一般:1回／1工事 重点:1回／1,000㎡
	サンドマット	処理完了時	使用材料、幅、延長、施工厚さ	一般:1回／1工事 重点:1回／1,000㎡
バーチカルドレーン工	ｻﾝﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ 袋詰式ｻﾝﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ等	施工時	使用材料、打込み長さ	一般:1回／200本 重点:1回／100本
		施工完了時	施工位置、杭径	一般:1回／200本 重点:1回／100本
締固め改良工	サンドコンパクションパイル	施工時	使用材料、打込み長さ	一般:1回／100本 重点:1回／50本
		施工完了時	基準高さ、施工位置、杭径	一般:1回／100本 重点:1回／50本
固結工	粉体噴射攪拌 高圧噴射攪拌 ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ攪拌 生石灰パイル	施工時	使用材料、深度	一般:1回／100本 重点:1回／50本
		施工完了時	基準高、位置、間隔、杭径	一般:1回／100本 重点:1回／50本
	薬液注入	施工時	使用材料、深度、注入量	一般:1回／40本 重点:1回／20本
矢板工 (任意仮設を除く)	鋼矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋ 一般:1回／150枚 重点:1回／100枚
		打込完了時	基準高さ、変位	
	鋼管矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋ 一般:1回／50枚 重点:1回／25枚
		打込完了時	基準高さ、変位	
既製杭工	既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭 鋼管杭 H鋼杭	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、杭の支持力	試験杭＋ 一般:1回／10本 重点:1回／ 5本
		打込完了時(打込杭)	基準高さ、偏心量	
		掘削完了時（中堀杭）	掘削長さ、杭の先端土質	
		施工完了時(中堀杭)	基準高さ、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般:1回／10本 重点:1回／ 5本
場所打杭工	リバース杭 ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ杭 ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ杭 大口径杭	掘削完了時	掘削長さ、支持地盤	試験杭＋ 一般:1回／10本 重点:1回／ 5本
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比	一般:20%程度／1構造物 重点:50%程度／1構造物
		施工完了時	基準高さ、偏心量、杭径	試験杭＋ 一般:1回／10本 重点:1回／ 5本
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般:1回／10本 重点:1回／ 5本

種別	細別	確認時期	確認項目	確認の程度
深礎工		土(岩)質の変化した時	土（岩）質、変化位置	1回／土（岩）質の変化毎
		掘削完了時	長さ、支持地盤	一般:1回／3本 重点:全数
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比	1回／1本
		施工完了時	基準高さ、偏心量、径	一般:1回／3本 重点:全数
		グラウト注入時	使用材料、使用量	一般:1回／3本 重点:全数
ｵｰﾌﾟﾝｹｰｿﾝ基礎工 ﾆｭｰﾏﾁｯｸｹｰｿﾝ基礎工		鉄沓据付け完了時	使用材料、施工位置	1回／1構造物
		本体設置前(ｵｰﾌﾟﾝｹｰｿﾝ)	支持層	
		掘削完了時(ﾆｭｰﾏﾁｯｸｹｰｿﾝ)		
		土(岩)質の変化した時	土（岩）質、変化位置	1回／土（岩）質の変化毎
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比、ｽﾍﾟｰｻの個数	1回／1ロット
鋼管矢板基礎工		打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、支持力	試験杭＋ 一般:1回／10本 重点:1回／ 5本
		打込完了時	基準高さ、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般:1回／10本 重点:1回／ 5本
置換工 (重要構造物)		掘削完了時	使用材料、幅、延長 置換厚さ、支持地盤	1回／1構造物
築堤・護岸工		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1法線
砂防ダム		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1法線
護岸工	法覆工（覆土施工がある場合）	覆土前	設計図書との対比(不可視部分の出来形)	1回／1工事
	基礎工、根固工	設置完了時	設計図書との対比(不可視部分の出来形)	1回／1工事
重要構造物 函渠工（樋門･樋管含む） 躯体工（橋台） RC躯体工（橋脚） 橋脚ﾌｰﾁﾝｸﾞ工 RC擁壁工 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工		土(岩)質の変化した時	土（岩）質、変化位置	1回／土（岩）質の変化毎
		床堀・掘削完了時	支持地盤（直接基礎）	1回／1構造物
		鉄筋組立て完了時	使用材料 設計図書との対比 ｽﾍﾟｰｻの個数	一般:20%程度／1構造物 重点:50%程度／1構造物
		埋戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	1回／1構造物
躯体工 RC躯体工		沓座の位置決定時	沓座の位置	1回／1構造物
床版工		鉄筋組立て完了時	使用材料 設計図書との対比 ｽﾍﾟｰｻの個数	一般:20%程度／1構造物 重点:50%程度／1構造物
鋼橋 鋼製橋脚製作工		仮組立て完了時（仮組立てが省略となる場合を除く）	キャンバー、寸法等	1回／1構造物

種別	細別	確認時期	確認項目	確認の程度
トンネル覆工		コンクリート打設前	巻立空間	一般：1回／構造の変化毎 重点：3打設毎又は1回／構造の変化毎の頻度の多い方 ※重点監督：地山等級がD,Eのもの 一般監督：重点監督以外
		コンクリート打設後	出来形寸法	１回／200m以上臨場により確認
トンネルインバート工		鉄筋組立て完了時	設計図書との対比 ｽﾍﾟｰｻの個数	1回／構造の変化毎
ダム工	各工事ごと別途定める		各工事ごと別途定める	
鋼板巻立て工	ﾌｰﾁﾝｸﾞ定着ｱﾝｶｰ穿孔工	ﾌｰﾁﾝｸﾞ定着ｱﾝｶｰ穿孔完了時	施工状況の適否、設計図書との対比、深さ	一般:全数 重点:全数
	鋼板取付工、固定アンカー工	鋼板建込み固定アンカー完了時	建込み状況、設計図書との対比、使用材料	1回／1橋脚
	現場溶接工	溶接前	施工状況の適否、設計図書との対比、溶接部の適否	一般:1回／1工事 重点:1回／500㎡
		溶接完了時		
	現場塗装工	塗装前	施工状況の適否、塗膜厚、使用材料及び使用量	一般:1回／1工事 重点:1回／500㎡
		塗装完了時		
舗装工	路盤、基層、表層	各層毎の完了時	基準高さ、幅、厚さ 支持力	一般:1回／1工事 重点:1回／3000㎡
塗装工	現場塗装	ケレン完了後、各層各塗り後	施工状況の適否、塗膜厚、使用材料及び使用量	一般:1回／1工事 重点:1回／500㎡
旧施設撤去		完了時	撤去状況の適否	一般:1回／1工事 重点:1回／1施設
路面切削工		完了時	施工状況の適否、 幅、厚さ	一般:1回／1工事 重点:1回／3000㎡
ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付け工 厚層基材吹付工		法面清掃完了時	施工状況の適否	1回／1面
		ラス張完了時	ラスの位置､ｱﾝｶｰ鉄筋検測ピンの径、長さ、本数	1回／1面
開削工（下水道）		完了時	施工状況の適否	一般:1ｽﾊﾟﾝ(人孔間) ごと 重点:一般に同じ
推進工（下水道）		完了時	施工状況の適否	一般:1ｽﾊﾟﾝ(人孔間) ごと 重点:一般に同じ
ｼｰﾙﾄﾞ工（下水道）		セグメント組立て完了時	施工状況の適否	一般:1ｽﾊﾟﾝ(人孔間) ごと 重点:一般に同じ
		2次覆工完了時	施工状況の適否	一般:100mごと 重点:50mごと
立坑工（下水道）		完了時	支持地盤、寸法、 施工状況の適否	一般:1回／1箇所 重点:一般に同じ
人孔築造工 （下水道）		鉄筋組立て完了時	設計図書との対比、使用材料、ｽﾍﾟｰｻの個数	一般:20%程度／1構造物 重点:50%程度／1構造物
		築造完了時	施工状況の適否	一般:1回／1構造物 重点:一般に同じ
落石防護工		施工完了時	使用材料 設計図書との対比	1回／1工事
照明設備工	設置位置	設置位置墨だし時	照明設備の位置	1回／1施設
	点灯試験、照度測定	試験、測定時	設計照度との対比	1回／1工事
接地設置工	接地極の設置	床掘部埋戻前（打込式にあっては打込作業過程）	接地極の位置（深さ）	1回／1工事
	接地抵抗の測定	試験結果報告書提出時	接地抵抗値	1回／1工事

上記以外の電気通信設備工においては、「電気通信設備工事共通仕様書」によること。
機械工においては、「機械工事共通仕様書（案）」によること。

注)　・表中の「確認の程度」は確認頻度の目標であり、実施にあたっては工事内容及び施工状況等を勘案の上設定することとし、重点監督は１回／週以上の頻度で実施すること。
なお、ロットとは、橋台等の単体構造物はｺﾝｸﾘｰﾄ打設毎、函渠等の連続構造物は、施工単位（目地)毎とする。
・一般監督：重点監督以外の工事(工事標準仕様書第1編1-1-22第7項の規定によることができる)
・重点監督：低入札工事
：主たる工種に「ＮＥＴＩＳ」等の新技術・工法等を採用した工事。

施工状況把握一覧表

一般：一般監督
重点：重点監督

種別	細別	施工時期	把握項目	把握の程度
ｵｰﾌﾟﾝｹｰｿﾝ基礎工 ﾆｭｰﾏﾁｯｸｹｰｿﾝ基礎工 深礎工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間 打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
場所打杭工	ﾘﾊﾞｰｽ杭 ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ杭 ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ杭 大口径杭	コンクリート打設時	品質規格、運搬時間 打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
重要構造物 函渠工（樋門･樋管含む） 躯体工（橋台） RC躯体工（橋脚） 橋脚ﾌｰﾁﾝｸﾞﾞ工 RC擁壁工 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間 打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
床版工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間 打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
ﾎﾟｽﾄﾃﾝｼｮﾝT（Ⅰ）桁製作工 ﾌﾟﾚﾋﾞｰﾑ桁製作工 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾌﾞﾛｯｸ桁組立工 PCﾎﾛｰｽﾗﾌﾞ製作工 PC版桁製作工 PC箱桁製作工 PC片持箱桁製作工 PC押出し箱桁製作工 床版・横組工		コンクリート打設時 （工場製作を除く）	品質規格、運搬時間 打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
トンネル工		施工時（支保工変化毎）	施工状況の適否	1回／支保工変化毎
土工（盛土工）		敷き均し･転圧時	使用材料 敷均し･締固め状況	一般：　1回／1工事 重点：2～3回／1工事
舗装工	路盤、表層 基層	舗設時	使用材料 敷均し･締固め状況 天候、気温、舗設温度	一般：1回／1工事 重点：1回／3000㎡
ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付け工		吹付け時	施工状況の適否 品質規格、天候、気温	1回／1面
塗装工	現場塗装	清掃･錆落し施工時	清掃･錆落し状況	1回／1工事
		塗装施工時	使用材料、天候、気温	1回／1工事
樹木･芝生管理工 植生工	施肥、薬剤散布	施工時	使用材料、天候、気温	1回／1工事
ダム工	各工事ごと別途定める		各工事ごと別途定める	
開削工（下水道）		施工時	施工状況の適否	一般：1回／1ｽﾊﾟﾝ 重点：1回／50m又は1ｽﾊﾟﾝ
推進工（下水道）		施工時	施工状況、推進力	一般：1回／100mごと 又は1ｽﾊﾟﾝ2回 重点：1回／50mごと 又は1ｽﾊﾟﾝ3回
		裏込注入時	施工状況、薬剤使用量	一般：1回／ｽﾊﾟﾝ 重点：2回／ｽﾊﾟﾝ
ｼｰﾙﾄﾞ工（下水道）	1次覆工 2次覆工	裏込注入時	施工状況、薬剤使用量	一般：100リンク 重点：50リンク
		ｺﾝｸﾘｰﾄ打設時	品質規格、運搬時間 打設順序､天候､気温	一般：100mごと 重点：50mごと
立坑工(下水道)		施工時	施工状況の適否	一般：1回／1箇所 重点：2回／1箇所
人孔築造工(下水道)		施工時	施工状況の適否	一般：1回／1構造物 重点：一般に同じ

注）・表中の「把握の程度」は把握頻度の目標であり、実施にあたっては工事内容及び施工状況等を勘案の上設定することとし、重点監督は1回／週以上の頻度で実施すること。
なお、ロットとは、橋台等の単体構造物はｺﾝｸﾘｰﾄ打設毎、函渠等の連続構造物は、施工単位（目地)毎とする。
・一般監督：重点監督以外の工事
・重点監督：低入札工事
：主たる工種に「ＮＥＴＩＳ」等の新技術・工法等を採用した工事。

（３）施工管理表

目　　次

第３編　工事共通編
工事共通 ･･ 3－28
第１章　土　工
　第３節　**河川土工･海岸土工･砂防土工** ･･････････････････････････ 3－29
　第４節　**道路土工** ･･･ 3－30
第２章　無筋・鉄筋コンクリート
　第３節　レディーミクストコンクリート ⎫ **コンクリート工** ･･････････････ 3－31
　第６節　運搬・打設 ⎭
　第７節　**鉄筋工** ･･ 3－31
　第８節　**型枠･支保** ･･ 3－32
第３章　一般施工
　第３節　共通的工種
　　3-3-3　**作業土工(床堀り･埋戻し)** ･････････････････････････････ 3－32
　　3-3-4　**矢板工(鋼矢板工、コンクリート矢板工)** ････････････････････ 3－33
　　3-3-13　**工場塗装工(現場塗装工)** ･･････････････････････････････ 3－35
　第４節　基礎工
　　3-4-1　**一般事項(砕石基礎工)** ･･･････････････････････････････ 3－36
　　3-4-3　**基礎工(護岸)** ･････････････････････････････････････ 3－36
　　3-4-4　**既製杭工(打込み杭工法)(中堀り杭工法)** ･･･････････････････ 3－37
　　3-4-5　**場所打杭工(ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法)(ﾘﾊﾞｰｽ工法)** ･･････････････････ 3－40
　　3-4-6　**深礎工** ･･ 3－42
　　3-4-7　**オープンケーソン基礎工** ･････････････････････････････ 3－43
　　3-4-8　**ニューマチックケーソン基礎工** ･････････････････････････ 3－44
　第５節　法面工
　　3-5-6　**吹付工(コンクリート、モルタル)** ････････････････････････ 3－33
　　3-5-7　**植生工(張芝工、筋芝工)**
　　　　　(種子吹付工、種子帯工、植生穴工、厚層基材吹付工) ･････ 3－34
　第６節　石・ブロック積(張)工
　　3-5-3　**コンクリートブロック工(コンクリートブロック積(張))** ･･････････ 3－45
　　3-5-5　**石積(張)工** ･･････････････････････････････････････ 3－45
　第６節　一般舗装工
　　3-6-5　アスファルト舗装工
　　　　　下層路盤工 ･････････････････････････････････････ 3－46
　　　　　上層路盤工(粒度調整路盤工) ･･････････････････････････ 3－47
　　　　　加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ安定処理工 ･････････････････････････････ 3－48
　　　　　歩道路盤工･路肩舗装路盤工 ･･･････････････････････････ 3－49
　　　　　基層工･表層工 ･･･････････････････････････････････ 3－50
　　　　　歩道舗装工･路肩舗装工 ･････････････････････････････ 3－51
　　3-6-6　コンクリート舗装工
　　　　　コンクリート舗装版工 ･･････････････････････････････ 3－52

第７節　地盤改良工
3-7-2　**路床安定処理工**　…………………………　3－53
第 10 節　仮設工
3-10-5　**土留・仮締切工（H 鋼杭、鋼矢板）**　…………………………　3－53

第４編　河　川　編
第１章　築堤・護岸
第７節　根固め工
1-7-3　**根固めブロック工**　…………………………　3－54
1-7-5　**沈床工**　…………………………　3－54
1-7-6　**捨石工**　…………………………　3－54
第２章　**浚渫(川)**　…………………………　3－55
第３章　**樋門・樋管**　…………………………　3－56
第４章　**水　門**　…………………………　3－56
第８章　河川維持
第４節　除草工
8-4-2　**堤防除草工**　…………………………　3－57
第５節　堤防養生工
8-5-2　**芝養生工**　…………………………　3－57
8-5-3　**伐木除根工**　…………………………　3－58
第 11 節　清掃工
8-11-3　**塵芥処理工**　…………………………　3－58

第５編　海　岸　編
第１章　堤防・護岸
第４節　護岸工
1-4-4　**海岸コンクリートブロック工**　…………………………　3－59
1-4-5　**コンクリート被覆工**　…………………………　3－59
第７節　波返工
1-7-3　**波返工**　…………………………　3－59

第６編　砂　防　編
第１章　砂防堰堤
第６節　**コンクリート堰堤工**　…………………………　3－60

第７編　道　路　編
第１章　道路改良
第５節　擁壁工
1-5-5　**場所打擁壁工**　…………………………　3－62
第７節　カルバート工
1-7-6　**場所打函渠工**　…………………………　3－63
1-7-7　**プレキャストカルバート工**　…………………………　3－63
第８節 排水構造物工（小型水路工）
1-8-4　**管渠工**　…………………………　3－64
1-8-7　**場所打水路工**　…………………………　3－64

第２章　舗　装
第８節　標識工
2-8-3　**小型標識工**　……………………………………　3－65
2-8-4　**大型標識工**　……………………………………　3－65
第３章　橋梁下部
第４節　橋台工
3-4-8　**橋台躯体工**　……………………………………　3－66
第５節　RC 橋脚工
3-5-9　**橋脚躯体工(張出式)**　……………………………　3－66
第４章　鋼橋上部
第３節　**工場製作工**　……………………………………　3－67
第４節　**鋼橋架設工**　……………………………………　3－67
第５節　**橋梁現場塗装工**　………………………………　3－67
第６節　**床版工**　…………………………………………　3－70
第５章　コンクリート橋上部
第４節　**PC 橋工（ﾎﾟｽﾄﾃﾝｼｮﾝ桁）（ﾌﾟﾚﾃﾝｼｮﾝ桁）**　…………　3－71
第 13 章　道路維持
道路維持補修工事全般　…………………………………　3－75
第４節　舗装工
13-4-3　**路面切削工**　……………………………………　3－75
13-4-4　**舗装打換え工**　…………………………………　3－76
13-4-6　**オーバーレイ工**　………………………………　3－76
13-4-10　**アスファルト舗装補修工（パッチング）（亀裂充填）（欠損部補修）**　……　3－77
第 16 節　現場塗装工
13-16-4　**道路付属構造物塗装工**　………………………　3－78
第 18 節　道路付属物復旧工
13-18-3　**付属物復旧工(視線誘導標)**　…………………　3－78
13-18-4　**区画線復旧工**　…………………………………　3－79
第 19 節　道路清掃工
13-19-3　**路面清掃工（機械清掃）（人力清掃 A）（人力清掃 B）（人力清掃 C）**　……　3－79
13-19-4　**路肩整正工**　……………………………………　3－80
13-19-5　**排水施設清掃工（排水管機械清掃）（側溝人力清掃）**　……………　3－81
13-19-7　**道路付属物清掃工(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ機械清掃)**　………　3－82
第 20 節　植栽維持工
13-20-3　**樹木･芝生管理工（剪定作業）（施肥）（薬剤散布）（補植））（支柱工）**　…　3－82
第 21 節　除草
13-21-2　**道路除草工（人力除草）（機械除草A）（機械除草B）**　……………　3－84
第 22 節　応急処理工
13-22-2　**応急処理作業工**　………………………………　3－85

第 11 編　電気通信設備・機械編
第１章　**電気通信設備工**　………………………………　3－85

工 種	工事共通						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	一般事項	1 契約条件 2 現場条件 3 施工計画書記載内容 4 変更計画書（変更時） 5 施工管理の方法	工事打合簿提出 （施工計画書）	各種資料（適宜）	着手前写真 （全景又は代表部分）	着手前	受理	着手前及び変更時	
準備工	工事現場管理	1 諸法令の遵守 2 各種標識、保安施設等の設置と保全 3 安全巡視、危険物の保管 4 安全教育・安全訓練 5 工事現場周辺の生活環境の保全等 6 隣接工事との協力		各種標識・保安施設配置図（適宜）	各種標識・保安施設設置状況	設置後作業中			
	交通安全管理	1 交通安全施設の設置と保全 2 交通誘導警備員の配備 3 迂回路、工事用道路の損傷防止 4 工事車両の運行状況 5 工事車両の過積載防止		交通安全施設・交通誘導員配置図（適宜）	交通安全施設設置状況 交通誘導員の配置状況	設置後作業中			
	対外関係	1 官公庁等への届出 2 官公庁等の許可・承諾 3 地域住民に対する周知等		届出書類は提示で可 許可・承諾書類は提示で可				届出後	
設計照査	設計照査	1 設計図書との照査 （設計変更ガイドライン）注）	条件変更確認請求通知通知	照査項目一覧表 契約書第 19 条第 1 項第 1～5 号に該当する事実が確認できる資料 調査結果資料	該当する事実が確認できる写真	不一致発生時	受理 立会	着手前 不一致発生時	
工事測量	仮ＢＭ 工事用多角点	1 基準となる点の選定 2 仮ＢＭ、工事用多角点の設置	工事打合簿了解 工事打合簿提出	基準となる点の選定資料 仮ＢＭ、工事用多角点の測量結果資料			指示 受理	着手時 着手時	
	用地境界 中心線(法線) 縦横断	1 用地境界、中心線（法線）、縦横断の確認（設計図書との対比）の確認 2 控杭の設置	工事打合簿提出	各測量結果資料			受理	着手時	
	採取土の採取場	1 地形の実測	工事打合簿提出	地形の実測資料	全景又は代表部分	採取前後	受理	採取前後	
	建設発生土の受入地	1 地形の実測	工事打合簿提出	地形の実測資料	全景又は代表部分	搬入前後	受理	搬入前後	
	丁張等	1 主要構造物の位置、高さ							
跡片付	跡片付	1 施工箇所の跡片付・清掃 2 踏荒、借地等の原形復旧			完成写真 （全景又は代表部分）	施工完了後			

備考

注）標準仕様書：第 1 編 1-1-3 設計図書の照査等 参照

ＩＣＴ活用工事については、「ＩＣＴ活用工事（土工）実施要領」及び「ＩＣＴ活用工事（舗装）実施要領」等の規定により施工するものとする。

工 種	河川土工・海岸土工・砂防土工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順（工程、施工方法） 2 施工管理等 3 建設発生土受入地及び運搬経路	工事打合簿 提出 （施工計画書）	図面等（適宜） 処理方法(場所､形状)、排水計画、場内維持等			受理	着手前及び変更時	
法線設置 (築堤･護岸工) (砂防ﾀﾞﾑ)			段階確認報告書				段階確認	1回/1法線	
掘削工	土質の変化	1 土質の変化 2 土及び岩分類の境界 3 法勾配の適否	段階確認報告書	土及び岩分類の境界が確認できる資料	土質等の判別	掘削中	段階確認	1回/土(岩)質の変化	
	掘削方法 順序	1 法面崩落防止 2 重要工作物に接する箇所の掘削方法 3 涌水箇所の施工 4 流水影響箇所			施工状況	施工中			
盛土工	伐開、除根	1 伐開建設副産物の処理 2 伐開除根作業終了時 3 用地外の立木根の処理			伐開、除根施工状況	施工前後			
	地盤確認	1 軟弱地盤の有無							
	段切等	1 在来地盤等の上の薄層盛土実施の場合、表面掻起しの適否			段切巾、深さ 地盤置換巾、厚さ 施工状況	施工前 施工後 施工中			
	まき出し	1 盛土地盤にヘドロ等の不良土質が現れた場合の処理の適否			適宜				
		1 各層まき出し厚さ適否 2 大玉石等の処理 3 空げき充填状況 4 草木根の混入			巻出し厚	巻出し時			
	締め固め	1 転圧機種 2 含水状況 3 法肩、構造物附近の締固め 4 築堤断面の湧水､滞水処理 5 締固めの一様性	施工状況把握報告書		締固め状況	締固め時	施工状況把握	1回/1工事 (重点2～3回/1工事)	
軟弱地盤 盛　土	沈下量の確認 地下水位	1 盛土量の確認方法 2 沈下計器等の設置位置の適否 3 沈下量地表伸縮及び間ゲキ水圧と地下水位、沈下曲線	工事打合簿 提出 (施工計画書)	沈下量確認方法	沈下測定施設 沈下測定状況	設置後 測定中	受理	着手前	
	地盤沈下等	1 地盤沈下滑動等	条件変更確認請求 通知 通知	予期できなかった沈下滑動等が生じる恐れがある予測資料	沈下滑動等状況	発生前 発生直後 発生後	受理 立会 通知	随時	
	盛土工法	1 盛土速度 2 一段階の高さ、時期、厚さ一様性	工事打合簿 承諾 (一段階の盛土の着手) 施工状況把握報告書	沈下滑動等の観測資料	巻出し厚 締固め状況	巻出し時 締固め時	承諾 施工状況把握	1回/1工事 (重点2～3回/1工事)	
材　料	購入土の品質規格	1 粒度、有害物混入の有無	工事打合簿 承諾	試験成績表			承諾	当初及び変更時	
品質管理	材　料	1 土の締固め試験	品質管理表		土の締固め試験	試験実施中			
	盛土工 軟弱地盤 盛　土	1 現場密度の測定	品質管理表	様式1-2、1-3、2、4 様式24-1、24-2	現場密度の測定	試験実施中			
出来形管理	掘削工 盛土工 軟弱地盤 盛　土	1 基準高 2 法長 3 幅(盛土工､軟弱地盤盛土工)	出来形成果表 出来形図	様式1-1､1-2､1-3､2	法長 幅	施工後			
備考									

工種	道路土工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 指定された施工条件 2 施工方法（工法、機種、手順） 3 施工後の排水対策 4 建設発生土受入地及び運搬経路	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜） 処理方法(場所､形状)、排水計画、場内維持等			受理	着手前及び変更時	
準備工	伐開、除根	1 草木根等の除去 2 伐開発生物の処理 3 用地外の立木根の除去			伐開、除根施工状況	施工前後			
	段切、表土はぎ	1 施工の適否			施工状況（巾、深さ、厚さ）	施工前後			
掘削工	土質の変化	1 土質の変化 2 土及び岩分類の境界 3 法勾配の適否	段階確認報告書	土及び岩分類の境界が確認できる資料	土質等の判別	掘削中	段階確認	1回/土(岩)質の変化	
	施　工	1 湧水、雨水の処理 2 コーン指数 3 埋設物、重要構造物付近の掘削 4 法面崩落、地すべり 5 火薬使用の適否と安全対策 6 運搬路汚損	条件変更確認請求通知通知	工事目的物に影響を及ぼす恐れのあるような予測できなかった湧水の発生状況の資料	施工状況	施工中	受理 立会		
	法面仕上げ	1 浮石の処理及び凸凹の程度 2 湧水の処理			仕上げ状況	仕上げ時			
	路床面	1 路床の改良の要否	条件変更確認請求通知通知	不良土の厚さ、幅、連続性等の資料	不良土の状況	施工中	受理 立会		
路体盛土工 路床盛土工	まき出し	1 １層まき出し厚 2 予期しない不良土の処理 3 片切り片盛りの接続部の処理 4 工作物付近	施工状況把握報告書		巻出し厚	巻出し時	施工状況把握	1回/1工事 (重点2～3回/1工事)	
	締固め	1 含水状況 2 路肩、工作物付近 3 締固めの一様性			締固め状況	締固め時			
軟弱地盤盛土	施　工	1 施工時期及び盛土速度 2 一段階の高さ、時期、厚さ一様性	工事打合簿承諾 (一段階の盛土の着手) 施工状況把握報告書	沈下滑動等の観測資料	巻出し厚 締固め状況	巻出し時 締固め時	承諾 施工状況把握	1回/1工事 (重点2～3回/1工事)	
	沈下量の確認	1 沈下量の確認方法 2 沈下計器等の設置位置の適否 3 沈下量と間ゲキ水圧と地下水位との関係	工事打合簿提出 (施工計画書)	沈下量確認方法	沈下測定施設 沈下測定状況	設置後 測定中	受理	着手前	
	地盤沈下等	1 地盤沈下滑動等	条件変更確認請求通知通知	予期できなかった沈下滑動等が生じる恐れがある予測資料	沈下滑動等状況	発生前 発生直後 発生後	受理 立会 通知	随時	
材　料	購入土	1 CBR、PI、粒度、有害物混入の有無	工事打合簿承諾	試験成績表			承諾	当初及び変更時	
品質管理	材　料	1 土の締固め試験 2 ＣＢＲ試験（路床）	品質管理表		土の締固め試験 ＣＢＲ試験	試験実施中			
	施　工	1 現場密度の測定 2 プルーフローリング（路床盛土工）	品質管理図表 段階確認報告書	様式 1-2、1-3、2、4 様式 19、 様式 24-1、24-2	現場密度の測定 プルーフローリング	試験実施中	段階確認	1回/1工事	
出来形管理		1 基準高 2 法長 3 幅	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	法長 幅	施工後			
備考									

工種	コンクリート工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 打設方法、打設順序 2 締固方法 3 養生方法	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	品質規格	1 ㊎マーク工場　注1) 2 使用材料（セメント混和材料、骨材−アルカリ骨材反応等） 3 配合（セメント量、水セメント比、変動係数） 4 運搬時間	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等（㊎マーク入り） 基礎資料 配合計画書			受理	施工前	
施工	施工状況	1 天候、気温、打設温度 2 打継目の処理 3 施工の適否 4 暑中、寒中ｺﾝｸﾘｰﾄ	施工状況把握報告書（重要構造物のみ）		打設状況（打継目処理、締固） 養生状況	施工時 養生時	施工状況把握	1回/1構造物（重点1回/1ﾛｯﾄ）	
品質管理	品質規格	1 塩化物総量規制 2 スランプ試験 3 圧縮強度試験 4 空気量測定 5 単位水量　注2) 6 ひび割れ調査　注2) 7 ﾃｽﾄﾊﾝﾏｰによる強度注2)	品質管理図表	様式 1-2、1-3、2、4 様式 7 様式 8-1～8-5 様式 9-1～9-6	塩化物総量 スランプ試験 圧縮強度試験 空気量測定 単位水量 ひび割れ調査 ﾃｽﾄﾊﾝﾏｰ強度	試験実施中			
出来形管理	出来形寸法	1 該当工種の出来形管理基準及び規格値による 2 完成時不可視となる部分	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書（重要構造物のみ）	様式 1-1、1-2、1-3、2	該当工種の撮影箇所一覧表（出来形管理）による	型枠取外し後	段階確認	1回/1構造物	

備考
注 1）レディーミクストコンクリートを使用する場合
注 2）品質管理の対象は品質管理基準及び規格値を参照

工種	鉄筋工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 保管方法、加工方法 2 組立、継手位置、圧接位置 3 ガス圧接工資格	工事打合簿提出 （施工計画書） 工事打合簿提出	図面等（適宜） ガス圧接工資格証明			受理 受理	着手前及び変更時 施工前	
材料	品質規格 加工の適否	1 ミルシート 2 さび、きず、付着物	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 ミルシート	形状･加工寸法	使用前	受理	施工前	
施工	施工方法	1 加工、組立、継手（圧接）、結束及び清掃状況 2 スペーサの材質、個数等			施工状況	施工中			
品質管理	ガス圧接継手	1 施工前試験（外観検査） 2 施工後試験（外観検査） 3 同上（超音波探傷検査）	品質管理表	様式 17	外観検査 超音波探傷検査	検査実施中			
出来形管理	鉄筋の組立て	1 平均間隔 2 かぶり	出来形成果表 出来形管理図 段階確認報告書 （重要構造物のみ）	測定結果	平均間隔 かぶり 継手寸法 組立全景	組立後 組立後 組立後 組立後	段階確認	20%程度/1構造物（重点50%程度/1構造物）	

備考　※橋梁の壁高欄におけるスペーサについては、監督員の承諾を得て適宜配置。

工種	型枠・支保						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	型枠工 支保工 足場工	1 材質、面取り、塗布 2 脱型時期 3 あげこし 4 構造、安定 5 取はずし時期、順序 6 配置計画	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面及び構造計算書 （適宜） 労働基準監督署への足場設置届、型枠支保工設置届は提示で可 (つり足場、張出し足場以外の足場にあっては高さ 10m 以上) (支柱の高さ 3.5m 以上)			受理	着手前及び変更時 届出後	
施　工	施工方法 型枠の適否	1 施工の適否 1 設計図書との対比 2 型枠のとおり			組立状況(全景又は代表部分)	組立完了時			
備考									

工 種	作業土工(床掘り)						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	機種選定 施工方法 建設発生土処理	1 床掘規模、地盤、地質、地下水、作業の安全等 2 床掘勾配、床掘順序 3 建設発生土受入地等	工事打合簿提出 (施工計画書)	各種資料(適宜)			受理	着手前及び変更時	
施　工	土　質 湧　水 作業の安全 建設発生土	1 土質の変化 2 湧水状況 3 土留（仮締切）と床掘法面の変化 4 建設発生土処理	段階確認報告書 (重要構造物のみ)	土及び岩分類の境界が確認出来る資料	土質等の判別	施工中	段階確認	1 回/土（岩）質の変化	
品質管理	基礎地盤	1 基礎地盤の適否(重要構造物)	段階確認報告書 (重要構造物のみ)				段階確認	1 回/1 構造物	
備考									

工 種	作業土工(埋戻し)						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	機種選定 施工方法	1 現場環境、地質、地下水作業の安全 2 埋戻順序、締固方法	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材　料	品質規格	1 設計図書との対比 2 土質							
施　工	施工方法	1 敷均、締固、排水 2 埋戻土の確保と管理			巻出し厚 締固め状況	巻出時 締固時			
品質管理	土の締固め試験	1 埋戻し材料	品質管理表		試験実施状況	試験実施中			
	現場密度の測定	1 土の締固め試験結果との対比	品質管理図表	様式 1-2、1-3、2、4 様式 24-1、24-2	試験実施状況	試験実施中			
備考									

工種	矢板工（鋼矢板工、コンクリート矢板工）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法 運搬保管	1 現場環境、周辺構造物等への影響 2 地質条件 3 公害関係諸法規 4 施工機種 5 変形を生じさせない	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	品質規格	1 設計図書との対比 (1)鋼矢板(JIS 製品) (2)ｺﾝｸﾘｰﾄ矢板(JIS 製品)	工事打合簿提出 品質の証明資料 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 ミルシート 試験成績表	形状寸法 形状寸法	使用前 使用前	受理	使用前	
施工	施工状況	1 打込長、偏位量の適否 2 施工記録の整備	条件変更確認請求通知通知	打込み不能の場合、その原因調査資料	施工状況	施工中	受理 立会		
出来形管理	基準高 根入長 変位 枚数		出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	根入長 変位、数量	打込前後 打込後	段階確認	試験矢板＋1回/150 枚（重点＋1回/100 枚）	

備考　仮設材については、土留・仮締切工による。
　　鋼矢板の設計及び施工については、「鋼矢板（設計から施工まで）」（鋼管杭協会 2007）参照。

工種	吹付工（コンクリート、モルタル）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順 2 施工機械（機種能力） 3 仮設（足場）方法	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
配合	試験練	1 現場配合の設定 2 フロー値の決定	工事打合簿提出	配合決定書	試験実施状況	試験実施中	受理		
材料 セメント 骨材 鉄鋼 鉄筋	品質規格	1 ㊞マーク工場　注1) 2 使用材料（セメント混和材料、骨材−アルカリ骨材反応等） 3 配合（セメント量、水セメント比、変動係数） 4 運搬時間	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 （㊞マーク入り） 基礎資料 配合計画書			受理	施工前	
	品質管理	1 フロー試験 2 アルカリ骨材反応対策			試験実施状況	試験実施中			
吹付	法面清掃 水抜き孔	1 法面清掃（整形）状況 2 ラウンディングの確認 3 湧水箇所の処理方法	段階確認報告書		清掃状況	清掃後	段階確認	1回/1面	
	金網張付 鉄筋組立	1 継手及び固定方法（ラス張アンカー鉄筋及び補強アンカー鉄筋）			張付状況 ラス鉄網の重ね合わせ寸法	張付後 吹付前			
	吹付	1 はね返り物によるサンドポケットの確認 2 打継ぎ 3 伸縮目地 4 セメント使用量 5 吹付厚さの均等性	施工状況把握報告書		吹付状況 セメント充・空袋数量等	施工中 施工前後	施工状況把握	1回/1面	
品質管理	品質規格	1 圧縮強度試験	品質管理図表	様式 1-2、1-3、2、4	圧縮強度試験	試験実施中			
出来形管理	法長 厚さ 延長		出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	法長 厚さ(検測孔)	施工後 吹付後			

備考　仮設の場合は適用除外
　注 1）レディーミクストコンクリートを使用する場合

工種	植生工（張芝工、筋芝工）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画		1 施工手順 2 施工時期	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	品質規格	1 設計図書							
施工	張芝工 筋芝工	1 土羽打状況、衣土の締固 2 芝と土羽面との密着 3 芝串の固定 （張芝 1m² 当り 20～30 本） 4 耳芝の施工			施工状況	施工中			
出来形管理	法長 延長				土羽土の厚さ 法長	施工中 施工後			
備考									

工種	植生工（種子吹付工、種子帯工、植生穴工、厚層基材吹付工）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画		1 施工手順 2 施工時期 3 施工機械	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	品質規格	1 設計図書 2 設計数量との対比 3 有機質土壌改良材	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 種子・肥料の品質規格証明書等	充・空袋数量等	検収時	受理	施工前	
配合	配合	1 法面の土壌硬度及び土壌ＰＨ試験(種子吹付工) 2 土壌改良の要否 3 示方配合との対比	工事打合簿承諾	配合表	材料使用量	混合前	承諾	施工前	
施工	種子吹付工	1 浮石、その他雑物の除去 2 法面の湿潤 3 吹付後の養生			施工状況	施工中			
	種子帯工	1 間隔、埋込み長 2 芝串の固定			施工状況	施工中			
	植生穴工	1 間隔、径、深さ 2 播種、乳剤散布の均一性 3 湧水処理			施工状況	施工中			
	厚層基材吹付工	吹付工(コンクリート、モルタル）参照							
出来形管理	法長 延長 厚さ(厚層基材吹付)		出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	土羽土の厚さ 法長 厚さ(検測孔)	施工中 施工後 吹付後			
備考									

工種	工場塗装工(現場塗装工)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順 2 塗装工の資格	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	材料検査	1 品質確認の適否 2 使用量	工事打合簿提出 品質の証明資料 材料確認書 （現場塗装）	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等、塗見本、品質、製造年月日、ロット番号、数量出荷証明書、塗料試験成績書	材料使用量 （塗料缶）	使用前 使用後	受理 確認	施工前 施工前	
素地調整	ケレン清掃	1 新橋・鋼製ダムは素地調整程度１種 2 有害な薬品の使用禁止 3 構造の複雑な箇所は入念に施工	施工状況把握報告書(現場塗装) 段階確認報告書 (現場塗装)		ケレン状況	施工前 施工中 施工後	施工状況把握 段階確認 (現場塗装)	１回/１工事 １回/１工事(重点１回/1ﾛｯﾄ)	
塗装	施工一般 （工場塗装） （現場塗装） 記　録 （現場塗装）	1 気象条件の適否 2 乾燥状態の適否 3 塗り間隔の適否 4 塗装の均一性 5 構造の複雑な箇所は入念に施工 6 タッチアップの状況 7 コンクリート接触面は塗装しない 8 現場溶接箇所の塗装不要 9 下塗り塗膜状態調査 1 最終塗装完了後	施工状況把握報告書(現場塗装)		塗装状況	塗装後	施工状況把握(現場塗装)	１回/１工事	
出来形管理		塗膜厚	出来形成果表 段階確認報告書 (現場塗装)	様式 14	塗膜厚測定	測定時	段階確認(現場塗装)	１回/１工事(重点１回/1ﾛｯﾄ) (無機ジンクリッチペイント、下塗りの塗布後)	
備考									

工 種	基礎工 一般事項（砕石基礎工）						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 締固機種	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材　料	品質規格	1 再生クラッシャーラン（RC-40）	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表			受理	施工前	
施　工	施工方法	1 締固、間ゲキ充填材（必要時）			施工状況	施工中			
出来形	幅、厚さ、延長		出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅、厚さ	施工後			
備考									

工 種	基礎工（護岸）						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
床掘工 鉄筋工 型枠工 ｺﾝｸﾘｰﾄ工 埋戻工		作業土工(床掘り）参照 鉄筋工 参照 型枠・支保 参照 コンクリート工 参照 水中打込み禁止 作業土工(埋戻し）参照							
品質管理	鉄　筋	鉄筋工 参照							
	コンクリート	コンクリート工 参照							
出 来 形	(現場打) 基準高、幅、高さ、延長 (ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ) 基準高 延長		出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	(現場打) 幅 高さ (ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ) 据付状況	型枠取外し後 施工後	段階確認	1回/1工事	
備考									

工 種	既製杭工（打込み杭工法）						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 現場環境 2 公害関係諸法規 3 地盤状況、地質条件 4 施工機種 5 杭の打止め管理方法 6 現場継手(鋼管杭､H 鋼杭)の溶接施工管理技術者	工事打合簿提出 (施工計画書) 工事打合簿提出	図面等（適宜） 溶接工資格証明書の写し			受理 受理	着手前及び変更時 施工前	
材　料	品質規格	1 杭の諸元 2 杭の細部構造（頭部、先端部、継手部） 3 外観 4 形状寸法	工事打合簿提出 品質の証明資料(鋼管杭､H 鋼杭) 品質の証明資料(ｺﾝｸﾘｰﾄ杭 JIS 製品)	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 ミルシート 試験成績表	 形状寸法 形状寸法	 使用前 使用前	受理	施工前	
打込み	試験杭	1 杭の位置及び配置 〔試験施工〕 1 支持層の確認…貫入状況、打ち止まり状況、地質柱状図との対比 2 支持力計算（動力学公式、静力学公式） 3 施工機械の適否…周辺部への影響、杭の破損			施工状況（杭種毎）	施工中			
		〔試験結果〕 1 打止め貫入量(リバウンド量) 2 支持力等施工管理値の設定 3 杭頭切断の必要が生じた場合の処理､補強方法	段階確認報告書 条件変更確認請求 通知通知 条件変更確認請求 通知通知 試験杭施工結果報告書	 打込み不能の場合、その原因調査資料 支持力の測定値が所定の支持力に達しない場合、その資料 打止め管理の施工記録			段階確認 受理 立会 受理 立会	試験杭	
	本　杭	1 運搬、保管の適否 2 打止め貫入量(リバウンド量) 支持力 3 偏心、傾斜、偏打 4 打止め高さ 5 継手部（溶接）の適否	段階確認報告書 杭施工結果報告書	 打止め管理の施工記録	施工状況 溶接状況 リバウンド測定状況	施工中	段階確認	1 回/10 本(重点 1 回/ 5 本)	
杭頭処理	既製杭	1 ずれ止め溶接の適否 2 杭頭切断の処理 3 杭を切断した場合の補強方法 4 中詰め補強鉄筋	段階確認報告書		杭頭処理状況	処理前 処理中 処理後	段階確認	1 回/10 本(重点 1 回/ 5 本)	
品質管理	外観検査 打止め管理 現場溶接	1 鋼管杭、ｺﾝｸﾘｰﾄ杭、H 鋼杭 1 打止め管理の施工記録 1 浸透探傷試験 2 放射線透過試験	品質管理図表	 様式 11-1～11-2 様式 15 様式 16	外観検査 浸透探傷試験 放射線透過試験	検査 実施中 試験 実施中			
出来形管理	基準高 偏心量 根入長 傾　斜	1 全数について杭中心で測定	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	 様式 1-1、1-2、1-3、2	偏心量(全数) 根入長 数量	打込後 打込前 打込後	段階確認	1 回/10 本(重点 1 回/ 5 本)	
備考									

工 種	既製杭工（中掘り杭工法 最終打撃方式）						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 現場環境 2 公害関係諸法規 3 地盤状況、地質条件 4 施工機種 5 杭支持層の確認方法 6 現場継手(鋼管杭､H 鋼杭)の溶接施工管理技術者	工事打合簿提出 (施工計画書) 工事打合簿提出	図面等（適宜） 溶接工資格証明書の写し			受理 受理	着手前及び変更時 施工前	
材　料	品質規格	1 杭の諸元 2 杭の細部構造（頭部、先端部、継手部） 3 外観 4 形状寸法	工事打合簿提出 品質の証明資料 (鋼管杭､H 鋼杭) 品質の証明資料 (ｺﾝｸﾘｰﾄ杭 JIS 製品)	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 ミルシート 試験成績表	 形状寸法 形状寸法	 使用前 使用前	受理	施工前	
打込み	試験杭	1 杭の位置及び配置 〔試験施工〕 1 支持層の確認…ｽﾊﾟｲﾗﾙｵｰｶﾞｰの動電流値の変化の記録､ｵｰｶﾞｰ先端部に付着している土砂の目視把握、地質柱状図との対比 2 施工機械の適否…周辺部への影響、杭の破損			施工状況（杭種毎）	施工中			
		〔試験結果〕 1 打止め貫入量(リバウンド量) 2 支持力等施工管理値の設定 3 杭頭切断の必要が生じた場合の処理､補強方法	段階確認報告書 条件変更確認請求通知通知 条件変更確認請求通知通知 試験杭施工結果報告書	 打込み不能の場合、その原因調査資料 支持力の測定値が所定の支持力に達しない場合、その資料 打止め管理の施工記録			段階確認 受理 立会 受理 立会	試験杭	
	本　杭	1 運搬、保管の適否 2 打止め貫入量(リバウンド量) 支持力 3 偏心、傾斜、偏打 4 打止め高さ 5 継手部（溶接）の適否	段階確認報告書 杭施工結果報告書	 打止め管理の施工記録	施工状況 溶接状況 リバウンド測定状況	施工中	段階確認	1 回/10 本(重点 1 回/ 5 本)	
杭頭処理	既製杭	1 ずれ止め溶接の適否 2 杭頭切断の処理 3 杭を切断した場合の補強方法 4 中詰め補強鉄筋	段階確認報告書		杭頭処理状況	処理前 処理中 処理後	段階確認	1 回/10 本(重点 1 回/ 5 本)	
品質管理	外観検査 打止め管理 現場溶接	1 鋼管杭、ｺﾝｸﾘｰﾄ杭、H 鋼杭 1 打止め管理の施工記録 1 浸透探傷試験 2 放射線透過試験	品質管理図表	 様式 11-1～11-2 様式 15 様式 16	外観検査 浸透探傷試験 放射線透過試験	検査 実施中 試験 実施中			
出来形管理	基準高 偏心量 根入長 傾　斜	1 全数について杭中心で測定	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	 様式 1-1、1-2、1-3、2	偏心量(全数) 根入長 数量	打込後 打込前 打込後	段階確認	1 回/10 本(重点 1 回/ 5 本)	
備考									

工 種	既製杭工（中掘り杭工法 セメントミルク噴出撹拌方式）【コンクリート打設方式】						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 現場環境 2 公害関係諸法規 3 地盤状況、地質条件 4 施工機種 5 杭支持層の確認方法 6 ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸの注入量及び注入方法 7 ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸの噴出撹拌方式の工法 8 現場継手(鋼管杭､H 鋼杭)の溶接施工管理技術者	工事打合簿提出 (施工計画書) 工事打合簿承諾 工事打合簿提出	図面等（適宜） ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸの噴出撹拌方式の工法資料 溶接工資格証明書の写し			受理 承諾 受理	着手前及び変更時 施工前 施工前	
材　料	品質規格	1 杭の諸元 2 杭の細部構造（頭部、先端部、継手部） 3 外観 4 形状寸法	工事打合簿提出 品質の証明資料 (鋼管杭､H 鋼杭) 品質の証明資料 (ｺﾝｸﾘｰﾄ杭 JIS 製品)	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 ミルシート 試験成績表	 形状寸法 形状寸法	 使用前 使用前	受理	施工前	
打込み	試験杭	1 杭の位置及び配置 〔試験施工〕 1 支持層の確認…ｽﾊﾟｲﾗﾙｵｰｶﾞｰの動電流値の変化の記録、ｵｰｶﾞｰ先端部に付着している土砂の目視把握、地質柱状図との対比 2 施工機械の適否…周辺部への影響、杭の破損			施工状況 （杭種毎）	施工中			
		〔試験結果〕 1 支持層の確認 2 ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸの注入量及び水セメント比 【ｺﾝｸﾘｰﾄ打設量】 3 杭頭切断の必要が生じた場合の処理､補強方法	段階確認報告書 条件変更確認請求通知通知 条件変更確認請求通知通知 試験杭施工結果報告書	 打込み不能の場合、その原因調査資料 支持力の測定値が所定の支持力に達しない場合、その資料 支持層確認の資料 ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ注入量記録 【ｺﾝｸﾘｰﾄ打設量】			段階確認 受理立会 受理立会	試験杭	
	本　杭	1 運搬、保管の適否 2 支持層の確認 3 偏心、傾斜 4 打止め高さ 5 継手部（溶接）の適否	段階確認報告書 杭施工結果報告書	 支持層確認の資料 ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ注入量記録 【ｺﾝｸﾘｰﾄ打設量】	施工状況 溶接状況	施工中	段階確認	1 回/10 本(重点 1 回/ 5 本)	
杭頭処理	既製杭	1 ずれ止め溶接の適否 2 杭頭切断の処理 3 杭を切断した場合の補強方法 4 中詰め補強鉄筋	段階確認報告書	図面等	杭頭処理状況	処理前 処理中 処理後	段階確認	1 回/10 本(重点 1 回/ 5 本)	
品質管理	外観検査 打止め管理 現場溶接	1 鋼管杭、コンクリート杭、H 鋼杭 1 打止め管理の施工記録 1 浸透探傷試験 2 放射線透過試験	品質管理図表	 様式 15 様式 16	外観検査 浸透探傷試験 放射線透過試験	検査 実施中 試験 実施中			
出来形管理	基準高 偏心量 根入長 傾　斜	1 全数について杭中心で測定	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	 様式 1-1、1-2、1-3、2	偏心量(全数) 根入長 数量	打込後 打込前 打込後	段階確認	1 回/10 本(重点 1 回/ 5 本)	
備考									

工種	場所打杭工（オールケーシング工法）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工順序及び施工方法 2 杭径長、地質に適した施工機種 3 スライムの除去及び処理方法	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
施工記録	施工記録	1 ケーシングチューブ、トレミー管の先端位置 2 コンクリート天端高 3 施工時間	場所打杭施工記録	様式 12-1 支持層標本 注1)					
掘削	深さ	1 杭長、先端 EL	段階確認報告書		根入長	掘削後	段階確認	試験杭＋1回/10本（重点1回/5本）	
	支持層	1 設計図書との対比			支持層土質	掘削後			
	孔内水位 ケーシング先端 孔底処理	1 地下水位以上に保持 2 掘削先端より先行 3 スライムの除去			給水状況 孔底処理状況	施工中 施工中			
鉄筋	共通事項	鉄筋工 参照	段階確認報告書				段階確認	20%程度/1構造物（重点50%程度/1構造物）	
	組立、建込	1 アークすみ肉溶接 2 各ブロック重ね継手長、スペーサ個数・間隔 3 鉄筋の建込み高さ 4 形状保持などのための溶接不可	段階確認報告書 ﾌﾚｱ溶接施工試験報告書（基準試験） 注3) ﾌﾚｱ溶接施工試験報告書（日常管理試験） 注3) 外観・形状寸法ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ 注3)	ﾌﾚｱ溶接継手施工前試験 注2) ﾌﾚｱ溶接継手施工後試験 注2)	試験実施状況 試験実施状況	試験中 試験中	段階確認	20%程度/1構造物（重点50%程度/1構造物）	
コンクリート	共通事項	1 コンクリート工 参照							
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設	1 トレミー管…コンクリート内に2m以上貫入 2 コンクリートの連続打込み 3 余盛 0.5m 以上	施工状況把握報告書		打設状況	施工中	施工状況把握	1回/1構造物（重点1回/1ﾛｯﾄ）	
	ケーシング先端	1 コンクリート内に2m以上貫入							
	ケーシング引抜	1 鉄筋共上り							
杭頭処理	余盛り 杭頭処理	1 杭頭鉄筋長	段階確認報告書		余盛状況 処理状況 杭頭鉄筋長	処理前 処理中 処理後	段階確認	1回/10本（重点1回/5本）	
品質管理	共通事項	1 コンクリート工 参照 2 鉄筋工 参照	品質管理図表	場所杭施工記録					
	鉄筋	1 アークすみ肉溶接	品質管理図表	溶接施工基準試験、日常管理試験					
出来形管理	共通事項	1 鉄筋工 参照							
	基準高 杭長 偏心量 傾斜 杭経	1 全数について杭中心で測定	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	根入長 偏心量 数量、杭径	施工中 打込後 打込後	段階確認	試験杭＋1回/10本（重点1回/5本）	

備考　注1）支持層標本は1施工単位に1本は全層、その他の杭は先端支持層を採取する。
注2）フレア溶接継手の施工前試験と施工後試験については、土木学会　鉄筋定着・継手指針（令和2年3月）p145 による。
注3）フレア溶接施工試験報告書(基準試験)、フレア溶接施工試験報告書(日常管理試験)、フレア溶接 日常管理 外観・形状寸法データシートについては、土木工事施工管理基準 p250～p252 による。

工種	場所打杭工（リバース工法）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工順序及び施工方法 2 杭径長、地質に適した施工機種 3 スライム除去及び処理方法 4 スタンドパイプ長（静水圧2ｍの確保、先端の土質）	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
施工記録	施工記録	1 トレミー管の先端位置 2 コンクリート天端高 3 施工時間	場所打杭施工記録	様式 12-2 支持層標本 注1)					
掘削	深さ	1 杭長、先端 EL	段階確認報告書		根入長	掘削後	段階確認	試験杭＋1回/10本（重点1回/5本）	
	支持層	1 設計図書と対比	段階確認報告書		支持層土質	掘削後			
	孔内水位 孔底処理	1 静水圧２ｍの保持 2 スライムの除去			給水状況 孔底処理状況	施工中 施工中			
鉄筋	共通事項	1 鉄筋工 参照	段階確認報告書				段階確認	20%程度/1構造物（重点 50%程度/1 構造物）	
	組立、建込	1 アークすみ肉溶接 2 各ブロック重ね継手長、スペーサ個数･間隔 3 孔壁の崩壊防止 4 形状保持などのための溶接不可	段階確認報告書 ﾌﾚｱ溶接施工試験報告書（基準試験） 注3) ﾌﾚｱ溶接施工試験報告書（日常管理試験） 注3) 外観･形状寸法ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ 注3)	ﾌﾚｱ溶接継手施工前試験 注2) ﾌﾚｱ溶接継手施工後試験 注2)	試験実施状況 試験実施状況	試験中 試験中	段階確認	20%程度/1構造物（重点 50%程度/1 構造物）	
コンクリート	共通事項	1 コンクリート工 参照							
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設	1 トレミー管（コンクリート内に２ｍ以上貫入） 2 コンクリートの連続打込み 3 余盛 0.5m 以上	施工状況把握報告書		打設状況	施工中	施工状況把握	1回/1構造物（重点1回/1ﾛｯﾄ）	
杭頭処理	余盛 杭頭処理	1 杭頭鉄筋長	段階確認報告書		余盛状況 処理状況 杭頭鉄筋長	処理前 処理中 処理後	段階確認	1回/10本（重点1回/5本）	
品質管理	共通事項	1 コンクリート工 参照 2 鉄筋工 参照	品質管理図表	場所打杭施工記録					
	鉄筋	1 アークすみ肉溶接	品質管理図表	溶接施工基準試験、日常管理試験					
出来形管理	共通事項	1 鉄筋工 参照							
	基準高 杭長 偏心量 傾斜 杭経	1 全数について杭中心で測定	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	根入長 偏心量 数量、杭径	施工中 打込後 打込後	段階確認	試験杭＋1回/10本（重点1回/5本）	

備考　注 1）支持層標本は１施工単位に１本は全層、その他の杭は先端支持層を採取する。
注 2）フレア溶接継手の施工前試験と施工後試験については、土木学会　鉄筋定着・継手指針（令和２年３月）p145 による。
注 3）フレア溶接施工試験報告書（基準試験）、フレア溶接施工試験報告書（日常管理試験）、フレア溶接 日常管理 外観・形状寸法データシートについては、土木工事施工管理基準 p250～p252 による。

工種	深　礎　工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法 安全対策	1 施工順序及び施工方法 2 杭径、地質を考慮した日施工量 3 グラウト注入・検査用パイプの配置 4 排気・酸素量探知方法 5 落下防護工	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材　料	品質規格	1 山留材 波形鋼板（JIS G3101-1 種SS330 黒皮品） 2 グラウト ｾﾒﾝﾄ、起泡剤	工事打合簿提出 品質の証明資料 工事打合簿提出	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 ミルシート 試験成績表	形状寸法	使用前	受理 受理	施工前 施工前	
掘　削	施工記録	1 岩質、土質、湧水、掘進状況	深礎杭施工記録	掘削深度、掘削土砂、地質柱状図 支持層標本 注)	地質	施工中			
	土留工	1 偏心、ボルト締付、裏面過掘、杭径 2 岩盤定着部の土留材			ﾗｲﾅｰﾌﾟﾚｰﾄ設置状況	掘削後			
	深　さ	1 杭長、先端 EL	段階確認報告書		土質	掘削後	段階確認	1 回/3 本（重点 全数）	
	支持層	1 設計図書と対比			支持層土質	掘削後			
鉄　筋		1 鉄筋工 参照	段階確認報告書		鉄筋組立状況	組立後	段階確認	1 回/1 本	
コンクリート		1 コンクリート工 参照	施工状況把握報告書				施工状況把握	1 回/1 構造物（重点 1 回/1 ﾛｯﾄ）	
グラウト	施工記録	1 グラウトの注入方法	深礎杭施工記録	配合、注入記録					
	配合	1 示方配合、骨材表面水の確認	工事打合簿提出	配合表	配合状況	施工中	受理		
	注入時	1 注入圧力、検査用パイプで注入範囲の確認	段階確認報告書		圧力ゲージ	施工中	段階確認	1 回/3 本（重点 全数）	
	注入量	1 グラウト量の検収（セメント充･空袋又は流量計）			セメント充･空袋数量等	施工前後			
品質管理	共通事項	1 コンクリート工 参照 2　鉄筋工 参照							
出来形管理	共通事項	1 鉄筋工 参照							
	基準高 杭　長 偏心量 傾　斜 基礎径	1 全数について杭中心で測定	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	根入長 偏心量 数量、基礎径	掘削後 施工後 施工後	段階確認	1 回/3 本（重点 全数）	

備考　注）支持層標本は１施工単位に１本は全層、その他の杭は先端支持層を採取する。

工種	オープンケーソン基礎工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工準備 掘削 載荷 ロット長さ 沈下	1 形状、地質に適した機械設備の選定 1 掘削方法 1 載荷方法 1 型枠、足場、支保等施工法 1 火薬使用の有無	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
刃口製作	製作	1 製作仕様	工事打合簿提出	製作要領書			受理	着手前及び変更時	工場検査は特仕による。
		2 鋼橋上部工に準拠 3 鉄沓の製作			各検査 製作工程	各検査時 製作時	確認		
刃口据付	地盤支持力 刃口の出来形 据付位置	1 良質砂質土置換の必要性、皿板敷設 1 出来形寸法、現場熔接の適否 1 水平、偏心	段階確認報告書	測定記録 （載荷試験成績）	地盤状態 組立及び据付状態	据付前 据付後	段階確認	1回/1構造物	
掘削沈下	掘削	1 土質の変化	段階確認報告書	土及び岩分類の境界が確認できる資料	土質等の判別	掘削中	段階確認	1回/土（岩）質の変化毎	
		2 均等な掘下げ、掘越を避ける			掘削状況 土質 載荷状況	施工中 掘削時 載荷時			
	土質	1 沈下関係図の修正							
	沈下	1 荷重、偏心、傾斜、回転、火薬使用の有無							
	支持地盤	1 設計図書との対比	段階確認報告書	土質標本	支持層土質	掘削後	段階確認	1回/1構造物	
鉄筋		鉄筋工 参照	段階確認報告書		鉄筋組立状況	組立後	段階確認	1回/1ロット	
型枠		型枠・支保 参照							
コンクリート	一般事項 打設 底板	コンクリート工 参照 1 1ロットの連続施工 1 刃口までの土砂除去、過掘はコンクリート埋戻 2 水中コンクリートの連続施工打設後の水位	施工状況把握報告書		封鎖コンクリート打設状況、中埋状況	施工時	施工状況把握	1回/1構造物（重点1回/1ﾛｯﾄ）	
品質管理	コンクリート	コンクリート工 参照							
出来形管理		基準高 ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	ｹｰｿﾝの長さ ｹｰｿﾝの幅 ｹｰｿﾝの高さ ｹｰｿﾝの壁厚 偏心量 各部寸法	設置後及び型枠取外し後			
備考									

工 種	ニューマチックケーソン基礎工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工設備 理論沈下 安全施設 安全管理	1 掘削及び情報伝達 2 送気・艤装 1 沈下荷重の算定、減圧 2 火薬沈下の有無 1 ホスピタルロック、酸素、呼吸器 2 通信設備、予備電源 1 減圧速度、諸法規の遵守	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜） 労働基準監督署への計画届は提示で可 （圧気工法による工事）			受理	着手前及び変更時 届出後	
刃口製作	製　作	1 製作仕様	工事打合簿提出	製作要領書			受理	着手前及び変更時	工場検査は特仕による。
		2 鋼橋上部工に準拠 3 鉄沓の製作			各検査 製作工程	各検査時 製作時	確認		
刃口据付	地盤支持力 刃口の出来形据付位置	1 良質砂質土置換の必要性、皿板敷設 1 出来形寸法、現場熔接の適否 1 水平、偏心	段階確認報告書	測定記録 （載荷試験成績）	地盤状態 組立及び据付状態	据付前 据付後	段階確認	１回/１構造物	
掘削沈下	掘　削	1 土質の変化	段階確認報告書	土及び岩分類の境界が確認できる資料	土質等の判別	掘削中	段階確認	1回/土（岩）質の変化毎	
		2 均等な掘下げ、掘越を避ける			掘削状況 土質 載荷状況	施工中 掘削時 載荷時			
	土　質	1 沈下関係図の修正							
	沈　下	1 荷重、偏心、傾斜、回転、火薬使用の有無							
	支持地盤	1 設計図書との対比	段階確認報告書	土質標本	支持層土質	掘削後	段階確認	１回/１構造物	
鉄　筋		鉄筋工 参照	段階確認報告書		鉄筋組立状況	組立後	段階確認	１回/１ロット	
型　枠		型枠・支保 参照							
コンクリート	一般事項 躯体・中埋	コンクリート工 参照 1 作業室のコンクリートの連続打設 2 刃口から中央に向って打設 3 送気圧力の保持	施工状況把握報告書		封鎖コンクリート打設状況、中埋状況	施工時	施工状況把握	１回/１構造物 （重点1回/1ﾛｯﾄ）	
品質管理	コンクリート	コンクリート工 参照							
出来形管理		基準高 ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	ｹｰｿﾝの長さ ｹｰｿﾝの幅 ｹｰｿﾝの高さ ｹｰｿﾝの壁厚 偏心量 各部寸法	設置後及び型枠取外し後			
備考									

工 種	コンクリートブロック工（コンクリートブロック積(張)）、石積(張)工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順 2 施工機械能力	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材　料 (ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ)	品質規格	1 設計図書 2 形状寸法、外観	工事打合簿提出 工事打合簿提出 (JIS 製品以外) 品質の証明資料 (JIS 製品)	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表 試験成績表	形状寸法	使用前	受理 受理	施工前 施工前	
床掘工		作業土工(床掘り)参照 丁張り							
積(張)工	積上（張立）	1 合端の仕上 2 背面のつき固め 3 積み高 4 四個巻、ふくらみ等の積方			積上（張立） 施工状況	施工中			
	目　地	1 目地間隔・構造							
	水抜き孔	1 設置状況（護岸工別途考慮）							
	胴込・裏込コンクリート工	コンクリート工 参照			施工状況	施工中			
	裏込め材	1 裏込厚			施工状況	施工中			
天端・端止ｺﾝｸﾘｰﾄ工		コンクリート工 参照							
埋戻工		作業土工(埋戻し)参照							
品質管理	コンクリート	コンクリート工 参照							
出来形管理	基準高 法　長 厚さ(ﾌﾞﾛｯｸ積張、石積張) 厚さ(裏込) 延　長		出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	厚さ(裏込) 法長 厚さ(ﾌﾞﾛｯｸ積張、石積張)	施工中 施工後 施工後			
備考									

工種	アスファルト舗装工（下層路盤工）（クラッシャーラン、再生クラッシャーラン）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工機械（機種、規格） 2 施工手順	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	材料	1 最大粒径 2 粒度 3 修正 CBR 4 塑性指数 PI	工事打合簿提出 工事打合簿提出 又は 承諾 小規模は提出	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験結果 使用実績がある試験成績表 試験成績書			受理 受理 承諾 受理	施工前 施工前 施工前 施工前	
施工	路床面の整備	1 雑草、浮石、木片、ごみ等の取除き 2 路床面及び補足材料の確認							
	敷均し	1 一層仕上がり厚 2 敷均しの均等性 3 路床の湿潤状態	施工状況把握報告書		敷均し厚さ	施工中	施工状況把握	1回/1工事(重点1回/3000 ㎡)	
	締固め	1 最適含水比 2 締固方法の適否 3 締固めの一様性			転圧状況 整正状況	施工中 整正後			
品質管理	材料	1 修正 CBR 試験 2 骨材のふるい分け試験 3 土の液性限界・塑性限界試験 4 鉄鋼スラグの水浸膨張性試験 5 道路用スラグの呈色判定試験							
	施工	1 現場密度の測定 2 プルーフローリング（全幅、全区間）	工事打合簿承諾 品質管理表 品質管理表 段階確認報告書	様式 38-1(現場密度の測定位置) 様式 24-1、24-2 様式 19	現場密度の測定 プルーフローリング	試験実施中 試験実施中	承諾 段階確認	測定前 1回/1工事	
出来形管理		1 基準高 2 厚さ 3 幅	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	厚さ 幅	整正後 整正後	段階確認	1回/1工事(重点1回/3000 ㎡)	

備考 プルーフローリングは歩道路盤、路肩路盤を除く。

工種	アスファルト舗装工（上層路盤工、粒度調整路盤工）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工機械（機種、規格） 2 施工手順	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	材料	1 最大粒径 2 粒度 3 修正 CBR 4 塑性指数 PI	工事打合簿提出 工事打合簿提出 又は 承諾 小規模は提出	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験結果 使用実績がある試験成績表 試験成績書			受理 受理 承諾 受理	施工前 施工前 施工前 施工前	
施工	路床面の整備	1 雑草、浮石、木片、ごみ等の取除き 2 下層路盤面及び補足材料の確認							
	敷均し	1 一層仕上がり厚 2 敷均しの均等性 3 下層路盤の湿潤状態	施工状況把握報告書		敷均し厚さ	施工中	施工状況把握	1回/1工事(重点1回/3000 ㎡)	
	締固め	1 最適含水比 2 締固方法の適否 3 締固めの一様性			転圧状況 整正状況	施工中 整正後			
品質管理	材料	1 修正 CBR 試験 2 骨材のふるい分け試験 3 土の液性限界・塑性限界試験 4 鉄鋼スラグの修正 CBR 試験 5 鉄鋼スラグの呈色判定試験 6 鉄鋼スラグの水浸膨張性試験 7 鉄鋼スラグの一軸圧縮試験 8 鉄鋼スラグの単位容積質量試験							
	施工	1 現場密度の測定 2 粒度(2.36㎜、75 ㎛) 3 含水比試験	工事打合簿承諾 品質管理表 品質管理表	様式 38-1(現場密度の測定位置) 様式 24-1、24-2	現場密度の測定 粒度 含水比試験	試験実施中 試験実施中	承諾	測定前	
出来形管理		1 厚さ 2 幅	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	厚さ 幅	整正後 整正後	段階確認	1回/1工事(重点1回/3000 ㎡)	
備考 プルーフローリングは歩道路盤、路肩路盤を除く。									

工種	アスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工機械（機種、規格） 2 施工手順等	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料配合	骨材 フィラー	品質規格 標準仕様書２編 2-3-3 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装用骨材 2-3-4 ｱｽﾌｧﾙﾄ用再生骨材 2-3-5 フィラー	工事打合簿提出 又は　承諾 小規模は提出	試験結果 試験成績表 試験成績書			受理 承諾 受理	施工前 施工前 施工前	
	アスファルト	品質規格 標準仕様書２編 2-3-6 安定剤	工事打合簿提出	品質証明書			受理	施工前	
	配合設計	1 粒度及びアスファルト量の決定	工事打合簿承諾	配合設計又は実績、定期試験による配合設計			承諾	施工前	
	基準密度	1 基準密度の決定	工事打合簿承諾	実績又は定期試験による基準密度の試験結果			承諾	施工前	
プラント製造運搬	混合所	1 材料の貯蔵 2 製造設備の適否（ミキサー容量、計量器）							
	製造	1 計量の適否 2 混合時間 3 混合温度、排出時温度	工事打合簿承諾	排出時の温度の資料			承諾	施工前	
	運搬	1 保温 2 車両の掃除 3 運搬経路							
	製造管理（必須のもの）	1 混合物のアスファルト量抽出 2 粒度分析 3 温度測定			粒度 ｱｽﾌｧﾙﾄ量抽出 粒度分析試験 温度測定	試験実施中			
舗設	下層面の整備	1 路盤上の不純物及び浮石 2 結合材過不足の有無			整正状況	整正後			
	乳剤	1 品質規格　第２編 2-8-1 一般瀝青材料 2 製造後経過日数(60 日)	工事打合簿提出	品質証明書			受理	施工前	
	散布	1 散布量の確認 2 散布の適否 3 養生の適否			散布量確認 散布状況	散布時			
舗設	敷均し	1 天候 2 気温（５℃） 3 舗装面の湿潤状況 4 一層の仕上り厚 5 敷均しの一様性 6 混合物の温度(最適締固め温度との比較)	施工状況把握報告書		敷均し厚さ	施工中	施工状況把握	１回/１工事(重点１回/3000 ㎡)	
	締固	1 締固め方法の適否 2 打継目の適否			転圧状況 整正状況	施工中 整正後			
品質管理	材料 プラント	品質管理基準及び規格値 8 アスファルト舗装工による	品質管理図表	様式 26～33-2	試験状況	試験中			
	舗設現場	1 現場密度の測定 2 温度測定(初期締固め前) 3 外観検査(混合物)	品質管理図表	様式 38-1～38-5 様式 33-2	現場密度の測定 温度測定 外観検査	試験実施中 試験実施中			
出来形管理	コアー採取位置		工事打合簿承諾	様式 38-1(コアー採取位置)			承諾	採取前	
		1 厚さ 2 幅	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2 様式 38-1～38-5	幅	整正後	段階確認	１回/１工事(重点１回/3000 ㎡)	

備考 アスファルト混合物の事前認定審査を受けた混合物は、認定書の写しを事前に監督員に提出することにより、アスファルト混合物に関する次の各号の、基準試験等を省略することができるものとする。なお、舗設現場に関する品質管理図表の提出は、省略できないことに留意すること。

(1)材料の試料及び試験結果、品質証明書の提出
(2)配合設計、試験練り
(3)材料及びプラントに関する品質管理図表の提出

工種	アスファルト舗装工（歩道路盤工・路肩舗装路盤工）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工機械（機種、規格） 2 施工手順	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	材料	1 最大粒径 2 粒度 3 修正 CBR 4 塑性指数 PI	工事打合簿提出 工事打合簿提出 又は 承諾 小規模は提出	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験結果 使用実績がある試験成績表 試験成績書			受理 受理 承諾 受理	施工前 施工前 施工前 施工前	
施工	路体面の整備	1 雑草、浮石、木片、ごみ等の取除き 2 路体面及び補足材料の確認			整正状況	整正後			
	敷均し	1 一層仕上がり厚 2 敷均しの均等性 3 路体の湿潤状態	施工状況把握報告書		敷均し厚さ	施工中	施工状況把握	1回/1工事(重点1回/3000 ㎡)	
	締固め	1 最適含水比 2 締固方法の適否 3 締固めの一様性			転圧状況	施工中			
品質管理	材料	1 修正 CBR 試験 2 骨材のふるい分け試験 3 土の液性限界・塑性限界試験 4 鉄鋼スラグの水浸膨張性試験 5 道路用スラグの呈色判定試験			試験実施状況	試験実施中			
	施工	1 現場密度の測定	工事打合簿承諾	様式 38-1(現場密度の測定位置) 様式 24-1、24-2	現場密度の測定	試験実施中	承諾	測定前	
出来形管理		1 厚さ 2 幅 3 基準高	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	厚さ 幅	整正後 整正後	段階確認	1回/1工事(重点1回/3000 ㎡)	

備考　プルーフローリングは不要。

工種	アスファルト舗装工(基層工・表層工)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工機械（機種、規格） 2 施工手順等	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
配合	骨材 フィラー	1 品質規格　第２編 2-3-3 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装用骨材 2-3-4 ｱｽﾌｧﾙﾄ用再生骨材 2-3-5 フィラー	工事打合簿提出 又は　承諾 小規模は提出	試験結果 試験成績表 試験成績書			受理 承諾 受理	施工前 施工前 施工前	
	アスファルト	1 品質規格　第２編 2-3-6 安定剤	工事打合簿提出	品質証明書			受理	施工前	
	配合設計	1 粒度及びアスファルト量の決定	工事打合簿承諾	配合設計又は 実績、定期試験による配合設計			承諾	施工前	
	基準密度	1 基準密度の決定	工事打合簿承諾	試験結果又は 実績、定期試験による基準密度の試験結果			承諾	施工前	
プラント製造運搬	混合所	1 材料の貯蔵 2 製造設備の適否（ミキサー容量、計量器）							
	製造	1 計量の適否 2 混合時間 3 混合温度、排出時（出荷時）温度	工事打合簿承諾	排出時（出荷時）の温度の資料			承諾	施工前	
	運搬	1 保温 2 車両の掃除 3 運搬経路							
	製造管理 (必須のもの)	1 混合物のアスファルト量抽出 2 粒度分析 3 温度測定			粒度 ｱｽﾌｧﾙﾄ量抽出 粒度分析試験 温度測定	試験 実施中			
舗設	下層面の整備	1 路盤上の不純物及び浮石 2 結合材過不足の有無			整正状況	整正後			
	乳剤	1 品質規格　第２編 2-8-1 一般瀝青材料 2 製造後経過日数(60 日)	工事打合簿提出	品質証明書			受理	施工前	
	散布	1 散布量の確認 2 散布の適否 3 養生の適否			散布量確認 散布状況	散布時			
舗設	敷均し	1 天候 2 気温(５℃) 3 舗装面の湿潤状況 4 一層の仕上り厚 5 敷均しの一様性 6 混合物の温度(最適締固め温度との比較)	施工状況把握報告書		敷均し状況	施工中	施工状況把握	１回/１工事(重点１回/3000 ㎡)	
	締固	1 締固め方法の適否 2 打継目の適否			転圧状況 整正状況	施工中 整正後			
品質管理	材料 プラント	品質管理基準及び規格値 8 アスファルト舗装工による	品質管理図表	様式 26～33-2	試験状況	試験中			
	舗設現場	1 現場密度の測定 2 温度測定（初転圧前） 3 外観検査(混合物)	品質管理図表	様式38-1～38-5様式33-2	現場密度の測定 温度測定 外観検査	試験実施中 試験実施中			
出来形管理	コアー採取位置		工事打合簿承諾	様式 38-1(コアー採取位置)			承諾	採取前	
	厚さ 幅 平坦性(表層)	平坦性 ※（平坦性の測定は、延長100m 未満の場合は、省略することができる。ただし、監督員が必要と認めた場合はこの限りではない。）	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2 様式38-1～38-5様式20	幅（基層） 平坦性(表層)	整正後 実施中	段階確認	１回/１工事(重点１回/3000 ㎡)	

備考 アスファルト混合物の事前認定審査を受けた混合物は、認定書の写しを事前に監督員に提出することにより、アスファルト混合物に関する次の各号の、基準試験等を省略することができるものとする。なお、舗設現場に関する品質管理図表の提出は、省略できないことに留意すること。

(1)材料の試料及び試験結果、品質証明書の提出
(2)配合設計、試験練り
(3)材料及びプラントに関する品質管理図表の提出

工種	アスファルト舗装工（歩道舗装工・路肩舗装工）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工機械（機種、規格） 2 施工手順等 3 本線との同時施工の検討(路肩舗装)	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
配合	骨材 フィラー	1 品質規格　第２編 2-3-3 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装用骨材 2-3-4 ｱｽﾌｧﾙﾄ用再生骨材 2-3-5 フィラー	工事打合簿提出 又は　承諾 小規模は提出	試験結果 試験成績表 試験成績書			受理 承諾 受理	施工前 施工前 施工前	
	アスファルト	1 品質規格　第２編 2-3-6 安定剤	工事打合簿提出	品質証明書			受理	施工前	
	配合設計	1 粒度及びアスファルト量の決定	工事打合簿承諾	配合設計又は 実績、定期試験による配合設計			承諾	施工前	
	基準密度	1 基準密度の決定	工事打合簿承諾	試験結果又は 実績、定期試験による基準密度の試験結果			承諾	施工前	
プラント製造運搬	混合所	1 材料の貯蔵 2 製造設備の適否（ミキサー容量、計量器）							
	製造	1 計量の適否 2 混合時間 3 混合温度、排出時（出荷時）温度	工事打合簿承諾	排出時（出荷時）の温度の資料			承諾	施工前	
	運搬	1 保温 2 車両の掃除 3 運搬経路							
	製造管理 (必須のもの)	1 混合物のアスファルト量抽出 2 粒度分析 3 温度測定			粒度 ｱｽﾌｧﾙﾄ量抽出 粒度分析試験 温度測定	試験 実施中			
舗設	下層面の整備	1 路盤上の不純物及び浮石 2 結合材過不足の有無			整正状況	整正後			
	乳剤	1 品質規格　第２編 2-8-1 一般瀝青材料 2 製造後経過日数(60 日)	工事打合簿提出	品質証明書			受理	施工前	
	散布	1 散布量の確認 2 散布の適否 3 養生の適否			散布量確認 散布状況	散布時			
舗設	敷均し	1 天候 2 気温（５℃） 3 舗装面の湿潤状況 4 一層の仕上り厚 5 敷均しの一様性 6 混合物の温度(最適締固め温度との比較)	施工状況把握報告書		敷均し状況	施工中	施工状況把握	１回/１工事(重点１回/3000 ㎡)	
	締固	1 締固め方法の適否 2 打継目の適否			転圧状況 整正状況	施工中 整正後			
品質管理	材料 プラント	品質管理基準及び規格値 8 アスファルト舗装工による	品質管理図表	様式 26～ 33-2	試験状況	試験中			
	舗設現場	1 現場密度の測定 2 温度測定（初転圧前） 3 外観検査(混合物)	品質管理図表	様式 38-1～38-5 様式 33-2	現場密度の測定 温度測定 外観検査	試験実施中 試験実施中			
出来形管理	コアー採取位置		工事打合簿承諾	様式 38-1(コアー採取位置)			承諾	採取前	
	厚さ 幅		出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2 様式 38-1～38-5	幅（基層）	整正後	段階確認	１回/１工事(重点１回/3000 ㎡)	

備考　アスファルト舗装工（基層工、表層工）に同じ。

工種	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工機械（機種規格） 2 施工手順	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	品質規格	1 目地、ダウエルバー、タイバー、鉄網	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾞ資料等 試験成績表	形状寸法	使用前	受理	施工前	
		2 コンクリート	コンクリート工参照						
配合	配合設計								
目地	施工	1 設計図書との対比 2 構造、施工の適否			設置状況 ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ、ﾀｲﾊﾞｰ寸法、位置	据付後 据付後			
舗設	型枠	1 構造 2 基準高 3 取外し時期の適否 4 鉄網の継手及び位置			石粉、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 鉄網寸法、位置	散布時 据付後			
	敷均し締固め	1 気温及び舗設面の状況 2 敷ならしの一様性	施工状況把握報告書				施工状況把握	1回/1工事(重点1回/3000㎡)	
	表面仕上	1 仕上の方法 2 時期							
養生	施工	1 養生の方法 2 交通開放	工事打合簿承諾	交通開放の時期	養生状況	養生時	承諾	施工前	
品質管理		コンクリート工 参照							
出来形管理	厚さ 幅 平坦性 目地段差	平坦性 ※（平坦性の測定は、延長100m未満の場合は、省略することができる。ただし、監督員が必要と認めた場合はこの限りではない。）	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	 様式1-1、1-2、1-3、2 様式20	平坦性 厚さ 目地段差	実施中型枠据付後	段階確認	1回/1工事(重点1回/3000㎡)	
備考									

工種	路床安定処理工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順及び施工方法 2 粉塵対策	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料（安定材）	品質規格	1 設計図書との対比 2 所定の安定材の量	工事打合簿提出 品質の証明資料 工事打合簿承諾	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表 安定材の量			受理 承諾	施工前 施工前	
施工	安定材散布、混合、整形、締固め	1 安定材散布量 2 混合深さの確認			散布量の確認	配合毎			
品質管理	材料	1 土の締固め試験 2 ＣＢＲ試験 3 六価クロム溶出試験（ｾﾒﾝﾄ及びｾﾒﾝﾄ系固化材）	品質管理表		土の締固め試験 ＣＢＲ試験 六価クロム溶出試験	試験実施中 試験実施中 試験実施中			
	施工	1 現場密度の測定 2 プルーフローリング	品質管理表 品質管理表 段階確認報告書	様式 24-1、様式 24-2 様式 19	現場密度の測定 プルーフローリング	試験実施中 試験実施中	段階確認	1回/1工事	
出来形管理		1 基準高 2 施工厚さ 3 幅 4 延長	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	施工厚さ 幅	施工後	段階確認	1回/1工事（重点1回/2000㎡）	
備考									

工種	土留・仮締切工（H鋼杭、鋼矢板）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 設計図書（契約条件等） 2 現場環境、周辺構造物等への影響 3 地質条件、安定計算 4 公害関係諸法規 5 施工機種	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜） 労働基準監督署への計画届は提示で可（掘削の深さ10m以上の地山の掘削）			受理	着手前及び変更時 届出後	
材料	品質規格	1 設計図書との対比（指定仮設） 2 部材の補修程度			形状寸法	使用前			
施工	施工状況	1 打込長、偏位 2 矢板等の変位 3 支保材の設置、撤去の時期 4 周辺構造物への影響	条件変更確認請求通知通知	打込み不能の場合、その原因調査資料 引抜き跡の空隙による地盤沈下の影響が大きいと判断される場合、その資料	施工状況	施工中	受理 立会		
出来形管理	撤去する部材	〔指定仮設〕 1 矢板等数量…番号記入 2 基準高、根入長	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	変位、根入長 数量	打込前 打込後	段階確認	試験矢板＋1回/150枚（重点1回/100枚）	
		〔任意仮設〕 1 矢板等数量…番号記入			変位、根入長 数量	打込前 打込後			
	撤去しない部材	〔指定仮設〕 1 撤去しない長さ、延長 2 切断位置、切断方法	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	切断状況 数量	切断前後	段階確認	試験矢板＋1回/150枚（重点1回/100枚）	
		〔任意仮設〕 1 撤去しない長さ、延長			切断状況 数量	切断前後			
備考									

工 種	根固めブロック工、沈床工、捨石工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順 2 据付方法 3 仮締切方法	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
床掘工		作業土工(床掘り) 参照							
根固めブロック工 コンクリートブロック製作	型　枠	1 脱型の時期、型枠の安定 2 型枠・支保 参照							
	鉄　筋	鉄筋工 参照							
	コンクリート	コンクリート工 参照							
	品質管理	鉄筋工 参照							
		コンクリート工 参照							
	出来形管理	1 ブロックの形状寸法（幅、厚さ）、測定は 40 個に１個 2 数量（一連番号を付す）	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	数量(一連番号を付す) ブロックの形状寸法	製作後 製作後			
根固めブロック工 ブロック運搬据付	施工状況	1 据付場所の状態 2 機種及び運搬、吊込状況			施工状況	施工中			
	出来形管理	基準高 延長 Ｌ1、Ｌ2	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅	施工後	段階確認	１回/１工事	
沈床工	材　料	1 連柴、敷そだ、方格材、敷成木 2 鉄筋、詰石等の設計図書との対比	工事打合簿提出	関連資料	形状寸法	使用前	受理	施工前	
	施工状況	1 組立結果の状況適否 2 組立時の厚さ 3 据付状況			施工状況	施工中			
	出来形管理	基準高 幅 延　長	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	施工後			
捨　石	材　料	1 岩石の品質規格(見掛比重、吸水率、圧縮強さ)	工事打合簿提出 品質の証明資料	関連資料 試験成績表			受理	施工前	
	施工状況	1 捨石場所の状態 2 捨込み状況			施工状況	施工中			
	品質管理 (材料)	1 岩石の見掛比重 2 岩石の吸水率 3 岩石の圧縮強さ	・公的機関試験 ・500 ㎥以下は監督員の承諾を得て省略できる		見掛比重 吸水率 圧縮強さ 形状	試験実施中			
	出来形管理	基準高 幅 延　長	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅 高さ 法長	施工後			
備考									

工種	浚　渫（川）						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項　目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項　目	時期			
施工計画	施工方法	1　施工手順 2　しゅんせつ船能力、捨土計画等	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
浚　渫	浚渫方法	1　工事標識及び量水標設置 2　作業船の避難場所及び設備 3　船舶航行に対する保安対策 4　受電設備の保安対策 5　汚濁防止対策 6　水質管理 7　仮土留工、排砂池、沈砂池 8　余水吐 9　捨土箇所障害及び受枠及び配管状況 10　浚渫作業位置随時確認			運転状況	施工中			
		1障害物の処理、土質変化	条件変更確認請求通知通知				受理 立会		
出来形管理		基準高 幅 延　長 浚渫数量	出来形成果表 出来形図	土木工事施工管理基準 p126 様式-1 参照					
備考									

工種	樋門・樋管、水門						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順 2 機種台数及び組合せ	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
	堤防開削・仮締切	1 施工時期、順序、構造							
	旧構造物	1 撤去の方法							
材料	品質規格	1 止水板の適否 2 目地板の適否	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表			受理	施工前	
床掘（掘削）		作業土工(床掘り) 参照 1 基礎地盤の適否、並びに湧水の処理	段階確認報告書 (直接基礎)				段階確認(直接基礎)	1回/1構造物	
基礎工		該当工種 参照							
鋼矢板		矢板工（鋼矢板工、コンクリート矢板工） 参照							
均しコンクリート		コンクリート工 参照							
鉄筋		鉄筋工 参照	段階確認報告書				段階確認	20%程度/1構造物（重点50%程度）	
型抜及び支保工		型抜・支保 参照							
コンクリート		コンクリート工 参照	施工状況把握報告書				施工状況把握	1回/1構造物（重点1回/1ｯﾄ）	
埋戻		作業土工(埋戻し) 参照							
扉及び開閉装置	実施仕様書 設計計算書 外注部品	1 製作・据付等工事全般設計条件とのチェック 2 品質・規格	工事打合簿承諾	図面等			承諾	施工前	
	材料検査	1 鋼橋上部 工場製作工 参照							
	機器検査	1 寸法、外観、性能の適否	工事打合簿承諾	品質証明書 社内検査記録	検査状況	検査時	承諾	施工前	
	製作				工作状況	工作中			
	組立検査	1 寸法、外観、平面度、熔接の適否 2 ねじれ、たるみがないかの確認	段階確認報告書 (特仕による場合)	社内検査表 試験検査表	組立寸法 X線撮影状況	検査中 撮影中	段階確認(特仕による場合)	組立時	
	工場塗装	1 工場塗装工 参照							
	据付	1 芯出しのチェック 2 戸当り：寸法、アンカーへの固定状況 3 扉体：寸法、外観、ボルトの締付状況 4 二次コンクリート			取付状況 打設状況	据付中 二次コンクリート打設前			
	性能検査	1 水密ゴム：戸当りとの密着状況 2 開閉機：負荷試験を行い各部の機能の適否 3 電気設備：作動状況、絶縁抵抗	段階確認報告書 (特仕による場合)	測定記録	検査状況	検査時	段階確認(特仕による場合)	完成時	
	運転検査	1 総合的な運転を行い、異常騒音、異常振動、異常温度がないかの確認 2 保護装置、安全装置の作動確認	段階確認報告書 (特仕による場合)	測定記録	検査状況	検査後	段階確認(特仕による場合)	完成時	
	現場塗装	1 現場塗装工 参照							
銘板標示板		1 材料、寸法、記載事項、取付位置			記載事項	取付後			
品質管理	鉄筋	鉄筋工 参照							
	コンクリート	コンクリート工 参照							
出来形管理	函渠工（本体工）	基準高 厚さ t1～t8 幅 w1、w2 内空幅 内空高 延長	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	厚さ 幅 内空幅 内空高	型枠取外し後	段階確認	1回/1構造物	
備考									

工種	堤防除草工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 現場の条件、草の条件等に適した機種の選定及び刈草の処理方法 2 飛石飛散防止対策の方法	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
除草	施工状況 （除草）	1 草の刈取り高は10㎝以下 2 竹、樹木、空かん等の異物の除去 3 刈残の有無 4 障害物箇所の施工状況 5 法面損傷状況 6 飛石飛散防止対策の実施状況			施工状況 （刈取り高を適宜） （飛石飛散防止対策状況）	施工前後 施工中			
	施工状況 （処分）	1 刈草の現場集積、処理状況 2 危険箇所の搬出処理状況			処理状況	施工前後			
写真管理					出来ばえ 除草範囲、刈取り高さ	施工後			
備考									

工種	芝養生工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	肥料	1 設計図書、特記仕様書との照合 2 肥料の種類、散布量及び配合	工事打合簿提出 材料確認書	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	 確認状況 使用数量	 確認時	受理 確認 施工前後	施工前 施工前	
人力による雑草の抜き取り（抜根）									
肥料散布	材料 施工状況	1 肥料の種 肥料散布の均一性			使用数量 施工状況	使用前 使用後 施工中			
出来形管理		1 養生面積（法長、延長）	出来形成果表 出来形図		出来形(法長)	施工後			
備考									

工 種	伐木除根工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
伐木除根	施工状況	1 伐木除根による発生物の処理（特記仕様書による） 2 施設の損傷防止			作業状況	作業前 作業中			
出来形管理		1 伐木除根面積（延長、巾）	出来形成果表 出来形図		出来形	完了後			
備考									

工 種	塵芥処理工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
塵芥処理	施工状況	1 作業範囲 2 処理内容			作業状況	作業前 作業中			
	出来形	1 処理量（延長、巾、高さ）の確認	出来形成果表 出来形図		出来形	完了後			
備考									

工 種	海岸コンクリートブロック工、コンクリート被覆工、波返工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
基礎工		基礎工(護岸）参照	段階確認報告書				段階確認	1回/1工事	
鋼矢板		矢板工（鋼矢板工、コンクリート矢板工）参照	段階確認報告書				段階確認	試験矢板＋1回/150枚(重点＋1回/100枚)	
海岸コンクリートブロック工	異形ブロック工	1 製作据付は根固めブロック工 参照							
	材　料	1 詰石、裏込材の適否	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表			受理	施工前	
	施工状況	1 据付場所の床均し状況 2 裏込材の締固め	段階確認報告書		据付状況	施工後	段階確認	1回/1工事	
	品質管理	鉄筋工 参照							
		コンクリート工 参照							
	出来形管理	（護岸工） 基準高、法長、厚さ、延長 （異形ブロック） 基準高、天端幅、天端延長、幅、厚さ	出来形成果表 出来形図	様式1-1、1-2、1-3、2	（護岸工）数量､ﾌﾞﾛｯｸ形状、法面、厚さ （異形ﾌﾞﾛｯｸ） 数量､ﾌﾞﾛｯｸ形状、天端幅	製作後 施工後			
ｺﾝｸﾘｰﾄ法覆工	材　料	1 目地材、止水板、ダウエルバー	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	形状寸法	施工前	受理	施工前	
	型　枠	1 型枠・支保 参照							
	コンクリート工施工状況	1 コンクリート工 参照 2 裏込材の締固め 3 目地、止水板、ダウエルバーの位置・間隔			打設状況 打継目の処理	施工中			
	品質管理	コンクリート工 参照							
	出来形管理	基準高 法長 厚さ 裏込材厚 延長	出来形成果表 出来形図	様式1-1、1-2、1-3、2	法長 厚さ 裏込材厚	施工後 施工後 施工中			
波返工	材　料	1 目地材、止水板、鉄筋、ダウエルバーの適否	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	形状寸法	施工前	受理	使用前	
	鉄　筋	1 鉄筋工 参照							
	型　枠	1 型枠・支保 参照							
	コンクリート工施工状況	1 コンクリート工 参照 2 コンクリート適否、裏込材の締固め 3 一区画一層の高さの適否 4 止水板、ダウエルバーの位置・間隔							
	品質管理	鉄筋工 参照							
		コンクリート工 参照							
	出来形	基準高 幅 高　さ 延　長	出来形成果表 出来形図	様式1-1、1-2、1-3、2	幅 高さ	施工後			
備考									

工 種	コンクリート堰堤工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	仮設工 施工方法	1 ケーブルクレーン設備 2 搬入路の検討 3 仮締切流量の検討 4 施工手順、河床整理 5 現場練りコンクリート（使用時）	工事打合簿提出 （施工計画書）	架設図及び能力計算書 構造図と計算書			受理	着手前 変更時	
法線設置			段階確認報告書				段階確認	1回/1法線	
掘　削	土質・岩の変化	1 土質・岩の状況 2 設計図書との対比	段階確認報告書		土質等の判別	施工中	段階確認	1回/土(岩)質の変化毎	
	掘削方法	1 施工計画等との対比 2 掘削法勾配〔法面保護工〕 3 建設発生土受入地の適否			組合せ機械	施工中			
	岩盤確認	1 岩質の検討等 2 設計図書との対比 3 不良岩の処理	段階確認報告書 工事打合簿報告	測量結果	露岩状況	露岩時	段階確認 指示	掘削完了時 施工前	
	基礎検査	1 基礎面清掃の適否 2 基礎面の転石処理 3 掘削法面処理状況 4 湧水、溜水の処理 5 浮石岩片の処理	段階確認報告書		幅、長さ	掘削完了時	段階確認	掘削完了時	堤高15m未満
	基礎地盤検査	1 既往調査内容及びその適合度の判定 2 既往調査に基づく借置事項の適否の判定 3 基礎地盤状況の確認 4 追加調査の要否の判定 5 追加対策の要否の判定	段階確認報告書		幅、長さ	掘削完了時	段階確認	掘削完了時	堤高15m以上S52.4砂防ダム基礎地質検査運用（案）による
掘戻し及び盛土		1 作業土工(埋戻し) 参照							
河床整理	施　工	1 設計図書との対比 2 不陸の検討							
現場練コンクリート	コンクリート製造設備	1 材料の貯蔵設備 2 バッチャプラントの設備及び能力 3 ミキサー型式及び能力	工事打合簿提出	性能表			受理	施工前	
	配　合	1 設計図書と示方配合との対比 2 骨材の品質粒度の適否 3 試験内容の適否	工事打合簿承諾	示方配合表 試験結果表 様式 6-1～6-3 JISA　1102 の様式 JISA　1104 の様式 JISA　1109 の様式			承諾	施工前	
	計量装置	1 計量装置の適否	工事打合簿提出 （施工計画書）	計量方法、計量装置、性能表 計量精度の定期点検結果は提示で可			受理	施工前 施工中	
	練り混ぜ	1 示方配合の適否 2 投入順序、時間の適否							
レディーミクストコンクリート	配　合	1 コンクリート工 参照							

コンクリート工	型枠及び支保工	1 型枠・支保 参照							
	コンクリート打設	1 打設面清掃の適否及び不純物、湧水、湿潤状況の適否 2 打設現場の気象状況 3 １層の厚さの適否 4 モルタル敷均し及びコンクリート打込開始時間 5 締固め機械及び方法の適否 6 締固めの一様性 7 表面仕上げ方法 8 止水板の位置接合部分状況 9 異配合コンクリートの打継ぎ状況の適否 10 隣接ブロックの材令リフト差及びリフトスケジュールの適否	工事打合簿承諾 施工状況把握報告	打継ぎ目の処置 コンクリート打設時	打継目処理 打設状況 （現場練） 骨材採取製造 コンクリート製造 運搬	施工中 施工中	承諾 施工状況把握	施工前 1回／1構造物(重点1回／1ロット)	
	打設時の状況	1 平均気温が４℃以下 2 温度が 25℃以上になるおそれ 3 打込に不適当な状況 4 天端保護用コンクリートの打設 5 天端保護用二次製品等の取付け方法	工事打合簿承諾	暑中ｺﾝｸﾘｰﾄ、寒中ｺﾝｸﾘｰﾄ等の場合のコンクリート打込み			承諾	施工前	
	養　生	1 養生方法 2 養生日数 3 湿潤状態 4 保温状態 5 寒風対策 6 急激な温度変化	工事打合簿承諾	暑中ｺﾝｸﾘｰﾄ、寒中ｺﾝｸﾘｰﾄ等の場合の養生	養生	施工中	承諾	施工前	
品質管理	ｺﾝｸﾘｰﾄ	コンクリート工 参照							
出来形管理	ｺﾝｸﾘｰﾄ堰堤本体工	基準高、天端幅、堤幅、水通しの幅、堤長	出来形成果表 出来形図段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	天端幅 堤幅 水通しの幅	施工後	段階確認	１回/１構造物	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ側壁工	基準高、幅、長さ	出来形成果表 出来形図段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	天端幅 長さ 高さ	施工後			
	水叩工	基準高、幅、厚さ、延長	出来形成果表 出来形図段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅 厚さ 長さ	施工後			
間詰工	位置、構造 施工方法及び順序	1 地山線と対比 2 完成後の形	工事打合簿承諾	施工計画図			承諾	施工前	
	出来形管理	1 設計図書との対比	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	出来形	施工後			
残存型枠工	材　料	1 材料の適否	工事打合簿提出	品質規格証明書 公的試験機関の証明書又は公的機関の試験結果			受理	施工前	
	施　工	1 施工方法	工事打合簿提出 （施工計画書）	施工方法			受理	施工前 施工中	
備考									

工 種	場所打擁壁工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 床掘方法、機種 2 コンクリート打設方法、区分、順序 3 埋戻方法	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材　料	目地材 水抜パイプ 裏込材	1 設計図書	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	形状寸法	使用前	受理	施工前	
	鉄　筋	鉄筋工 参照							
	ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	コンクリート工 参照							
床掘工 鉄筋工 型枠工 足場工 ｺﾝｸﾘｰﾄ工 埋戻工		作業土工(床掘り) 参照 鉄筋工 参照 型枠・支保 参照 コンクリート工 参照 作業土工(埋戻し) 参照	段階確認報告書 (重要構造物のみ) 段階確認報告書 (重要構造物のみ) 施工状況把握報告書(重要構造物のみ)				段階確認 段階確認 施工状況把握	1回/1構造物 20%程度/1構造物(重点50%程度) 1回/1構造物(重点1回/1ﾛｯﾄ)	
目地工	施　工	1 目地間隔・構造 2 施工の適否			施工状況	施工中			
水抜工	施　工	1 水抜の配置位置 2 施工の適否			施工状況	施工中			
裏込工	施　工	1 施工の適否 2 裏込厚			施工状況 裏込め厚さ	施工中 施工中			
品質管理	鉄筋工	鉄筋工 参照							
	コンクリート工	コンクリート工 参照							
出来形管理	基準高 厚　さ 裏込め厚さ 幅 高　さ 延　長		出来形成果表 出来形図 段階確認報告書 (重要構造物のみ)	様式1-1、1-2、1-3、2	厚さ 幅 高さ	型枠取外し後	段階確認	1回/1構造物	
備考									

工 種	場所打函渠工、プレキャストカルバート工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	施工方法	1 コンクリート打設高さ 2 施工手順 3 通路、水路の切廻し方法	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材　料 品質規格	目地材、止水板		工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	形状寸法	使用前	受理	施工前	
	鉄　筋	鉄筋工 参照							
	コンクリート	コンクリート工 参照							
	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ製品		工事打合簿提出 品質の証明資料 (JIS 製品) 工事打合簿提出 (JIS 製品以外) 性能試験の実施 (JIS 製品以外)	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表 試験成績表 数量により省略可 （標準仕様書 p2-2 参照） あいくる材は省略可 （標準仕様書 p2-2 参照）	形状寸法	使用前	受理 受理	施工前 施工前	
床掘工 鉄筋工 型枠工 支保工 ｺﾝｸﾘｰﾄ工 埋戻工		作業土工(床掘り) 参照 鉄筋工 参照 型枠・支保 参照 コンクリート工 参照 作業土工(埋戻し) 参照	段階確認報告書 (重要構造物のみ) 段階確認報告書 (重要構造物のみ) 施工状況把握報告書 (重要構造物のみ)				段階確認 段階確認 施工状況把握	1 回/1 構造物 20%程度/1 構造物(重点 50%程度) 1 回/1 構造物(重点 1 回/1ﾛｯﾄ)	
継手工	止水板	1 施工手順 2 重ね合せ部の施工状況			施工状況	施工中			
防水工	防水工	1 施工手順 2 材料使用量			充･空缶数量等	検収時			
		3 重ね合せ部の施工状況 4 接着の適否			施工状況	施工中			
出来形	基準高 厚　さ 幅(内法) 高　さ 延　長	1 函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び構造図の寸法表示箇所 2 門柱操作台等は構造図の寸法表示箇所	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書 (重要構造物のみ)	様式 1-1、1-2、1-3、2	厚さ 幅(内空) 高さ	型枠取外し後	 段階確認	 1 回/1 構造物	
備考									

工種	管渠工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順 2 据付方法	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	品質規格 (ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ製品)	1 設計図書 2 形状寸法、外観	工事打合簿提出 品質の証明資料 (JIS 製品) 工事打合簿提出 (JIS 製品以外) 性能試験の実施 (JIS 製品以外)	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表 試験成績表 数量により省略可 (標準仕様書 p2-2 参照) あいくる材は省略可 （標準仕様書p2-2参照）	形状寸法	使用前	受理 受理	施工前 施工前	
床掘工 据付 鉄筋工 型抜工 ｺﾝｸﾘｰﾄ工 埋戻工		1 作業土工(床掘り) 参照 1 据付の適否、上げこしの検討 1 鉄筋工 参照 1 型枠・支保 参照 1 コンクリート工 参照 1 作業土工(埋戻し) 参照			据付状況	施工中			
品質管理	鉄筋工	鉄筋工 参照							
	コンクリート工	コンクリート工 参照							
出来形管理	基準高 幅 W1、W2 深さ 延長		出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅 深さ	埋戻し前			
備考									

工種	場所打水路工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順 2 流水系統（現況及び工事中）	工事打合簿提出 (施工計画書)	流水系統図			受理	着手前及び変更時	
材料	目地材 止水板		工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	形状寸法	使用前	受理	施工前	
	鉄筋	鉄筋工 参照							
	ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	コンクリート工 参照							
床掘工 鉄筋工 型枠工 ｺﾝｸﾘｰﾄ工 埋戻工		作業土工(床掘り) 参照 鉄筋工 参照 型枠・支保 参照 コンクリート工 参照 作業土工(埋戻し) 参照	段階確認報告書 (重要構造物のみ) 段階確認報告書 (重要構造物のみ) 施工状況把握報告書(重要構造物のみ)				段階確認 段階確認 施工状況把握	1回/1構造物 20%程度/1構造物(重点50%程度) 1回/1構造物(重点1回/1ｯﾄ)	
品質管理	鉄筋工	鉄筋工 参照							
	コンクリート工	コンクリート工 参照							
出来形管理	基準高 厚さ t1、t2 幅 高さ h1、h2 延長		出来形成果表 出来形図 段階確認報告書 (重要構造物のみ)	様式 1-1、1-2、1-3、2	厚さ 幅 高さ	型枠取外し後	段階確認	1回/1構造物	
備考									

工 種	小型標識工、大型標識工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材　料	品質、規格	1 設計図書との対比	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 ミルシート 試験成績表	形状寸法	使用前	受理	施工前	
工場製作	製　作	1 設計図書との照合 2 レイアウト図 3 寸法の適否	工事打合簿提出	製作要領書 レイアウト図 社内の仮組立検査成績表	仮組立寸法	仮組立社内検査の状況	受理	施工前	
床掘工		作業土工(床掘り) 参照							
据　付	据付状況	1 標示板の向き、角度、通り、傾斜			施工状況				
型　枠		型枠・支保 参照							
基礎コンクリート		コンクリート工 参照			基礎幅、深さ、出来ばえ 施工状況	施工前後 施工中			
埋戻工		作業土工(埋戻し) 参照							
出来形管理	基礎工 標識板	1 幅、高さ 根入れ長（小型標識工のみ） 1 設置高さ	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅、高さ 支柱根入れ長さ（小型標識工のみ） 設置高さ	施工後 施工後 施工後			ｵｰﾊﾞｰﾊﾝｸﾞ柱 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞ柱
備考									

工種	橋台躯体工、橋脚躯体工(張出式)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	土留矢板 支保工 コンクリート打設区分	1 土留工締切による安定、応力度 2 （1日）打設高	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜） 労働基準監督署への計画届は提示で可 (最大支間50m以上の橋梁の建設等)			受理	着手前及び変更時届出後	
材料	鉄筋	鉄筋工 参照							
	コンクリート	コンクリート工 参照							
床掘	作業土工(床掘り)参照	1 基礎地盤の適否	段階確認報告書 （直接基礎）				段階確認	1回/1構造物	
鉄筋	鉄筋工参照		段階確認報告書				段階確認	20%程度/1構造物 (重点50%程度/1構造物)	
型枠支保	型枠・支保参照	1 施工計画との対比	段階確認報告書 （沓座の位置）				段階確認	1回/1構造物	
コンクリート	コンクリート工参照	1 コンクリート投入位置、高さの適否、ブリージングの処理、レイタンスの除去	施工状況把握報告書				施工状況把握	1回/1構造物 (重点1回/1ﾛｯﾄ)	
埋戻	作業土工(埋戻し)参照								
品質管理	鉄筋	鉄筋工 参照							
	コンクリート	コンクリート工 参照							
出来形管理	基準高 厚さ 天端幅 敷幅 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長 胸壁間距離又は橋脚中心間距離 支間長及び中心線の変位 ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの箱抜き規格値	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	型枠取外し後	段階確認	1回/1構造物	
備考									

工種	鋼橋上部　工場製作工、鋼橋架設工、橋梁現場塗装工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	記載事項	1 製作要領書 2 輸送計画書 3 架設要領書	工事打合簿提出 （施工計画書）	打合せ記録簿 質疑応答書 図面等の資料			受理	着手前及び変更時	
	原　寸	1 原寸図の省略等							
	材料検査	1 素地調整の方法 2 検査場所、方法等							
	仮組立検査	1 仮組立方法 2 計測方法							
設計照査		1 設計条件の適否 2 設計計算と図面、数量計算の整合及びチェック 3 仮定剛度、仮定死荷重は適当か 4 各施工段階のキャンバー 5 架設工法に対する安全の確認、補強又は補剛材の要・不要	条件変更確認請求通知通知	打合せ記録簿 設計照査資料			受理 立会	施工前	
材料手配	板取り計画	1 主要鋼材のメーカー 2 主要部材のロール方向	工事打合簿提出	板取表			受理	施工前	
材料検査	材料確認	1 第２編第１章一般事項の規定により材料確認を行う 2 JISﾏｰｸ表示のないものについては下記による （ﾐﾙｼｰﾄ等との照合可） ミルシート等による品質確認及び、現物による員数、形状寸法確認 （ﾐﾙｼｰﾄ等との照合不可） 主部材は機械試験による品質確認及び、現物による員数、形状寸法確認 付属部材は現物による員数、形状寸法確認	工事打合簿提出	材料確認結果 確認要領書 鋼材一覧表 ミルシート			受理	施工前	
	機械試験（JISﾏｰｸ表示品以外かつﾐﾙｼｰﾄ照合不可な主部材）	1　機械試験の対象とする材料の選定（監督員との協議） 2 リングマーク照合による試験する箇所の確認 3 機械試験立会	施工状況把握 工事打合簿提出	機械試験結果	試験実施状況	試験実施中	立会 受理	施工前	
支承、排水桝、高力ﾎﾞﾙﾄ（JIS規格品を除く）等		1 品質、規格 2 外観、寸法 （仮組立検査時に実施）	工事打合簿提出	品質の証明資料及び施工管理写真	製作状況 試験状況	製作中 試験時	段階確認	1回/1構造物	
	出来形管理	金属支承工、大型ゴム支承工	出来形成果表						
原　寸	原寸作業	1　平面基本寸法 ・起終点の取間違いに注意 2　主桁側面図 ・主桁端部、補鋼材の傾き ・縦断勾配とキャンバーの方向 3　横断図 ・主桁キャンバーの異なる場合、取合の検討 4　各部詳細図 ・製作上の支障の有無 ・各部取合の状態 ・縁端距離、最小厚さ等	工事打合簿提出	原寸要領書 社内検査記録 打合せ記録簿	原寸状況	原寸時	受理	施工前	
	テープ合せ	1 基準テープ又は架設現場で使用するテープとの照合							
製　作	工　作 溶　接	1 ガス切断面の品質 2 溶接工の資格			製作状況	製作中			

	溶接施工試験	1 溶接施工試験の実施 2 監督員の承諾を得て溶接施工試験を省略する場合	工事打合簿提出 工事打合簿承諾	溶接施工試験報告書 過去の溶接施工試験報告書	試験状況	試験時	受理 承諾	施工前 施工前
	組　立	1 材片の組合せ精度 2 欠陥部の補修 3 ひずみとり						
仮組立検査	仮組立方法	1 組立方法､支持方法の適否 2 架設時を想定して、不都合はないか 3　仮組立の簡略化（省略）	段階確認報告書 工事打合簿承諾	社内検査表 仮組立検査成績表 打合せ記録簿 代替案資料等	仮組立寸法（撮影項目は適宜）	仮組立時	段階確認 承諾	１回/１構造物 施工前
	外　観	1 部材の切断、切削状況 2 部材表面の傷及び発錆状況						
	添接部	1 現場継手部の目ちがい 2 孔径、孔のずれの精度 3 孔ぐりの状態(バリ、まくれの処理)						
	取合部	1 支承、伸縮継手、排水装置等の橋体又は下部工との取合いの状態						
	品質管理	(ガス切断) 表面粗さ ノッチ深さ スラグ 上縁の溶け	品質管理図表					
		(溶接工) 引張試験：開先溶接 型曲げ試験：開先溶接 衝撃試験：開先溶接 マクロ試験：開先溶接 非破壊試験：開先溶接 マクロ試験：すみ肉溶接 引張試験：スタッド溶接 曲げ試験：スタッド溶接 突合せ継手の内部欠陥に対する検査 外観検査 (割れ) (オーバーラップ) 外観形状検査 (ビード表面のピット) (ビード表面の凹凸) (アンダーカット) (すみ肉溶接サイズ) (余盛高さ) (アークスタッド)	品質管理図表	X線写真フィルム及び試験成績表又は超音波深傷試験成績表	撮影（検査）状況	検査時		
	出来形管理	1 桁製作工　部材精度、仮組立精度 2 検査路製作工 部材 3 鋼製伸縮継手製作工 部材 4 落橋防止装置製作工 部材 5 鋼製配水管製作工 部材 6 橋梁用防護柵製作工部材 7 橋梁用高欄製作工 部材	出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2				
工場塗装		工場塗装 参照						
輸　送	組　立	1 組立て記号 2 重心位置の記入						
	輸送・積卸特車認可の確認	1 発送期日、荷造明細の通知 2 運搬経路 3 部材の仮置き及び損傷	工事打合簿提出（施工計画書）	輸送計画書	搬入状況	搬入時	受理	施工前

架 設	架設準備	1 測量 中心線、支間長、支承位置、橋座高 2 架設機械、器材、器具の適否 3 架設工法の安全 施工地盤、基礎地盤の安全等 4 安全施設の適否	工事打合簿提出	測量成果 労働基準監督署への計画届は提示で可 (最大支間50m以上の橋梁の建設等) (最大支間 30m 以上 50m 未満の橋梁の上部構造の建設等。人口集中地域で道路・軌道上又は隣接した場所に限る。) 労働基準監督署への足場設置届は提示で可			受理	施工前 届出後 届出後	
	架　設	1 架設方法の適否 2 組立順序、作業状況、仮締めの状況 3 添接部の清掃			架設状況	架設中			
	組立完了確認	1 そりの適否、たおれ、ねじれ等の有無 2 継手部部材間の肌すきの有無		架設キャンバー測定成果					
	本締め（HTB）	1 器具の検定 キャリブレーター、締付機械、トルクレンチ等 2 キャリブレーション 作業日毎、作業開始前		現場キャリブレーション成績表 様式 13-2～13-3	キャリブレーション実施状況	実施中			
		3 締付状況 予備締めの状況、マーキング締付順序			締付状況	締付作業中			
		4 締付確認 a)トルクレンチによる場合、各ボルト群の 10%を締付確認 b)自動記録装置付締付機械による場合、記録紙により全数確認		ボルト群略図 締付管理図 ボルト群略図 記録紙 締付管理図様式 13-1	締付確認状況	締付確認後			
	本締め（TCB）	1 器具の検定 軸力計、締付機等 2 現場予備試験			実施状況	実施中			
		3 締付状況 予備締めの状況			締付け状況	締付け作業中			
		4 締付確認 全数外観確認		関連資料	締付け確認状況	締付け作業中			
	架設完了確認	1 キャンバー測定 架設完了時 2 細部の確認 架設中につけた傷、曲り、吊り金具等を外した後の仕上げ状況等		キャンバー図					
	出来形管理 ※は仮組立検査を実施しない工事に適用	1 全長・支間長 2 通り 3 そり 4※主桁、主構の中心間距離 5※主桁の橋端における出入差 6※主桁、主構の鉛直度 7※現場継手部のすき間	出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2					
支承の据　付	据　付	1 据付位置、設置時温度 2 据付位置、高さの適否 上下沓の位置関係							
		3 無収縮モルタル 使用材料、施工方法	工事打合簿提出 品質の証明資料	施工要領書 品質証明書	試験状況	試験実施時	受理	施工前	
	据付完了確認	1 機能検査 2 アンカーボルトの締付状況締忘れ、すき間の有無			支承取付状況	取付後			
	品質管理（無収縮モルタル）	流下時間、ブリージング、凝結時間、膨張収縮率、圧縮強度	品質管理表						

	出来形管理	1　据付け高さ 2　可動支承の移動可能量 3　支承中心間隔 4　支承(下沓)の水平度 5　可動支承の橋軸方向のずれ 6　可動支承の移動量	出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2					
伸縮装置	据　付	1　伸縮量及び遊間量 2　充填材及び充填方法			伸縮装置取付状況	取付後			
	出来形管理 (鋼製ﾌｨﾝｰｼﾞｮｲﾝﾄ)	1　据付け高さ 2　車線方向各点誤差の相対差 3　表面の凸凹 4　歯型板面の歯噛み合い部の高低差 5　縦方向間隔 6　横方向間隔 7　仕上げ高さ	出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2					
橋歴板	据　付	1　取付位置			橋歴板取付状況	取付後			
現場塗装		現場塗装 参照							
備考									

工 種	鋼橋上部　床版工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画	支保工及び型枠工	1　支保工の型式、間隔、主桁等との取合い 2　取外し時期	工事打合簿提出 (施工計画書)	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
	コンクリート	1　打継目の位置、施工方法 2　打込順序及び桁のたわみ量 3　打設方法及び養生方法 4　厚さの管理方法							
	足場及び防護工	1　他工事との関連 2　構造及び施工範囲		労働基準監督署への足場設置届は提示で可				届出後	
支保工及び型枠工	組　立	1　施工の適否 2　基準高及び桁のキャンバー			施工状況	完了後			
	取り外し	1　取外し時期の適否							
鉄筋工	配　筋	一般事項は鉄筋工 参照 1　径、間隔、カブリ、継手長、継手位置 スペーサを使用し１㎡あたり４箇所程度上下筋共使用 2　結束の状況、足場板の使用等	段階確認報告書		平均間隔 かぶり 継手寸法 組立全景	組立後 組立後 組立後 組立後	段階確認	20%程度/1 構造物（重点 50%程度/1 構造物）	
コンクリート工	施工状況	一般事項はコンクリート工 参照 1　打設 2　仕上げの時期の適否 3　伸縮継手部の施工 鋼橋施工業者との調整 フェースプレート部の中埋めの施工の適否 4　打継目の施工の適否 連続桁、伸縮継手附近、地覆部等の施工継目	施工状況把握報告書		打設状況	打設時	施工状況把握	１回/１構造物（重点１回/１ロット）	
	養　生	1　初期養生の適否 2　湿潤状態の適否			養生状況	養生中			
品質管理	コンクリート	コンクリート工 参照	品質管理図表						
出来形管理		基準高 幅 厚さ 鉄筋のかぶり 鉄筋の有効高さ 鉄筋間隔	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅 厚さ	施工後			
備考									

工種	コンクリート橋上部　ＰＣ橋工（ポストテンション桁）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	主桁製作	1 使用材料の保管方法 2 製作台の台数、型枠の組数 3 シース、PC 鋼材の支持間隔 4 コンクリートの打設、養生方法 5 緊張計画 6 グラウトの施工及び品質管理	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜） 労働基準監督署への計画届は提示で可 （最大支間 50m 以上の橋梁の建設等） （最大支間 30m 以上 50m 未満の橋梁の上部構造の建設等。人口集中地域で道路・軌道上又は隣接した場所に限る。） 労働基準監督署への足場設置届は提示で可			受理	着手前及び変更時 届出後	
	架　設	1 架設工法の適否 2 運搬方法 3 吊り支点の位置、支持の方法						届出後	
	横組・床版	1 支保工の施工方法 2 緊張計画							
主桁製作	製作ヤード	1 製作台の配置、器材の配置、安全管理等の適否 2 基礎地盤の適否							
	材　料	1 鉄筋 鉄筋工 参照							
		2 コンクリート コンクリート工 参照							
		3 PC 鋼材、シース、定着具 現場搬入時 ミルシート照合 形状寸法、外観 発錆状況 保管方法	工事打合簿提出 品質の証明資料 機械試験の実施 （JIS 製品以外）	製品　ｸﾞ資料等 ミルシート 機械試験成績表(PC 鋼線、PC 鋼棒)	形状寸法	使用前	受理	施工前	
	シース・PC 鋼材・鉄筋の配置	1 シースの配置、支持間隔固定方法の適否 2 シースの変形の有無、継目の適否 3 PC 鋼材に有機物の付着、傷やもつれはないか 4 定着装置の適否 5 鉄筋工　鉄筋工 参照 6 PC ケーブルの配置	段階確認報告書	シース高さ測定一覧表	シース・PC 鋼材配置状況	打設前	段階確認	20%程度/1 構造物（重点 50%程度/1 構造物）	
	型　枠	1 底型枠の構造の適否 イ）緊張時の弾性変形を妨げない構造であること ロ）下げ越し量の適否 2 組立寸法の適否 桁の伸縮量、端部の傾き 3 清掃・塗布の状況 4 すき間・孔等の有無 5 一般事項 型枠・支保 参照							
	コンクリート	1 コンクリートの適否 2 打設方法、養生方法の適否 3 打継目施工の適否（施工上必要な場合） 4 型枠取除き時期の適否 5 一般事項 コンクリート工 参照	施工状況把握報告書				施工状況把握	１回/１構造物（重点１回/１ロット）	
主桁プレストレッシング	緊張計画	緊張時期、順序、計算上の仮定値の適否	工事打合簿提出	緊張管理計画書			受理	施工前	
	試　験	1 キャリブレーション 2 摩擦係数、見かけのヤング係数の測定 3 管理方式の適否		試験報告書 摩擦・ヤング係数測定結果表	試験状況	試験実施中			

	プレストレッシング	1　コンクリート強度の適否 2　作業の安全性 3　緊張順序の適否 4　ケーブルの伸び量と荷重計示度が直線的な変化をしているか 5　引止め点が管理限界内にあるか 6　キャンバー量、横方向たわみ量、桁長の変化量 7　ケーブルの全伸び量 集中ケーブル方式は別途考慮する	段階確認報告書	緊張管理図 管理限界の修正計算	プレストレス導入状況	プレストレス導入時	段階確認	10%程度/総ｹｰﾌﾞﾙ数(重点20%程度/総ｹｰﾌﾞﾙ数)	
主　桁グラウト	材　料	グラウト材料	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表			受理	施工前	
	配　合 試験練り	1　試験練り コンシステンシー ブリージング率、体積変化率 塩化物含有量 2　強度 示方配合との比較	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 グラウト試験成績表	試験実施状況	試験実施中	受理	施工前	
	練り混ぜ及び攪拌	1　使用機械の適否 2　材料の投入順序の適否 3　材料の準備量の適否 4　品質、流動性の適否			試験実施状況	試験実施中			
	注　入	1　シース内の水洗い状況 2　注入圧力、順序、時期及び注入温度の適否 3　流出口から流出するミルクの状態及び閉口時期の適否 4　寒中施工の養生（保温）			中詰め及びグラウト状況	施工時			
運搬及び架　設	架設準備	1　測量 下部工の橋座高、支承間距離	工事打合簿提出	測量成果 労働基準監督署への足場届は提示で可			受理	施工前 届出後	
	架　設	1　架設機械、器材、器具の適否 2　架設時の安全性の確認 3　安全施設の適否 4　吊り支点の位置、吊り方向の適否 5　運搬方法の適否､仮支持点 6　架設後の横倒れ防止等			架設状況	架設中			
支　承	材　料	1　品質、規格 2　寸法、外観	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 品質証明書	形状寸法	検収時	受理	施工前	
	据　付	1　上沓、下沓の相対位置 2　据付状況			支承取付位置状況	取付後			
横締め	桁の清掃	1　レイタンス等の除去 2　湿潤状態の適否							
	型枠工 鉄筋工	型枠・支保　参照 鉄筋工　参照	段階確認報告書		鉄筋のかぶり 鉄筋の有効高さ 鉄筋間隔	打設前後	段階確認	20%程度/1構造物(重点50%程度/1構造物)	
	床版・横組コンクリート	1　コンクリートの適否 2　モルタルの流出防止状況	施工状況把握報告書		打設状況 養生状況	施工時	施工状況把握	1回/1構造物(重点1回/1ロット)	
	横締め	1　横締めの時期、コンクリート強度 2　緊張、グラウト （主桁製作に準ずる） 3　ＰＣ鋼材端部の切断方法の適否	段階確認報告書	関連資料	緊張状況 グラウト状況	施工時	段階確認	5%程度/総ｹｰﾌﾞﾙ数(重点10%程度/総ｹｰﾌﾞﾙ数)	
橋歴板	据　付	1　取付位置			橋歴板 取付状況	取付後			

	コンクリート	コンクリート工 参照	品質管理図表					
品質管理	グラウト	流動性試験 体積変化率試験 強度試験	品質管理図表	試験練り時 グラウト工事日毎 (流動性試験は上記以外にも随時試験)				
	鉄　筋	鉄筋工 参照	出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2				
	桁製作	幅(上)(下) 高 さ 桁 長 支間長 横方向最大たわみ	出来形成果表	計測一覧表	幅(上)(下) 高さ	型枠取外し後		
	桁架設	全長・支間 桁の中心間距離 そ り	出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2	架設状況	架設中		
	支承材料	金属支承工、大型ゴム支承工	出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2				
出来形管理	支承工据付 (鋼製支承) (ゴム支承)	1　据付け高さ 2　可動支承の移動可能量 3　支承中心間隔 4　支承(下沓)の水平度 5　可動支承の橋軸方向のずれ 6　可動支承の移動量	出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2				
	床版･横組工	基準高 幅 厚 さ 鉄筋のかぶり 鉄筋の有効高さ 鉄筋間隔	出来形成果表	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅 厚さ 鉄筋かぶり 鉄筋の有効高さ 鉄筋間隔	打設前後		
備考								

工種	コンクリート橋上部　ＰＣ橋工（プレテンション桁）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法		工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
桁購入	材　料	1　工場での試験成績表	工事打合簿提出 品質の証明資料 （JIS 製品） 工事打合簿提出 （JIS 製品以外） 性能試験の実施 （JIS 製品以外）	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表 試験成績表 数量により省略可 （標準仕様書 p2-2 参照）	形状寸法	使用前	受理 受理	施工前 施工前	工場検査は特仕による。
運搬及び架設	架設準備 架　設	ポストテンション桁に準ずる							
支　承	材　料 据　付	ポストテンション桁に準ずる							
横締め	桁の清掃 型枠工 鉄筋工	ポストテンション桁に準ずる	段階確認報告書				段階確認	20%程度/1 構造物（重点 50%程度/1 構造物）	
	床版・横組 ｺﾝｸﾘｰﾄ		施工状況把握報告書				施工状況把握	１回/１構造物（重点１回/１ロット）	
	横締め		段階確認報告書				段階確認	5%程度/総ｹｰﾌﾞﾙ数（重点 10%程度/総ｹｰﾌﾞﾙ数）	
橋歴版	据　付	ポストテンション桁に準ずる							
出来形	鉄　筋	鉄筋工 参照							
	桁購入	桁長 断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり		計測一覧表	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	製作後			
	桁架設	ポストテンション桁に準ずる			架設状況	架設中			
	支承材料	ポストテンション桁に準ずる							
	支承工据付 （鋼製支承） （ゴム支承）	ポストテンション桁に準ずる							
備考									

工 種	道路維持補修工事全般						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画		1 安全管理 2 緊急時の体制及び対応 3 交通管理 4 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法 5 その他	工事打合簿提出 （施工計画書） 左欄以外の記載項目は設計図書に記載指示のある場合を除き記載を省略する。緊急維持修繕工事については、４、５も省略する。	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
道路維持補修工事の指示				工事の種類、形状寸法、数量、箇所			指示	随時 工事打合簿（指示）	
調　査	調　査	1 作業ケ所調査		調査資料（図面等）					
作業計画		1 作業工程表 2 交通管理 3 安全管理							
道路維持補修工事の完了			完了通知	工事写真					
備考									

工 種	路面切削工						監　督		摘要
施工段階	内　　容		手　続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項 目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項 目	時期			
施工計画 工事指示 調　　査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
作業一般		1 作業計画							
調査及び切削厚計算	測　量	1 縦横断測量 現地測量による方法又は自動横断測定法	工事打合簿承諾	舗設計画図面（縦横断測量結果に基づく切削計画高の決定）	測量実施状況	測量実施中	承諾	施工前	
	図面作成	1 横断勾配（現況勾配を考慮） 2 基準線の引き方							
	切削厚	1 切削計画高の決定							
切　削		1 切削厚の過不足 （床版上は特に注意） 2 安全施設の点検 3 縦、横断方向の段差の摺つけ勾配			施工状況	施工中			
出来形管理		厚さ 幅	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅 厚さ（基準高）	施工後	段階確認	1回/1工事（重点1回/3000 ㎡）	
備考　維持工事等で路面切削のみを行う場合は適用しない。									

工種	舗装打換え工						監督		摘要
施工段階	内容		手続		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
作業一般		1 作業計画 2 出来高の確認							
調査	測量	1 クラック及びヒビワレ現況調査 2 範囲の決定、マーキング		調査図面	打換範囲状況	調査後			
掘削及び路盤		1 カッター切断 2 掘削深さ 3 路盤整正			施工状況	施工中			
配合 製造運搬 舗設	交通開放	1 アスファルト舗装工（基層工・表層工）参照 2 段差の摺付			施工状況	施工中			
品質管理（現場）		1 アスファルト舗装工（基層工・表層工）参照							
出来形	路盤	幅 延長 厚さ	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅 延長 厚さ 平坦性	施工後実施中	段階確認	1回/1工事（重点1回/3000㎡）	
	舗設	幅 延長 厚さ							
備考									

工種	オーバーレイ工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
作業一般		1 作業計画							
調査及びオーバーレイ厚計算	測量	1 縦横断測量	条件変更確認請求通知通知	舗設計画図面（縦横断測量結果に基づくオーバーレイ計画高の決定）	測量実施状況	測量実施中	承諾受理立会	施工前	
	図面作成	1 縦断勾配 2 横断勾配 現況の勾配を考慮							
	オーバーレイ厚	オーバーレイ計画高の決定							
配合	アスファルト	1 アスファルト舗装工（基層工・表層工）参照 2 流動対策							
製造運搬		1 アスファルト舗装工（基層工・表層工）参照							
舗装		1 アスファルト舗装工（基層工・表層工）参照 2 暫定区画線の種類 3 舗設工事中の段差			タックコート 整正状況 平坦性	散布時 施工後実施中			
品質管理（現場）		1 アスファルト舗装工（基層工・表層工）参照							
出来形管理		厚さ 幅 延長 平坦性 ※（平坦性の測定は、延長100m未満の場合は省略する事ができる。ただし、監督員が必要と認めた場合はこの限りではない。）	出来形成果表 出来形図 段階確認報告書	様式 1-1、1-2、1-3、2			段階確認	1回/1工事（重点1回/3000㎡）	
備考									

工種	アスファルト舗装補修工(パッチング)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
材料配合	乳剤	1 アスファルト舗装工(基層工・表層工) 参照							
	加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	1 アスファルト舗装工(基層工・表層工) 参照							
施工	パッチング	1 既設舗装構成の調査 2 施工面積の決定 3 カッター切削、ビックハンマー 4 舗装の厚さ７cm以下 5 転圧方法 (振動ローラー等)			作業状況	施工前後 施工中			
出来形管理		1 幅、延長、厚さ 2 合材使用量	出来形成果表 出来形図		幅 延長 厚さ 打換パッチング	施工後 施工前後			
備考									

工種	アスファルト舗装補修工(亀裂充填)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
材料	プライマー 目地材	1 品質、規格	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	材料使用量	施工前後	受理	施工前	
施工	清掃 亀裂充填	1 古い目地材、石、ごみを人力除去 1 充填量の変位と舗装版下の空洞の有無 2 加熱温度			作業状況	施工前後 施工中			
出来形管理		1 亀裂充填長	出来形成果表 出来形図						
備考									

工種	アスファルト舗装補修工(欠損部補修)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
材料	乳剤	1 アスファルト舗装工(基層工・表層工) 参照							
	加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	1 アスファルト舗装工(基層工・表層工) 参照							
施工	表面処理	1 施工箇所の平面図作成 2 摺付段差 3 タックコート (0.4l/㎡) 4 転圧方法(振動ローラー等) 5 暫定区間線の有無			作業状況	施工前 後 施工中			
出来形管理		1 幅、延長、厚さ 2 合材使用量	出来形成果表 出来形図		幅 延長 厚さ	施工後			
備考									

工種	道路付属構造物塗装工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
材料	塗料	1 品質、規格	工事打合簿提出 品質の証明資料 材料確認書	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	材料使用量	施工前 後	受理 色の承諾	施工前	
施工	塗装	1 上塗、下塗、色調			作業状況	施工前 後 施工中			
出来形管理		1 塗装面積 2 塗膜厚	出来形成果表 出来形図		ケレン状況 塗装状況 塗膜厚測定	施工前 後 塗装後 測定時			
備考									

工種	付属物復旧工(視線誘導標)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
材料	視線誘導標	1 品質、規格、寸法 2 原則として既設タイプ現場に即応したものに変更	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	形状寸法	検収時	受理	施工前	
施工	視線誘導標	1 本数、タイプ、規格 2 建込の位置、反射の方向、間隔			施工状況	施工前 後 施工中			
出来形管理		1 高さ	出来形成果表 出来形図		高さ 出来映え	施工後			
備考									

工種	区画線復旧工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 調査 工事指示 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
材料	区画線	1 品質、規格	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	材料使用量 (全数量)	施工前後	受理	施工前	
施工	区画線	1 区画線の種類、延長 2 抹消した区画線はその日のうちに復旧 3 路面の清掃 4 路面の乾燥状態 5 プライマーの塗布状態 6 溶融温度			施工状況	施工前後 施工中			
出来形管理		厚さ 幅 延長	出来形成果表 出来形図		材料使用量 (全数量) 出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	路面清掃工(機械清掃)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
材料	ブラシ		工事打合簿提出	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等			受理	施工前	
施工	清掃	1 車道端に溜った土砂、塵埃等の清掃の前に人力により固まった土砂の掘起 2 粗大塵埃及び障害物の除去 3 清掃車の掃き残しの処理 4 清掃に先立ち散水 5 作業速度（清掃が十分可能）			清掃状況 主要資材 給水散水	清掃前後 摩耗交換作業中			
出来形管理		1 延長	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	路面清掃工(人力清掃Ａ　横断歩道橋等)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
施工	清掃	1 清掃中にほこりが発生し第三者に迷惑をかける場合は散水 2 清掃した土砂、ごみはその日のうちに処理			清掃状況	清掃前後 清掃中			
出来形管理		1 面積	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工後			
備考									

工種	路面清掃工(人力清掃Ｂ　中央分離帯及び安全島等)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
施工	清掃	1 タバコの吸がら以上のごみを人力清掃したごみ等は、その日のうちに処理			清掃状況	清掃前後 清掃中			
出来形管理		1 面積	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	路面清掃工(人力清掃Ｃ　歩道及び路肩)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
施工	清掃	1 マッチ程度以上のごみを人力収集し清掃したごみは、その日のうちに処理			清掃状況	清掃前後 清掃中			
出来形管理		延長（路肩） 面積（歩道）	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	路肩整正工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
施工	路肩整正	1 路面排水を良好にする 2 土砂を補給凹凸を整正 3 十分締固め適切な形状 4 舗装端で舗装高に合せる			施工状況	施工前後 施工中			
出来形管理		1 面積	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	排水施設清掃工(排水管機械清掃)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
施工	清掃	1 清掃に先だち人力で、集水桝内又は排水管口附近に堆積した土砂、塵埃、瓦礫等を排除し清掃 2 排水管等の破損等の異常を発見した場合は連絡			清掃状況	清掃前後 清掃中			
出来形管理		1 箇所数 2 清掃延長	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	排水施設清掃工(側溝人力清掃（蓋なし）)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
施工	清掃	1 人力（スコップ等）により土砂の排土 2 土砂はその日のうちに処理			清掃状況	清掃前後 清掃中			
出来形管理		1 延長	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	排水施設清掃工(側溝人力清掃（蓋あり）)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
施工	清掃	1 人力（スコップ等）により排土 2 蓋の取外し及び布設は丁寧に施工 3 がた付、蓋の表裏に注意 4 土砂はその日のうちに処理			清掃状況	清掃前後 清掃中			
出来形管理		1 延長	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	道路付属物清掃工(ガードレール機械清掃)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
材料	洗剤 ブラシ	1 品質、規格 2 洗剤の種類及び使用量は特記仕様書 3 ブラシの消耗値	工事打合簿提出	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等	材料使用量 ファイバーブラシ（残存部30cm）交換	使用前後 摩耗交換時	受理	施工前	
施工	清掃	1 汚跡及び洗剤等の附着物を残さない　人力で障害物の取除き 2 作業速度（作業に適した速度） 3 支柱の支持状態、部材の固定の状態に注意			清掃状況	清掃前後 清掃中			
出来形管理		1 延長	出来形成果表 出来形図						
備考									

工種	樹木・芝生管理工(剪定作業)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了	施工後の出来高確認の方法	道路維持補修工事全般 参照（指示票工事） 施工前に監督員の指示	工事打合簿受理	施工後の出来高確認の方法			指示	施工前	
施工	せん定	1 架空線、信号機、標識に注意 2各樹木の特性および施工箇所に合った剪定形式 3枝・葉・土の飛散防止に努め、交通に支障の無いように速やかに処理			作業状況	作業前後 作業中			
出来形管理		1 本数	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	樹木・芝生管理工(施肥)						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了	施工後の出来高確認の方法	道路維持補修工事全般 参照（指示票工事） 施工前に監督員の指示	工事打合簿受理	施工後の出来高確認の方法			指示	施工前	
材料	肥料 土壌改良剤	1 品質、規格	工事打合簿提出 材料確認書	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	使用数量	作業前後	受理 確認	施工前	
施工	追肥、施肥	1 球状の無機質系肥料 2 肥料の種類、使用量 3 土の掘起し、深さ			作業状況	作業前後 作業中			
出来形管理		1 本数及び面積	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工中			
備考									

工種	樹木・芝生管理工（薬剤散布）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了	施工後の出来高確認の方法	1 道路維持補修工事全般参照 （指示票工事） 2 周辺住民への周知の方法等を連絡 施工前に監督員の指示	工事打合簿受理	施工後の出来高確認の方法			指示	施工前	
材料	薬剤	1 品質、規格 2 薬剤の種類、効果	工事打合簿提出 材料確認書	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	使用数量	作業前後	受理確認	施工前	
施工	消毒	1 作業員の安全 2 沿道住民、歩行者等 3 使用済空瓶、空箱の処理 4 作業時間			作業状況	作業前後 作業中			
出来形管理		本数及び面積	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工中			
備考									

工種	樹木・芝生管理工（補植）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了	施工後の出来高確認の方法	道路維持補修工事全般 参照 （指示票工事） 施工前に監督員の指示	工事打合簿受理	施工後の出来高確認の方法			指示	施工前	
材料	樹木及び苗木	1 使用する樹木類について、現場搬入時に監督員の確認を受ける 2 施肥については「施肥」参照	材料確認書		樹木類の形状寸法	現場搬入時	確認	樹木類の現場搬入時	
施工	植樹作業	1 枯死又は損傷した樹木の処理 2 まわり、深さ、施肥			作業状況	作業前後 作業中			
出来形管理		1 本数	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	樹木・芝生管理工（支柱工）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了	施工後の出来高確認の方法	道路維持補修工事全般 参照 （指示票工事） 施工前に監督員の指示	工事打合簿受理	施工後の出来高確認の方法			指示	施工前	
材料	支柱	1 形状、規格（木製、鋼製の別）	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 試験成績表	形状寸法	使用前	受理	施工前	
施工	支柱工	1 樹木の根をいためない 2 形状、規格、設置位置 3 発生材はその日に処理 4 占用物件の有無			作業状況	作業前後 作業中			
出来形管理		本数及び延長	出来形成果表 出来形図		出来ばえ	施工前後			
備考									

工種	道路除草工（人力除草）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）	工事打合簿受理	施工後の出来高確認の方法			指示	施工前	
施工	除草	1 人力（カマ等）により地上高さ５㎝程度に刈り取る 2 飛散防止及び処理方法 3 法面等に陥没、亀裂等の異常を発見した場合は報告			出来ばえ（刈取り高を適宜） 処理状況	施工前後 施工前後			
出来形管理		1 除草面積	出来形成果表 出来形図		出来形	適宜			
備考									

工種	道路除草工（機械除草Ａ、肩掛式草刈機）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）	工事打合簿受理	施工後の出来高確認の方法			指示	施工前	
施工	除草	1 原則として肩掛式草刈機による除草 2 地上高さ５㎝程度に刈り取り、速やかに片付ける 3 法面等に陥没、亀裂等の異状を発見した場合は報告 4 飛散防止及び処理方法			出来ばえ（刈取り高を適宜） 処理状況	施工前後 施工前後			
出来形管理		1 除草面積	出来形成果表 出来形図		出来形	適宜			
備考									

工種	道路除草工（機械除草Ｂ、ハンドガイド式草刈機）						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）	工事打合簿受理	施工後の出来高確認の方法			指示	施工前	
施工	除草	1 原則としてハンドガイド式草刈機による除草 2 地上高５㎝程度に刈り取り、速やかに片付ける 3 法面等に陥没、亀裂等の異状を発見した場合は報告 4 飛散防止及び処理方法			出来ばえ（刈取り高を適宜） 処理状況	施工前後 施工前後			
出来形管理		1 除草面積	出来形成果表 出来形図		出来形	適宜			
備考									

工種	応急処理作業工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画 工事指示 調査 作業計画 工事完了		道路維持補修工事全般 参照（指示票工事）							
材料	諸材料	1 品質、規格	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 品質証明書	形状寸法	使用前	受理	施工前	
施工		1 異状天然現象による災害、交通事故による道路の損傷等に伴う、通行規則、標識設置、仮の保安施設の応急的な処理 2 他の作業出来形が不定な作業で主として役務的な作業			作業状況	作業前後 作業中			
出来高		1 作業時間及び作業人員数 2 材料使用量	出来高成果表 出来高図		出来高写真	適宜			
備考									

工種	照明設備工						監督		摘要
施工段階	内容		手続（受注者）		写真撮影		方法	頻度	
	項目	留意事項	提出書類（様式）	添付書類（様式）	項目	時期			
施工計画	施工方法	1 施工手順	工事打合簿提出 （施工計画書）	図面等（適宜）			受理	着手前及び変更時	
材料	品質、規格	1 設計図書との対比	工事打合簿提出 品質の証明資料	製品ｶﾀﾛｸﾞ資料等 ミルシート 試験成績表	形状寸法	使用前	受理	施工前	
工場製作	製作	1 設計図書との照合 2 寸法の適否	工事打合簿提出	製作要領書 社内の仮組立検査成績表	仮組立寸法	仮組立社内検査の状況	受理	施工前	
設置位置確認		1 設置位置					段階確認	1回/1施設	
床掘工		作業土工(床掘) 参照							
型枠		型枠・支保 参照							
基礎コンクリート		コンクリート工 参照			基礎幅、深さ、出来ばえ 施工状況	施工前後 施工中			
接地		1 接地極設置状況					段階確認	1回/1工事	
据付	据付状況	1 ポールの向き、傾斜			施工状況				
埋戻工		作業土工(埋戻し) 参照							
設置後確認		1 点灯試験、照度測定					段階確認	1回/1工事	
		2 接地抵抗の測定	試験結果報告書				段階確認	1回/1工事	
出来形管理	基礎工 照明灯	1 幅、高さ 2 設置高さ	出来形成果表 出来形図	様式 1-1、1-2、1-3、2	幅、高さ 設置高さ	施工後			
備考									

第４章　検査関係

第４章　検査関係

４－１　概説

検査は、工事が請負契約の内容に適合して完了しているか否かを確認（契約どおり完了する以前にその一部を支払う必要がある場合の工事既済部分の確認を含む）するための行為と、別に定められた愛知県企業庁工事検査要領及び愛知県企業庁工事検査基準に基づいて、工事の目的物が一定の技術的水準に達しているかどうか判定する行為に分けられる。

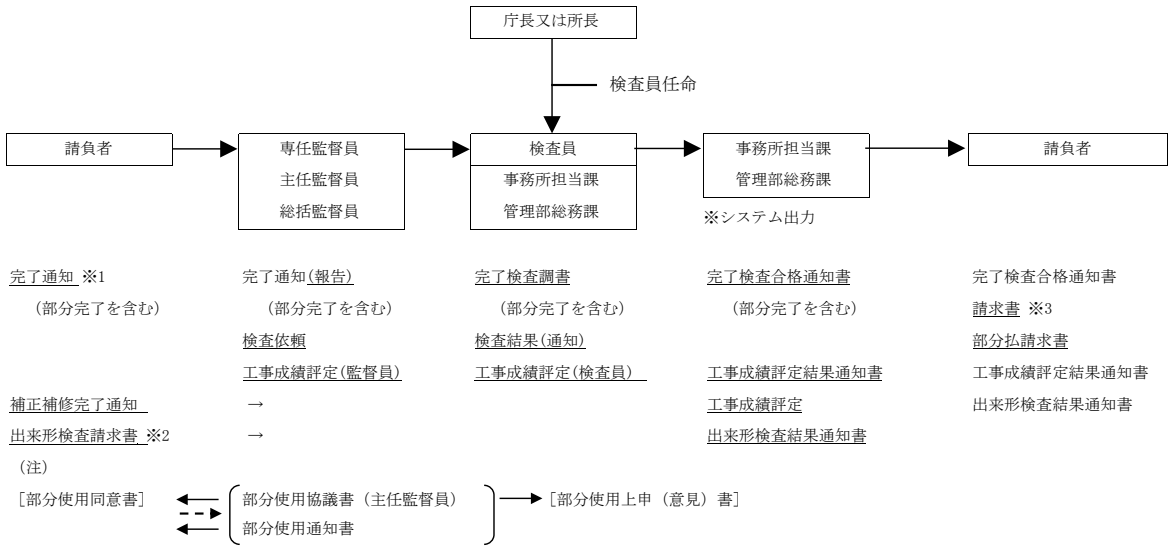
４－２　検査の分類

種　　類	時　　期	摘　要（契約約款）
完了検査	（１）工事が完了した時 （２）部分引渡しにおける指定部分に係る工事が完了した時	第 33 条 第 39 条
出来形検査	（１）部分払若しくは部分使用をしようとする時 （２）損害金を徴収して契約期間を延長しようとする時 （３）工事の施工を中止しようとする時 （４）契約を解除しようとする時	第 35 条　第 38 条 第 42 条 第 21 条 第 43 条
中間検査	（１）実施を必要と認めた時	第 32 条

４－３　要　　領

愛知県企業庁工事検査要領
愛知県企業庁工事検査基準
愛知県企業庁工事成績評定要領
企業庁工事成績評定結果公表実施要領
愛知県企業庁工事監督要領

４－４　事務手続き

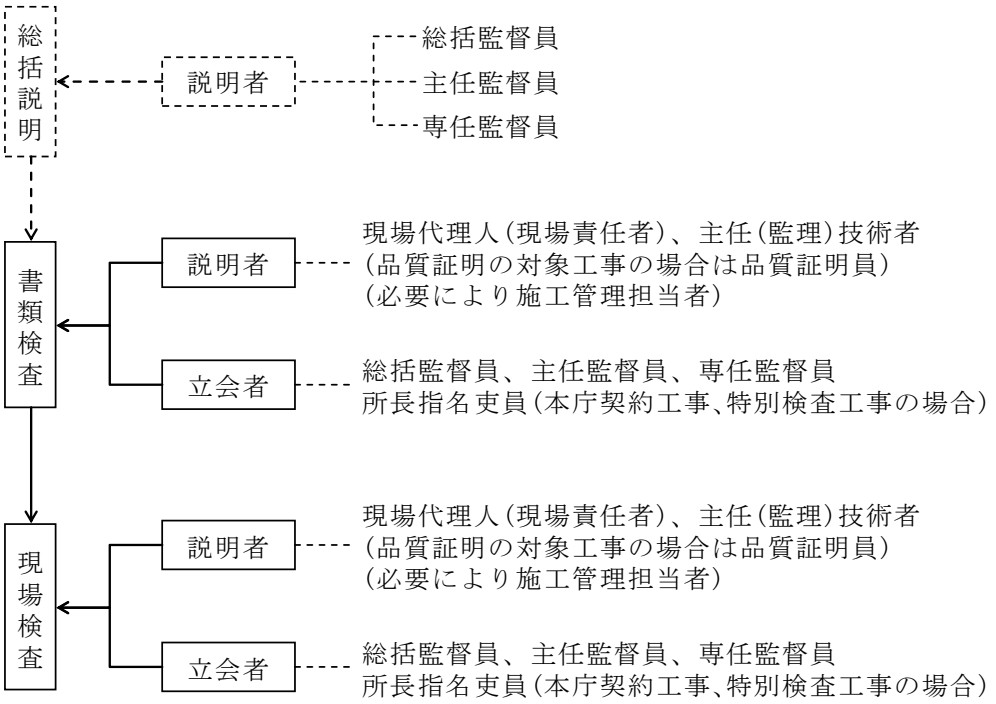


○下線は書類作成・通知等の担当者を示す。

※1　「部分完了」とは、特記仕様書に明記された「部分引渡し」を伴うことを示し、当該部分の「完了検査」を実施する。
　　発注者発議による「部分使用」に伴う検査は「出来形検査」を実施する。
※2　請負者が部分払いを希望する場合に請求し、「出来形検査」を実施する。
※3　「請求書」及び「部分払請負書」は専任監督員に提出。

４－５　検査の実施

（１）検査体制



（２）検査関係書類及び測定器具

区分	書類検査	現場検査
完了検査	【発注者 保管書類】 設計図書 「施工プロセス」のチェックリスト、成績評定資料（チェック表）等 【工事完了時までに請負者が提出する書類】 立会・段階確認･施工状況把握報告書 材料確認書 出来形管理資料 品質管理資料 工事写真管理資料 施工計画書（当初及び変更)、使用材料関係資料 工事打合簿(提出･承諾･協議等)綴り 【請負者 保管書類】 契約関係綴り 施工計画書、使用材料関係資料 その他検査上必要な書類	設計図書 出来形関係資料 品質関係資料 レベル（トランシット） 箱尺 スチールテープ、布テープ（樹脂加工)、リボンテープ（５m)、ポール、ピンポール コンベックスルール スラントルール（法定規） スコップ ツルハシ その他検査員の指示するもの
出来形検査 中間検査	完了検査に同じ。ただし、当該検査に関係する部分までとする。	完了検査に同じ

（３）検査に関する留意事項

工 事 検 査 に あ た っ て の 留 意 事 項

１　完 了 検 査

（１）完了検査の受検体制（発注者側）

① 専任監督員は、必ず立会すること。主任監督員及び総括監督員は、他の公務等のためやむを得ない場合を除き立会すること。

＊ 専任監督員の負担を軽減しようとする配慮から主任監督員のみが立会する例があるが、完了検査を通じて監督員の指導、育成を図るためにも、専任監督員は必ず立会すること。

② 検査に必要な書類（設計図書、「施工プロセス」のチェックリスト、成績評定資料（チェック表）等）を準備すること。

③ 主任監督員は、提出書類や現場の事前確認を行うこと。

＊ 工事成績評定においても、施工状況に関する評定が主任監督員に求められている。

（２）完了検査の受検体制（請負者側）

① 現場代理人(現場責任者)及び主任(監理)技術者は、立会すること。やむを得ず一方が立会できない場合は、検査前に申し出ること。

＊ 双方が立会できない場合は、検査中止となるので注意のこと。

② 標準仕様書を携帯すること。

③ 施工管理に関する提出資料一覧表を作成しておくこと。また、個々の資料には、必要に応じて数量等の集計表を添付すること。

例１：コンクリート圧縮強度試験結果…試験回数と管理資料

例２：マニュフェスト管理台帳

２　中 間 検 査

（１）中間検査箇所の選定

（２）本庁契約工事、特別検査工事及び所長委任工事で、工事着手日から概ね１ヶ月以上経過し、かつ、工事完了日まで概ね１ヶ月以上のある工事で、工事進捗率が概ね２０～７０％の工事を原則対象とする。また、保全工事等において、契約金額が１件 500 万円以上の建設工事を対象とし、主たる内容が草刈り等の役務提供工事は対象外とする。

（３）中間検査の実施は、完成、既済部分の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点である段階の実施時期等で行うことを原則とする。

（４）実施回数は、原則年１回以上とする。

（２）書類検査の場所

現場事務所とする。現場事務所が設置されていない場合は、近傍他工区現場事務所や企業庁の各事務所とする。

（３）中間検査の受検体制（発注者側）

① 専任監督員は、必ず立会すること。主任監督員及び総括監督員は、他の公務等のためやむを得ない場合を除き立会すること。

② 検査に必要な書類（設計図書、「施工プロセス」のチェックリスト等）を準備すること。

③ **工事協議書**（変更設計書）等を準備すること。

（４）中間検査の受検体制（請負者側）

① 現場代理人(現場責任者)及び主任(監理)技術者は、立会すること。やむを得ず一方が立会できない場合は、検査前に申し出ること。

＊電気、機械設備等の書類検査においても、現場代理人(現場責任者)及び主任(監理)技術者の双方が立会できないことがないよう留意すること。

② 関係法令で工事現場に掲示することが定められた標識（建設業の許可票等）を確認すること。

③ 施工管理に関する資料を整理すること。中間検査の日程は事前に予告してあるため、検査日より概ね２週間以前までの工程に関しての施工管理資料（工事写真、品質管理、出来形管理資料）を整理すること。

＊中間検査の目的は、工事の適切な施工を確保するため、施工管理及び安全対策が適切に行われているかどうかを検査することである。施工管理資料をその都度整理して、工事完了時の書類提出の適正化を図ること。

３　一 般 的 留 意 事 項

（１）事務手続き

① 部分完了、部分使用の手続きがなされているか。

完了検査の前に部分供用又は部分使用する場合、契約書及び愛知県企業庁工事監督要領「別記「監督業務の内容」」に基づき、所定の手続きを行うこと。

例１：仮設迂回路の供用開始
例２：切土法面完成後の別途発注法枠工
例３：道路路盤工完成後の別途発注舗装工
例４：橋梁下部工完成後の別途発注桁架設工

② 供用開始の前に完了検査を受けているか。

開通式等が予定されている場合は、事前に検査担当と完了検査の日程を調整すること。

③ 工事完了時までに提出書類は全て提出されているか。

例 ： 登録内容確認書等

（２）設計図書

① 現場条件等に設計図書が適合しているか。

設計図書は、工事施行に際し設計変更の必要を生じないように作成されていることは言うまでもないが、土木工事の性格上不確定な条件が多く、予測し得ない設計変更が発生する。工事現場の状態に設計図書が適合していないことが判明した場合等には、工事検査の観点からも、適切な設計変更が必要となる。

また、工事完了が翌年度以降となる場合は、４月の定期異動による各監督員の引継ぎ及び変更を適切に行うこと。

② 特殊工法等の使用材料、工法等の仕様が明確になっているか。

景観、多自然を主とした工事が増加している。使用材料の品質規格、施工管理基準を、設計図書又は協議により、明確にしておく必要がある。

例１：河川等の自然石護岸工　：自然石の材質、大きさ、目地の間隔、凹凸の規格値
例２：公園等の雑割石積工　　：石の大きさ、目地の間隔等の規格値
例３：特殊製品の防錆仕様　　：亜鉛メッキ付着量、塗料の種類と塗膜厚

（３）施工管理

① 取り壊し、撤去した構造物の材質、数量は確認できるか。取り壊し、撤去についても出来形管理が必要となる。

例１：旧橋撤去の現況断面
例２：舗装撤去の幅員、延長、厚み
例３：護岸、水路撤去の延長、現況断面
類似例１：岩掘削の岩質と数量
類似例２：養浜工、捨石工の現況地盤線

② 工事目的物の機能は確保されているか。

工事目的物は個々に応じた機能が求められている。その機能を満足する出来形となっていることを確認する必要がある。

例１：河川、砂防流路工、下水路の縦断勾配
例２：堤防、護岸の天端高

③ 工事目的物の品質は確保されているか。

土木工事施工管理基準に定めのない工種の品質管理は、特記仕様書又は協議により施工管理を行うこととなる。品質管理の基準及び段階確認の方法等を明確にしておくことが必要である。

例：擁壁基礎部等の軟弱地盤補強（置き換え工法等）

また、工事目的物の品質について工事完了後の観察が必要な場合は、請負者は現況調査資料を提出すること。

例１：コンクリート構造物のひび割れ（橋台、鋼床版橋の地覆等）
例２：構造物の沈下
例３：地すべりの兆候

以上

４－６　建設工事の成績評定

(1) 評定方法

愛　知　県	企　業　庁
契約金額	500万円～
専任監督員	40%
主任監督員	14．8%
総括監督員	5．2%
検査員	40%

(2) 評定区分

考査項目		専任監督員	主任監督員	総括監督員	検査員
1．施工体制	Ⅰ　施工体制一般	○			
	Ⅱ　配置技術者	○			
2．施工状況	Ⅰ　施工管理	○			○
	Ⅱ　工程管理	○	○		
	Ⅲ　安全管理	○	○		
	Ⅳ　対外関係	○			
3．出来形及び出来映え	Ⅰ　出来形	○			○
	Ⅱ　品質	○			○
	Ⅲ　出来映え				○
4．工事特性	Ⅰ　施工条件等への対応		○		
5．創意工夫	Ⅱ　創意工夫	○			
6．社会性等	Ⅰ　地域への貢献等			○	
7．法令順守等				○(減点)	
8．総合評価技術提案				履行・不履行・対象外	

※4．5．6の評価については、「愛知県企業庁工事成績評定要領」による。
※※総括監督員を置かない工事にあっては、総括監督員の評定区分を、主任監督員が併せて評定する。

第５章　各種様式

5　企業庁ダウンロード様式一覧表

【企業庁HP】　https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kigyo-somu/0000028916.html

第５章に掲載のない様式を含め、企業庁のホームページ「標準仕様書・監督・検査・各種要領等」の内、愛知県企業庁様式集式集からダウンロード可能です。

契約関係様式		
様式番号	様式名称	第５章掲載
様式17	【監督員（変更）通知書】	
様式18	【工程表・別紙】	
様式18-2	【請負代金内訳書】及び別紙	○一部改正
様式19	【現場代理人等通知書】	
様式19の2	【現場代理人兼務届】	
様式19の3	【主任技術者兼務届__建設業法施行令第27条第2項関係】	
様式19の4	【主任技術者等兼務届__建設業法施行令第26条第３項第１号関係】	
様式19の5	【監理技術者兼務届__建設業法施行令第26条第３項第２号関係】	
様式19の6	【主任技術者等兼務届__建設業法施行令第26条の５関係】	
様式22	【製作図承認申出書】	
様式23	【製作図承認通知書】	
様式26	【工事協議書】	
様式27	【契約期間延長請求書、理由書】	
様式30	【契約期間延長承諾通知書】	
様式35	【契約期間変更協議 （その１）契約者からの請求によらない場合】	
様式35	【契約期間変更協議 （その２）契約者からの請求に対して再協議する場合】	
様式36	【契約期間変更承諾書】	
様式52	【工事中止通知書】	
様式52の1	【工事一時中止延長決定書】	
様式54の3	【工事一時増加費用請求書】	
様式57	【契約解除通知書】	
様式61	【精算通知書】	
様式63	【工事譲渡（承継）申出書】	
様式66	【工事譲渡（承継）承諾書】	
様式71	【変更届】	
様式74	【部分使用協議書】	
様式75	【部分使用同意書】	
様式85	【完了通知】	
様式86	【修補補正完了通知】	
様式99	【前払金請求書】	
様式99の3	【中間前払金支払認定請求書】	
様式99の4	【中間前金払認定（否認定）通知書】	
様式99の6	【中間前払金請求書】	
様式101	【出来形検査請求書】	
様式102・続き	【部分払請求書】及び【続き】	
様式103・続き	【請求書】及び【続き】	

契約関係参考様式

様式番号	様式名称	第５章掲載
企業庁様式	【同一監理（主任）技術者承諾願】	
企業庁様式	【同一監理（主任）技術者承諾書】	
設計変更ガイドライン（統合版）	【工事一時中止に伴う増加費用の見積について(依頼)】	
設計変更ガイドライン（統合版）	【工事一時中止に伴う増加費用の見積について】	

建設リサイクル法関係様式（建設リサイクル法関連）

様式番号	様式名称	第５章掲載
1	【説明書】	
2	【別表3】	
3	【様式1特記事項】	
3	【様式2特記事項】	
3	【様式3特記事項】	
4	【変更説明書】	
5	【通知書】	
6	【告知書】	
7	【再資源化等報告書】	

施工関係様式

様式番号	様式名称	標準仕様書記載箇所	第５章掲載
01様式	【工事打合簿】	第１編 １－１－46	
02様式	【施工体制台帳】	第１編 １－１－12	
03様式	【施工体系図】	第１編 １－１－12	
04様式	【支給品受領書】	第１編 １－１－19	
05様式	【支給品精算書】	第１編 １－１－19	
06様式	【段階確認報告書】	第１編 １－１－22	
07様式	【施工状況把握報告書】	第１編 １－１－22	
08様式	【品質証明書】	第１編 １－１－24	
09様式	【マニフェスト管理台帳】	第１編 １－１－21	
10様式	【材料確認書】	各章に記載	
11様式	【安全・訓練等の実施報告書】	第１編 １－１－33 提出不要	
12様式	【安全巡視日誌】	第１編 １－１－33 提出不要	
14様式	【現場発生品届】	各章に記載	
15様式	【事故速報】	第１編 １－１－36	
15様式	【事故発生報告書】	第１編 １－１－36	
15様式	【事故報告書】	第１編 １－１－36	
16様式	【損害発生通知書】	第１編 １－１－47	
17様式	【創意工夫・社会性等】	第１編 １－１－６	

現場発生品届、事故発生報告書、事故速報、事故報告書、損害発生通知書を除く様式は参考様式として示すものであり、国土交通省の様式を準用してもよい。また、ここに無い様式は建設企画課の掲載様式をご利用下さい。

施工関係参考様式			
様式番号	様式名称	標準仕様書記載箇所	第５章掲載
参考様式	【掛金収納書（電子申請方式）】	第１編 １－１－49	
同上	【掛金収納書提出用台紙（電子申請を使用しない場合）】	同上	
同上	【建設業退職金共済証紙貼付状況報告書】	同上	
同上	【共済証紙受払簿】	同上	
同上	【掛金充当実績総括表】	同上	
同上	【工事別共済証紙受払簿】	同上	

検査関係様式
企業庁のホームページ「標準仕様書・監督・検査・各種要領等」より、各種様式が閲覧できます。

その他提出様式		
様式番号	様式名称	第５章掲載
1	【様式8あいくる材使用状況報告書】	
2	【様式9あいくる材使用実績集約表】	
3	【設計図書の照査チェックリスト】	
参考1	【参考様式1_大気汚染防止法】	※　注意
参考2	【参考様式2_大気汚染防止法】	※　注意

※　注意　　ご使用の際は、逐次、最新の様式をダウンロードして下さい。

○別途ダウンロード様式

出来形・品質管理関係様式

本項の様式は建設局建設企画課のホームページからダウンロード出来ます。

【建設局HP】　https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/r7kakusyuyoushiki.html

様式番号	様式名称	様式番号	様式名称
1－1	出来形成果総括表	30－1	アスファルト合材配合設定成果報告書
1－2	測定結果総括表	30－2	同 上 目次
1－3	測定結果一覧表	30－3	アスファルト試験成績一覧表
2	出来形(品質)管理図表	30－4	アスファルト粘度温度表
4	度数表	30－5	骨材の推定変動範囲
6－1～3	コンクリート配合試験成果表（Ⅰ）～（Ⅲ）	30－6	配合設計経過及び意見
7	コンクリート中の塩分測定表	30－7	骨材比重による骨材配合比補正表
8-1～5	ひび割れ調査票(1)～(5)	30－8	骨材配合率及び合成粒度（室内試験）
9-1～6	ﾃｽﾄﾊﾝﾏｰによる強度推定調査票(1)～(6)	30－9	合成粒度曲線（室内試験）
10	コンクリートの洗い分析試験結果	30－10	試験配合表
11-1～2	くい打成績表	30－11	理論最大密度
12-1～2	場所打杭施工記録	30－12	マーシャル試験結果(1) (2)
13－1	ハイテンボルト締付管理図	30－13	試験結果図表
13-2～3	現場キャリブレーション成績表	30－14	マーシャル試験によるアスファルト量の許容範囲および基準アスファルト量
14	塗膜厚測定管理表	30－15	基準密度試験
15	浸透探傷試験記録	30－16	プラント試験練りによる決定配合
16	放射線透過試験記録	30－17	決定配合粒度分布図
17	鉄筋ガス圧接超音波探傷検査記録	30－18	決定配合プラント練りのマーシャル試験値
18	路床安定処理報告書	31	アスファルトの抽出試験
19	プルーフローリング試験	32	フィーダ、ホットビン、ミキサーの骨材の粒度試験
20	路面の平坦性試験	33－1	ｱｽﾌｧﾙﾄ・骨材ならびにｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の加熱温度測定
21	土質試験結果一覧表	33－2	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の敷均時の温度測定
22	コーン指数測定試験	34	グースアスファルト混合物の貫入試験
23-1～2	セメント安定処理試験	35	グースアスファルト混合物のリュエル流動性試験
24-1～2	現場密度測定試験	36	ホイールトラッキング試験
25-1～2	現場飽和度・空気間ゲキ率測定試験	37	曲げ試験
26	骨材試験成績一覧表	38－1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工事出来形（厚み）及び品質管理結果
27	骨材（路盤）材料のフルイ分け試験	38－2	アスファルト合材配合設定総括表
28－1	粗骨材試験成績一覧表（砕石）	38－3	仕様及び基準値
28－2	細骨材 〃 （砂）	38－4	品質管理試験総括表‥‥As量抽出、粒度、ﾏｰｼｬﾙ試験
28－3	石粉及びｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ試験成績一覧表	38－5	切取供試体試験
29	骨材粒度曲線表（アスファルト）	39-1～1	品質記録保存業務（総括表、品質記録表）

様式は参考様式として示すものであり、国土交通省の様式を準用してもよい。

様式18-2（第17条）

請 負 代 金 内 訳 書

年　　月　　日

愛知県公営企業管理者
企　業　庁　長　殿
（　　長）

請負者　住　　所
（所在地）
氏　　名
名称及び
代表者氏名

下記工事について、請負代金内訳書を別紙のとおり提出します。

記

1　工　事　名
2　路線等の名称
3　工　事　場　所
4　契約締結年月日
5　請負代金額
　　金　　円
6　工　　期
着　手　　年　月　日
完　了　　年　月　日

工種・種別	金額　（単位：円）
＊＊工事価格計＊＊	
消費税相当額	
＊＊合計＊＊	

（直接工事費のうち、材料費　　円）※
（直接工事費のうち、労務費　　円）※
（現場管理費のうち、法定福利費　　円）※
（現場管理費のうち、建設業退職金共済契約に係る掛金　　円）※
（工事原価のうち、安全衛生経費　　円）※
※　括弧内の材料費、労務費、法定福利費、安全衛生経費、建設業退職金共済契約については、別紙としてもよい。

監督員確認欄	

注1　用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
　2　路線等の名称は、必要がないときは記入しないこと。
　3　本書の上部に6センチメートルの余白を残すこと。

様式第18-2（別紙）

工種・種別	金額　　（単位：円）
＊＊工事価格計＊＊	
消費税相当額	
＊＊合計＊＊	

（直接工事費のうち、材料費　　円）※
（直接工事費のうち、労務費　　円）※
（現場管理費のうち、法定福利費　　円）※
（現場管理費のうち、建設業退職金共済契約に係る掛金　　円）※
（工事原価のうち、安全衛生経費　　円）※

※　括弧内の材料費、労務費、法定福利費、安全衛生経費、建設業退職金共済契約については、別紙としてもよい。

監督員確認欄

備　考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

第６章　資　　料

目次の内容については、以下のホームページに掲載しています。

（建設局HP）https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/genbahikei.html

（企業庁HP）https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kigyo-somu/0000028916.html

⇒「監督・検査・設計変更・土木工事現場必携（愛知県企業庁）」の内、監督・検査に掲載

目　次	記載HP	
	建設局	企業庁
契　約		
6-1 監理技術者制度運用マニュアル	○	
6-2 工事現場における現場代理人の常駐の取扱い	○	
6-3 植樹保険制度	○	
監　督		
6-4 土木工事監督要領	○	○
6-5 工事現場における適正な施工体制の確保等について	○	
6-6 施工体制の適正化に向けての現場点検の手引き(案)第 15 版	○	
6-7 監督業務の基本事項	○	
安 全 管 理		
6-8 土木工事安全施工技術指針	○	
6-9 建設機械施工安全技術指針	○	
6-10 建設工事公衆災害防止対策要綱（土木工事編）	○	
工 事 看 板		
6-11 道路工事現場における標示施設等の設置基準	○	
6-12 道路工事保安設備設置基準(平成 30 年 3 月改定)	○	
6-13 工事中看板の主な表示例(道路工事以外)	○	
品質・出来形管理		
6-14 コンクリートの耐久性向上（案）	○	
6-15 レディーミクストコンクリート単位水量測定要領(案)	○	
6-16 ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査及びコアーによる強度試験要領	○	
6-17 舗装工事のコアー採取位置の選定方法	○	
6-18 アルカリ骨材反応の抑制対策	○	
6-19 RI 計器を用いた盛土の締固め管理要領(案)	○	

目　次	記載HP	
	建設局	企業庁
薬 液 注 入		
6-20 薬液注入工法による建設工事の施工に関する通達及び暫定指針	○	
6-21 薬液注入工事に係る管理について	○	
副産物・リサイクル		
6-22 建設副産物適正処理推進要綱	○	
6-23 再生資源の利用の促進について	○	
6-24 公共工事に係る建設リサイクル法事務取扱要領	○	
6-25 公共建設工事における「リサイクル原則化ルール」	○	
6-26 発生土利用基準	○	
6-27 建設汚泥の再生利用に関するガイドライン	○	
6-28 建設汚泥の再生利用に関する実施要領	○	
6-29 建設汚泥処理土利用技術基準	○	
6-30 建設汚泥処理物の廃棄物該当性の判断指針	○	
6-31 建設汚泥の再生利用指定制度の運用における考え方	○	
6-32 愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱	○	
6-33 建設発生土（土砂）等の利用と処理に関する実施要領	○	
6-34 愛知県あいくる材率先利用方針	○	
環　境		
6-35 建設工事に伴う騒音振動対策技術指針	○	
6-36 騒音・振動の規制のあらまし	○	
6-37 ｾﾒﾝﾄ及びｾﾒﾝﾄ系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）	○	
検　査		
6-38 公的機関等一覧表	○	
6-39 検査要領等	○	○